

社会福祉法人 三徳会

令和6年度事業報告書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

(2024.4.1～2025.3.31)

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）成幸・戸越台・荏原・平塚橋
通所介護事業（デイサービス）成幸・戸越台・荏原・小山
短期入所生活介護施設（ショートステイ）成幸・戸越台・荏原・平塚橋
在宅介護支援センター（居宅介護支援事業、老人介護支援センター、地域包括支援センター）
成幸・戸越台・杜松・荏原・小山・小山台
障害者計画相談支援事業所（特定相談支援事業）荏原
高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）平塚橋

目 次

	(頁)
1 概 要	1
2 役員会等	2
3 法人事務局	5
4 利用者サービス	7
1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）成幸・戸越台・荏原・平塚橋	8
2. 通所介護事業（デイサービス）成幸・戸越台・荏原・小山	12
3. 短期入所生活介護事業（ショートステイ）成幸・戸越台・荏原・平塚橋	17
4. 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業、老人介護支援センター、 地域包括支援センター）成幸・戸越台・杜松・荏原・小山・小山台	18
5. 障害者計画相談支援（特定相談支援）荏原	20
5 高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）平塚橋	21
6 各施設共通サービス	22
7 各拠点の取組	25
8 平塚橋ゆうゆうプラザ	40
9 安全への取組	41
10 主な施設整備	42
11 研修報告	44
12 地域活動	45
13 その他	46
14 業 績	46

資料編

1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	47
(1) 令和6年度の利用者動向	47
(2) 利用者の入退所状況	50
(3) 利用者の日常生活能力（ADL）	59
(4) 利用者の日常生活自立度	60
(5) 家族などの訪問(面会)者数・外泊状況	60
(6) 三徳懇談会	61
(7) セルフチェックシート（自己評価表）	63
栄養・調理	
(8) 個別の栄養状態に着目した栄養ケアマネジメントに基づいた特別な対応	66
(9) 残菜・嗜好調査	67
(10) 選択食、団らん食、お楽しみ食、その他	68
(11) 栄養出納表（年間平均）	71

健康管理

(12) 受診状況	72
(13) 利用者の診断病名	73
(14) 入院・退所状況	74
(15) 入院者病名および件数	74
(16) その他	75
(17) 機能訓練	76
2. 在宅サービス	78
(1) 年間利用者状況	78
①通所介護事業（デイサービス）	78
②短期入所生活介護事業（ショートステイ）	94
(2) 機能訓練	98
(3) 食事サービス（ショートステイ・デイサービス・配食）	98
(4) 健康管理	99
(5) 栄養調理	100
3. 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業、老人介護支援センター、 地域包括支援センター）	102
(1) 年間利用者状況	102
(2) 介護保険利用者状況	114
(3) 障害者計画相談支援	126
(4) 認知症サポーター養成事業・認知症サポーターレベルアップ事業	128
4. 高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）	129
(1) 各事業参加状況	129
(2) 地域ミニデイ実施状況	131
(3) 利用者状況	132
5. 防災	134
(1) 防災委員会の開催	134
(2) 防災訓練の実施	136
6. 委員会活動	138
(1) 苦情解決・サービス向上委員会	138
(2) 安全衛生委員会	140
(3) 給食委員会	142
7. その他	144
(1) 研修報告	144
(2) 実習生受入れ	153
(3) 見学	153
(4) 近隣との交流	154
(5) ボランティア事業報告	155
(6) 令和6年度行事表	157

1 概 要

令和6年度は介護報酬改定が施行された年度であった。今回の改定では令和3年度の介護報酬改定で経過措置であった「業務継続計画の策定等」「感染症およびまん延防止のための措置」「虐待防止のための措置」「認知症介護基礎研修の義務付け」が義務化され社会ニーズに合わせたさらなるサービスの向上が求められることとなった。

介護報酬改定は1.59%のプラス改定であったが、稼働率の低下と昨今の物価高騰によりかつてない厳しい経営状況となった。特にユニット型の平塚橋ホームの稼働率低下と給食委託業者との契約変更による費用の増大などにより赤字が大幅に拡大した。

法人ではこのような経営難の脱却を図るためにまず、空席であった事務局長のポストに品川区OBを配置して事務局の体制を整備し、令和7年度に向けた新たな施設長候補2名を指名、新施設長配置の準備を進めた。また、令和6年度は令和7年度から開始する「中期経営計画（令和7年度～9年度）」のプロジェクトを立ち上げ、計画を策定した。中期経営計画では法人運営の適正管理、法人の魅力度アップなどを主要な課題として位置付け、収益増や人材確保、働きやすい労働環境の整備などの取り組みの具体化を図った。なお、この計画の策定に先立って、職員の処遇改善として令和7年度から年間公休数を10日増やし120日にする体制を整備した。

全産業の賃上げが高水準のなかで介護分野の職員との格差が拡大している。介護職員等の処遇として、処遇改善加算を一本化した新加算「介護職員等処遇改善手当」や「東京都介護職員・介護支援専門員居住支援特別手当」、ほかに品川区独自の居住支援手当の支給を開始した。人材の確保として法人では令和4年度から外国人介護職員の採用を始めており、令和6年度末では13名の介護職員が勤務している。今後も外国人採用を促進するために新たな登録支援機関と契約して2社合わせて17名の外国人の内定者を決定した。さらに新たな試みとして、有資格者が登録している介護ワーキングシェアサービスや有償ボランティアのマッチングサービスを導入し、多様な働き方を受け入れた。また、法人ホームページのリニューアルを行うとともに、インスタグラムを開設し、若者や学生へのアピールの強化に取り組んだ。

I C Tテクノロジーの導入は省力化や効率的なサービスの提供を推進し、働きやすい職場環境の促進につながることから、令和5年度の戸越台ホームに続き、令和6年度は平塚橋ホームでI C T化を導入した。各種機器の導入により、テクノロジーの複数活用による生産性の向上が見込まれる。成幸ホームでは次世代介護機器導入支援事業の補助金を活用し、見守りセンサー付きベッドを20台購入し、大規模改修工事中である荏原ホームは、テクノロジー機器の導入を前提とした工事を進めることとした。

令和6年度の各事業所の特記として、成幸ホームでは効率的な人員配置と地域のニーズに即し令和7年度よりショートステイ16床のうち8床を特養に転換するため東京都に届出をして認可された。成幸デイサービスでは認知症デイサービスを休止し令和7年度から廃止するため品川区に届を提出し受理された。杜松在宅介護支援センターは令和7年4月から運営を他法人に移行するため、品川区と協議しながら、運営法人の事業円滑化に協力した。荏原ホームの大規模改修工事は令和5年度から実施し、延滞なく順調に工程が進んでいる。

2 役員会等

1) 令和6年度理事会の開催状況および審議の概要は、次の通りである。

開催日時	審議事項
第233回理事会 令和6年6月1日(土) 平塚橋ホーム 1階 コミュニティ室	1. 令和5年度事業報告(案)について 2. 令和5年度決算報告(案)および監事監査報告について 3. 給与規程の一部改正(案)について 4. 非常勤職員就業規則の一部改正(案)について 5. 運営管理規程の一部改正(案)について 6. 令和6年度定時評議員会の招集について ※報告事項 ①新型コロナウイルス感染症の状況について
第234回理事会 令和6年9月28日(土) 戸越台ホーム 10階 会議室	1. 運営管理規程の一部改正(案)について 2. 給与規程の一部改正(案)について 3. 非常勤職員就業規則の一部改正(案)について 4. 第81回評議員会の招集について ※報告事項 ①理事長の業務執行報告について ②品川区による法人指導監査の結果について ③荏原ホーム予備費の使用について ④権利擁護に関する事実調査の結果について(荏原) ⑤指定管理者候補者公募について(戸越台・荏原)
第235回理事会 令和6年12月7日(土) 平塚橋ホーム 1階 コミュニティ室	1. 令和6年度第一次資金収支補正予算(案)について 2. 給与規程の一部改正(案)について 3. 非常勤職員就業規則の一部改正(案)について 4. 運営管理規程の一部改正(案)について 5. 第82回評議員会の招集について ※報告事項 ①令和6年度上半期事業活動収支報告について ②平塚橋特別養護老人ホーム高齢者権利擁護に係る事実確認調査の結果について ③3か年計画骨子の説明 ④公休数の拡充の説明
第236回理事会 令和7年3月15日(土) 平塚橋ホーム 1階 コミュニティ室	1. 施設長の選任(案)について 2. 理事の選任(案)について 3. 中期経営計画(案)について 4. 令和7年度事業計画(案)について 5. 令和7年度資金収支予算(案)について

	6. 令和7年度委託契約(案)について 7. 資金運用規程の制定(案)について 8. 就業規則の一部改正(案)について 9. 育児介護休業規程の一部改正(案)について 10. 給与規程の一部改正(案)について 11. 非常勤職員就業規則の一部改正(案)について 12. 品川区杜松在宅介護支援センター運営規程の廃止について 13. 組織規程の一部改正(案)について 14. 顧問弁護士契約の継続について ※報告事項 ①理事長の業務執行報告について ②荏原特別養護老人ホーム高齢者権利擁護に係る事実確認調査の結果について
--	--

2) 令和6年度評議員会の開催状況および審議の概要は、次の通りである。

開催日時	審議事項
第80回定時評議員会 令和6年6月22日(土) 成幸ホーム 1階会議室	1. 令和5年度決算報告(案)および監事監査報告について ※報告事項 ①令和5年度事業報告について
第81回評議員会 令和6年12月14日(土) 成幸ホーム 1階会議室	1. 令和6年度第一次資金収支補正予算(案)について ※報告事項 ①令和6年度上半期事業活動収支報告について ②3か年計画骨子について ③公休数の変更案の説明について
第82回評議員会 令和7年3月22日(土) 平塚橋ホーム 1階 コミュニティ室	1. 理事の選任について 2. 令和7年度事業計画(案)について 3. 令和7年度資金収支予算(案)について ※報告事項 ①中期経営計画の策定について ②荏原特別養護老人ホーム高齢者権利擁護に係る事実確認調査の結果について

3) 令和6年度監事監査の開催状況の概要は、次の通りである。

開催日時	開催状況
監事監査 令和6年5月20日(月) 荏原ホーム 2階多目的室	1. 各サービスの事業状況、会計についての監事監査

4) 役員等名簿

理事長	小 濱 哲 二	医療福祉関係者
理事	鈴木 恂 子	医療福祉関係者
〃	井 上 幸 彦	学識経験者
〃	内 野 正 隆	医療福祉関係者
〃	村 和 男	学識経験者
〃	小 林 光 俊	医療福祉関係者
〃	山 口 由美子	施設長代表 【令和7年3月31日退任】
〃	西 村 信 一	医療福祉関係者
〃	石 渡 恵美子	施設長代表 【令和7年4月1日就任予定】
任 期	令和5年6月24日～令和7年定時評議員会	

評議員	酒 井 隆	医療福祉関係者
〃	阿 世 知 堯	地域の代表者
〃	武 藤 健 一	医療福祉関係者 【令和6年6月25日退任】
〃	國 分 幹 郎	地域の代表者
〃	宮 坂 衛	家族代表
〃	高 橋 初 美	家族代表
〃	谷 口 政 隆	学識経験者 【令和6年8月19日退任】
〃	宮 良 恵美子	家族代表
〃	片 岡 玲 子	学識経験者
〃	平 田 実	学識経験者
〃	戸 田 光 則	地域の代表者
任 期	令和3年6月26日～令和7年定時評議員会	

監 事	銅 谷 勝 子	医療福祉関係者
〃	碓 井 憲 男	学識経験者
任 期	令和5年6月24日～令和7年定時評議員会	

3 法人事務局

令和6年度は事務局長を配置し、事務局組織の再編を図った。また、人材確保に力を入れ、正職員16人（内介護職員9人）非常勤職員20人（内介護職員11人）の採用を行った。

(1) コンプライアンスの強化

令和7年4月改正の各規定の説明を複数回行い、職員への周知を図った。

育児・介護の法改正が多く、複雑になってきているため、担当者が外部のWEB研修を利用して、法改正の趣旨等を学び、法人内に周知するため事務処理の流れを確認する会議を行った。

(2) BCPの実施

BCP作成後、各拠点の防災訓練内でBCPに基づく訓練を行い、職員へのBCPの周知、防災への意識向上に努めた。

(3) 人材の確保・育成と働きやすい職場づくり

令和6年度も人材不足は変わらない状況であった。その中、様々な媒体を使い、こちらからスカウトをかける機能等を利用し、日々人材募集を進めた。

退職者を減らすため、働きやすい職場づくりの一環として、令和7年4月1日からの公休120日導入の準備を行った。

(4) メンタルヘルスの維持・向上

ストレスチェック制度を利用し、職員が定期的にストレス状態を確認できる体制の整備に努め、WEBでストレスチェックを利用し、回答後すぐに、ストレス状態を確認できるようにしている。

(5) 職員等の状況

令和7年3月31日現在の職員数

正職員	207名
嘱託職員	16名
非常勤職員	123名
計	346名

(6) 職員の採用実績

正職員

(単位：人)

採用実績(正職員)	介護職員	介護補助等職員	看護職員	訓練指導員	相談員	栄養士	事務職員	計
令和6年4月1日採用	4	—	—	—	—	—	—	4
対象年度中途採用	5	—	—	1	2	—	4	12
計	9	—	—	1	2	—	4	16

非常勤職員

(単位：人)

採用実績(非常勤職員)	介護職員	介護補助等職員	看護職員	訓練指導員	相談員	栄養士	事務職員	計
対象年度中途採用	11	4	1	1	1	—	2	20

(7) 職員の退職

年度内の正職員離職率 15.1%

(単位：人)

雇用形態	介護職員	介護補助等職員	看護職員	訓練指導員	相談員	栄養士	事務職員	計
正職員	23	—	2	1	7	1	2	36
非常勤職員	8	12	2	1	—	—	—	23
計	31	12	4	2	7	1	2	59

(8) 育児・介護休業取得の状況

令和7年3月31日現在、育児休業中の職員は2名、また、6か月以上育児等休業を取得した職員は2名であった。

4 利用者サービス

(介護老人福祉施設・通所介護事業・短期入所生活介護施設)

【令和6年度重点目標】

加齢や疾病により今までの自宅での生活がままならない状態となった時でも、住み慣れた地域で暮らし続けるため、本人の臨む生活の実現に向けて適切な介護サービスを提供していく。

施設入居後は、自宅とは場所は変われども本人らしい生活が送れるよう、入居前の様子や生活歴を軸に本人、家族との対話を重ねている。

1) 尊厳の重視

利用者の考える暮らし方や生き方を尊重し、本人が自分の生活をデザインし続け、その可能性をあきらめないことを支援していけるよう、基本的な尊厳の重視はもちろん、その方の状態に応じた支援を行った。

2) 権利擁護と虐待の防止

毎月の虐待防止検討委員会での学び権利擁護についての伝達研修を受け、職員一人ひとりが利用者の当たり前の権利を再確認すること、また「虐待の芽チェックリスト」を使いながら、日々のケアを振り返る機会を設けている。

3) 医療連携と看取り介護の充実

在宅サービスでは普段の様子を把握し、いつもと違った様子であればご家族、ケアマネジャー、必要であれば訪問看護や主治医との連携を図った。ホームでも重度化を防ぎ適切なタイミングで医療に繋がるよう主治医との情報共有を行った。

看取り介護に関しては、ご本人にとって苦痛がないよう、ご家族にとっても後悔のない最期を迎えられるよう各専門職が協働した。

4) 地域連携・地域貢献

ホームでは町会や、戸越台中学校、荏原平塚学園との交流など、地域との交流を深めた。デイサービスでは各施設の状況を考慮し、感染症対策をしながら、祭り、フラダンス、二胡演奏、歌、紙芝居等のイベントを行った。

また実習生、職場体験、保育園児の受け入れを引き続き行い地域貢献に努めた。今年度は新たにホームページを刷新し、法人全体の活動を発信して地域へPRをした。

5) 感染対策

生活する中で隣り合わせとなった日々の感染症対策は、標準予防策として、在宅サービス、ホーム共に共通認識となった。有事に備え、継続して取り組んでいる。

1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

（成幸・戸越台・荏原・平塚橋）

区分	成幸	戸越台	荏原	平塚橋
定員(人)	80	72	120	100

【令和6年度重点目標】

1) 安心・安全な生活の確保と介護の質の向上

通年でのオンライン動画研修を行い、計画的な人材育成を行った。また、介護技術講師を依頼し、集団での研修と、各施設で実際にフロアのご利用者への対応を学んだ。ナースコールシステムにおけるスマートフォンや記録ソフトとの連動を図った。

2) 安定した稼働率の維持

成幸ホームでは目標稼働率に近い水準であったが、他はいま一步目標稼働率には及ばなかった。季節を超えて起こる感染症の影響や、上がる医療依存度による入院者数の増加等が要因として考えられる。

3) 感染症予防平時より継続して取り組んでいる。感染症発生時には迅速に対応できている。

表① 利用者状況（令和7年3月31日現在）

区分	性別	定員(人)	最高年齢(歳)	平均年齢(歳)	平均要介護度	年度内総入所者(人)	平均稼働率(%)
成幸	男性	15	97	87.5	3.4	5(4)	96.9
	女性	65	101	89.2	3.5	26(18)	
	計	80	—	89.0	3.4	31(22)	
戸越台	男性	16	103	86.7	3.8	5(2)	93.8
	女性	56	108	89.7	3.7	37(19)	
	計	72	—	89.1	3.7	42(21)	
荏原	男性	12	98	88.0	3.5	13(6)	94.8
	女性	108	103	90.0	3.6	81(28)	
	計	120	—	89.4	3.6	94(34)	
平塚橋	男性	30	96	87.7	3.4	9(3)	88.6
	女性	70	107	90.6	3.5	48(25)	
	計	100	—	90.3	3.5	57(28)	
法人計	男性	73	103	87.5	3.5	32(15)	93.4
	女性	299	108	89.9	3.6	192(90)	
	計	372	—	89.5	3.6	224(105)	

※（ ）内の数字は実入所者数。一時利用含む

※詳細は47～57頁を参照

(1) 生活全般の支援サービス

1) 介護サービス

①食事

食事は利用者の大きな楽しみの一つである。感染症に十分留意しながら美味しく、楽しく、安心して安全な食事を提供することに努めるとともに、給食委託業者と連携し、食品衛生法に基づき衛生的で安全な食事提供に努めた。また、多職種連携により栄養ケア・マネジメントを実施し、適切な食事サービスを提供した。

②入浴

利用者個々の状態に合わせて介助浴や機械浴などの方法を随時見直した。身体を清潔にすることだけでなく、リラックスした空間での入浴をとなるように、音楽を流したり、また、季節を感じる行事として菖蒲湯、柚子湯を実施した。

③排泄

できる限りトイレでの排泄を促し、利用者個々の排泄リズムに合わせることができるようケアを行った。身体状況に合ったオムツの使用、回数などを見直し、ケアプランに反映した。

④その他サービス

施設の状況に応じて、外部業者による理美容サービスを提供し、本人の要望に応じたヘアスタイルを提供した。また、爪切りや耳垢清掃、髭剃りなどを随時行い、身だしなみを整えた。

2) 健康管理

季節を問わない感染症となった新型コロナウイルス感染症やインフルエンザが各施設内で発生することがあったが、大きな広がりをみせず収束に至った。平時から感染症発生の可能性を念頭におき業務にあたったことでの成果と考える。

入所者の高齢化、重度化により、嚥下機能、身体的機能の低下に伴い医療行為や処置件数が増加している。皮膚トラブルを起こしやすく、褥瘡のリスクも高い。日頃から介護職員、看護職員と連携をとりながら、こまやかなケアを提供するよう努めた。

3) 機能訓練

利用者それぞれのADL(日常生活動作)の維持・安定を目的に、機能訓練を実施した。ベッドでの起居動作・立ち座り動作・歩行動作訓練などを通じて訓練指導員が現状の評価を行い、ポジショニングやシーティング、実際の生活の中での介護職員の実践等多職種連携で取り組んだ。

また、利用者の身体状況に適した福祉用具(杖・歩行器・車いすなど)の選定を行い、定期的に安全性や使いやすさの見直しを行った。その他、誤嚥性肺炎の予防を目的に嚥下体操やマッサージを行い、より安全な食事姿勢の確保に努めた。

(2) その他のサービス

1) 三徳懇談会

毎月、利用者満足度のサービス向上を目的とし、利用者への情報提供と意見交換や要望などをうかがう機会を設けた。

表②

区 分	参加延べ人数
成 幸	231人
戸 越 台	76人
荏 原	87人
平 塚 橋	37人

2) クラブ活動への参加

感染対策を講じながら、利用者の希望する活動に参加していただき、単調になりがちな日常生活に活気のある生活を過ごしていただけるように努めた。

(3) 相談・情報提供

1) 相談サービス

①家族懇談会

上半期、下半期で計2回の家族懇談会を実施した。介護保険制度の改正や介護保険負担限度額申請等の案内、日々の利用者の生活の様子を伝えた。また家族にアンケートの記載をお願いし、アンケート結果をサービスに反映できるよう努めている。施設サービス計画書、栄養ケア計画書、個別機能訓練計画書は更新のたびに送付をして同意を得た。

表③

区 分	実施月日	参加家族
成 幸	4月21日	15
	3月16日	13
戸 越 台	4月14日	17
	3月16日	24
荏 原	10月13日	26
	3月23日	23
平 塚 橋	10月5日	29
	3月8日	35

②苦情相談窓口

苦情対応窓口や意見箱に寄せられた意見や提案などは迅速に対処して、定期的に開催される苦情解決・サービス向上委員会に報告した。

2) 生活だより

利用者の施設における生活状況を家族に伝えるものとして、各施設で広報紙を発行し、館内での掲示、ご家族へ送付した。

(4) その他

1) 福祉サービス第三者評価

成幸ホーム（特養・ショートステイ）、荏原ホームは第三者評価を受審した。主な内容は利用者調査、職員自己評価、利用者聞き取りおよびアンケートであり、受審結果を基にサービスの質の向上を図り、利用者本位の福祉の実現をめざしていく。

・成幸ホーム

利用者聞き取り調査	令和6年11月27日	利用者10名
利用者アンケート（郵送）		ショートステイ利用者8名
訪問調査	令和7年1月20日	

・荏原ホーム

利用者聞き取り調査	令和7年1月18日	利用者6名
利用者アンケート（郵送）		ショートステイ利用者32名
訪問調査	令和7年2月7日	

2) セルフチェックシート（自己評価）

品川区がサービス向上の仕組みとして「施設サービス向上研究会」で開発したセルフチェックシートを用いて施設サービスの評価を行い、評価結果をもとに課題を明確化し、計画的に改善を進めた。

3) 介護サービス情報の公表

毎年、東京都へ介護サービス情報を報告している。その結果はとうきょう福祉ナビゲーションの「介護サービスの情報の公表」で公開されている。

2. 通所介護事業（デイサービス）

（成幸・戸越台・荏原・小山）

定員（人）

（1日あたり）

		成 幸	戸越台	荏 原	小 山
基 本	総合事業	20	30	40	
	介 護				
認知症対応			10	10	10

※成幸の認知症対応型通所介護は、令和6年4月～令和7年3月まで休止した。

【令和6年度重点目標】

1) 利用者、家族の意向を把握し、個別性を重視したサービスの提供

利用時、担当者会、日々の連絡帳、送迎などを通して状態や意向の確認をした。また各セクションと連携を図り、利用回数の見直し、滞在時間の変更、リハビリや入浴等のサービス調整を速やかにした。楽しく心身の活性化につながる個別・集団リハビリやレクリエーションを提供した。

楽しくリハビリに参加、そして継続的に参加できるように、個々に合わせた内容で機能訓練指導員や介護職員、看護職員が相談をして決めて提供した。

2) 各種行事やボランティア、実習生や職場体験など地域社会との交流の促進

各施設の状況を考慮し、感染症対策をしながら、祭り、フラダンス、二胡演奏、歌、紙芝居等のイベントを行った。また実習生、職場体験、保育園児は引き続き受け入れを行い、地域社会や世代間交流を行った。

3) デイサービスの魅力やサービス内容をホームページやSNSなどで発信、地域住民への情報提供

日ごろの活動の様子が分かるように、ホームページの刷新と広報紙を配付した。また、認知症対応型運営推進会議では民生委員等へ取り組みの報告を行った。

4) 認知症ケアに関する研修や勉強会に参加

福祉カレッジの「認知症があってもなくても、もっと楽に、いい日を！」「認知症の人の視点を体験しよう！！」「若年性認知症の最前線～現状や課題・実践的活動を学ぼう～」等の認知症に関する研修に参加。そして、参加していない職員に周知を行い、資質の向上に努めた。

5) 稼働率の向上

稼働率向上のための取り組みとして、本人、家族、ケアマネとの連携を密に行った。しかし、大規模改修工事で入浴者数の受入れ制限等、それぞれの施設で状況が異なり、稼働率にばらつきが見られた。

表④ 基本デイサービス・認知症デイサービス総計 (単位：人)

区 分	R 6 年度	R 5 年度	R 4 年度
成 幸	5,438	6,378	5,377
戸越台	7,664	6,977	6,657
荏 原	8,472	9,894	10,375
小 山	1,784	1,631	1,094

※詳細は78～93頁を参照

※成幸は認知症事業を休止した

(1) 基本デイサービス (予防事業・介護給付)

個々の利用者に対して、本人、家族の希望を尊重し、その人の必要に応じた通所介護計画を作成し同意を得て交付、それをもとにクラブ活動、機能訓練、入浴、食事等を提供した。高齢者は、体調が変化しやすいので家族との連絡を密にとり、利用中の小さな変化も見落とさず、迅速に的確な対応が行えるように努めた。また、年間を通して感染症対策を徹底しながら事業運営を行った。

表⑤

区 分	R 6 年度			R 5 年度			R 4 年度			
	延べ利用者数	稼働率		延べ利用者数	稼働率		延べ利用者数	稼働率		
成 幸 定員20人	予防	1,982	5,438	88.4%	1,600	4,958	80.5%	1,330	3,810	62.1%
	介護給付	3,456			3,358			2,480		
戸越台 定員30人	予防	2,249	6,496	70.3%	2,236	6,577	71.1%	2,273	6,386	69.1%
	介護給付	4,247			4,341			4,113		
荏 原 定員40人	予防	2,372	6,877	55.8%	2,535	8,165	66.3%	2,496	8,406	68.2%
	介護給付	4,505			5,630			5,910		

※詳細は78～93頁を参照

(2) 地域密着型認知症対応型デイサービス

成幸・戸越台・荏原・小山

利用者一人ひとりが自分らしく生きがいのある生活を送れることを目標に、家族、ケアマネジャーと連携をとり、また、担当者会議により情報交換とケアプランの検討・再検討を行い、年間を通して感染症対策を行い事業運営を行った。

表⑥

区 分	R 6 年度		R 5 年度		R 4 年度	
	延べ 利用者数	稼働率	延べ 利用者数	稼働率	延べ 利用者数	稼働率
成 幸 定員10人	—	—	1,421	46.1%	1,567	51.0%
戸越台 定員10人	1,168	37.9%	400	13.1%	271	8.6%
荏 原 定員10人	1,589	51.7%	1,764	56.1%	1,969	63.9%
小 山 定員10人	1,784	58.0%	1,631	52.9%	1,094	35.6%

※詳細は78～93頁を参照

※成幸は認知症事業を休止した

(3) 介護予防事業（身近でトレーニング）

戸越台・荏原

在宅生活の継続を支援するサービスとして、自宅でも「体力づくり」「運動習慣づくり」に取り組めるよう、椅子など身近な道具を使った運動方法を指導した。

表⑦

(単位：人)

区 分		R 6 年度	R 5 年度	R 4 年度
戸越台	実人数	144	144	135
	延人数	419	490	438
荏 原	実人数	—	72	110
	延人数	—	250	400

※荏原 大規模改修工事の関係で休止

※詳細は84～85、88～89頁を参照

(4) その他

1) 入浴サービス

自宅での入浴が困難な方に、健康面と衛生面を保持するために利用者のADLに合わせて介助浴、機械浴の2タイプの入浴方法で対応した。また、家庭で入浴しているような雰囲気を作り、気分転換や情報交換の場としての活用も図った。

表⑧ (単位：人)

区 分	R 6 年度	R 5 年度	R 4 年度
成 幸	延3,690	延4,024	延3,486
戸越台	延3,943	延3,887	延3,773
荏 原	延4,989	延5,649	延5,807
小 山	延 730	延 530	延 232

※詳細は80～81、84～85、88～89、92～93頁を参照

2) 機能訓練

生活機能の向上を目的に、基本プログラムとグループ・選択別プログラムを設けて機能訓練を実施した。訓練を通じて、生活機能の改善や転倒予防、意欲の向上などを図るとともに、自宅での役割や地域活動への積極的参加を促した。

また、機能訓練加算については、通所介護個別機能訓練加算 I（成幸、戸越台、荏原）を算定し、義務付けられた3か月に一度の訪問を、訓練指導員・相談員・介護職員で分担して行い、「活動」と「参加」の向上を図った。

表⑨ (単位：人)

区 分	R 6 年度	R 5 年度	R 4 年度
成 幸	延3,225	延3,015	延1,984
戸越台	延7,292	延6,563	延6,123
荏 原	延2,864	延3,189	延3,702

※詳細は80～81、84～85、88～89頁を参照

3) 食事サービス（通所、訪問）

食事サービスについては、栄養相談を行い疾病や障害を考慮した食事を提供した。在宅の利用者および家族へは情報提供を行った。

表⑩ (単位：件)

区 分		R 6 年度	R 5 年度	R 4 年度
成 幸	通所サービス	5,438	6,379	5,377
	訪問給食	280	816	1,100
戸越台	通所サービス	7,513	6,821	5,969
	訪問給食	3,196	2,846	2,559
荏 原	通所サービス	8,363	9,738	10,247
	訪問給食	846	944	932

※詳細は80～89頁を参照

4) クラブ活動

感染症対策として講師やボランティアの受け入れを見合わせたなかでも、楽しく参加できるように工夫をして、音楽リハビリ・習字・生け花・手芸・切り紙クラブなどを行った。作品は施設内に展示することにより、創作意欲の向上や、活動への励みとなった。

5) 保険外サービス

障害者や介護保険非該当の方、また長時間利用が困難な方の食事、入浴等のサービスを行った。

6) 介護者教室

地域貢献活動として料理教室を年4回開催した。

7) 健康管理

年々、重介護を必要とする利用者や、さまざまな慢性疾患をもつ利用者が増えてきている。安心して利用していただくための事前訪問、来園時のバイタルチェック、全身状態の観察を利用時に毎回実施した。

また、新型コロナウイルス感染症予防のため、来所時の体温測定をそのつど行い、体調確認を実施した。

表①

(単位：件)

区 分	R 6 年度	R 5 年度	R 4 年度
成 幸	10,005	11,736	11,376
戸越台	12,513	11,427	10,971
荏 原	10,980	12,395	12,654

※成幸は認知症事業を休止した

8) 四季の行事

花見、夏まつり（納涼祭）、ドライブ、クリスマス会、餅つき、節分、ひな祭り、菖蒲湯、柚子湯等、四季折々の行事を感染症対策を実施しながら、各施設の状況に合わせて実施した。実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で花見、夏まつり、バスハイクなどの密になる行事を中止や見直しをして行った。

9) 認知症対応型通所介護運営推進会議

認知症対応型通所介護のサービスの質をより向上し、利用者のニーズに合ったサービス内容とするため、利用者とその家族、行政（品川区高齢者福祉課）、地域の関係者などにお集まりいただき、事業所ごとに6か月に1回開催した。

※成幸 認知症事業休止のため実施せず。

3. 短期入所生活介護事業（ショートステイ）

（成幸・戸越台・荏原・平塚橋）

定員（人）

（1日あたり）

区分	成幸	戸越台	荏原	平塚橋
定員	16	8	24	12
特養空床利用	4	4	6	5

【令和6年度重点目標】

- 1) ケアプランに基づき、利用者・家族の意向を反映したサービスの提供
サービス計画書を作成し、利用者・ご家族ともサービス内容の共有を図った。
- 2) 利用者のADL維持向上を目的としたリハビリやレクリエーションの実施
ショートステイ利用前と同じ状態で自宅に戻れるよう、集団でのリハビリやレクリエーションの実施、個別で身体を動かす機会を設けている。
- 3) 緊急ショートステイの受け入れや急な利用希望への対応
依頼を受け、適切なサービスが提供できる範囲内で対応をできている。
- 4) 目標稼働率の維持・向上
稼働率は厳しい状況であった。地域のニーズを見極め、適正な稼働率を維持していく。
- 5) 感染対策の継続
平時から基本的な感染対策を継続している。

表⑫

区分	R6年度		R5年度		R4年度	
	延べ 利用日数	稼働率	延べ 利用日数	稼働率	延べ 利用日数	稼働率
成幸 定員16人	488	8.6%	823	14.2%	763	13.3%
戸越台 定員8人	1,155	39.6%	977	33.4%	1,112	38.1%
荏原 定員30人	6,924	79.0%	8,267	76.5%	8,536	77.9%
平塚橋 定員12人	2,192	50.8%	1,696	39.4%	1,589	36.8%

※荏原は大規模改修工事により、令和6年3月から24床で運営している

※詳細は94～97頁を参照

4. 在宅介護支援センター

居宅介護支援事業、老人介護支援センター、地域包括支援センター
(成幸・戸越台・杜松・荏原・小山・小山台)

地域包括支援センターのサブセンターとして、総合相談の窓口機能を活かし地域住民の相談支援を遂行した。新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、要介護認定調査は特例措置の撤廃により、通常の認定調査が戻ってきた。各支援センターでは前年に比べ認定調査の数は大きく伸びた。給付管理件数に関しては、新規および更新認定者の結果が要支援認定となることが多く、介護給付件数は伸び悩んだが、予防給付件数は増加傾向に転じた。

【令和6年度重点目標】

1) 標準件数の適正化と加算算定の理解

品川区との協定における各支援センターの「配置職員数およびケアマネジャーの取り扱い件数」について、配置人数不足を指摘された支援センターが1か所。介護給付担当の取扱件数超過を指摘された支援センターが1か所あり、全ての支援センターでは協定を遵守することができなかった。入院時情報連携加算、退院退所加算に関しては概ね算定が出来ているが、入院の連絡が担当ケアマネジャーに入らず、算定ができないことも散見された。ターミナルケアマネジメント加算について、昨年、一昨年に比べると算定件数は減少している。自宅での看取りではなく、緩和ケア病棟等への入院を希望するクライアントや家族が増えてきたことが要因の一つであると考えられる。

2) 「適切なケアマネジメント手法」を理解したケアマネジメントの実践

適切なケアマネジメント手法を学び、理解を深めるために、今年度も多くの職員が、「基本ケア」または「疾患別ケア」の習得のために研修へ参加し実践を行った。また、ケアプラン自己点検ソフトウェアを実践した。自らの実践を振り返る機会となり、不足しているアセスメントの視点の確認を行った。自ら不足している視点を確認したことにより、適切なアセスメントを基にしたケアマネジメントの実践を行った。

3) F-SOAI P記録法からなる相談業務の充実

「品川区F-SOAI Pクイック・マニュアル」に基づく、相談記録入力の実践を行った。主観的情報、客観的情報、支援の根拠、働きかけ等をF-SOAI Pそれぞれの項目で表現をすることで、多職種連携においては端的に説明することが可能となり、円滑な連携を図ることができた。項目を立てて記録していくことで、不足している情報や支援者としての判断等が読み取りやすくなったことで、事業所内で支援に関する意見交換が活発になった。加えて職員の教育、育成の観点から上位者によるスーパービジョンの基になるなど、相談支援の資質向上につながった。

表⑬ 要介護認定調査 (単位：件)

区 分	R 6 年度	R 5 年度	R 4 年度
成 幸	417	116	113
戸 越 台	335	149	175
杜 松	411	191	261
荏 原	322	135	140
小 山	453	177	252
小 山 台	238	205	198

表⑭ 国保連への請求数 (単位：件)

区 分		R 6 年度		R 5 年度		R 4 年度	
成 幸	介護給付	1,060	4,505	1,331	4,697	1,302	4,484
	予防給付	3,445		3,366		3,182	
戸越台	介護給付	1,180	3,255	1,235	3,378	1,434	3,667
	予防給付	2,075		2,143		2,233	
杜 松	介護給付	1,124	4,103	1,132	3,870	1,081	3,650
	予防給付	2,979		2,738		2,569	
荏 原	介護給付	1,412	3,633	1,480	3,582	1,526	3,608
	予防給付	2,221		2,102		2,082	
小 山	介護給付	813	4,047	1,252	4,172	1,598	4,659
	予防給付	3,234		2,920		3,061	
小山台	介護給付	1,071	3,020	1,123	2,835	942	2,494
	予防給付	1,949		1,712		1,552	

※「予防」の件数は令和元年度より予防給付件数と総合事業原則型および簡略型ケアマネジメント件数の総計

表⑮ 相談件数 (単位：件)

区 分	R 6 年度	R 5 年度	R 4 年度
成 幸	12,478	14,040	14,706
戸 越 台	8,836	10,241	12,133
杜 松	14,807	14,556	14,464
荏 原	10,837	11,402	11,331
小 山	8,527	13,186	15,278
小 山 台	8,766	6,256	7,249

※表⑬⑭⑮の詳細は102～125頁を参照

5. 障害者計画相談支援（特定相談支援）

（荏原）

障害福祉サービス利用については、本人、家族の意向を十分に尊重しながら、行政機関（基幹相談支援センター）および拠点相談支援センターとの連携を図り、相談、計画作成を進めた。また介護保険サービスを併用する利用者については、介護支援専門員との連携、情報共有を図り包括的な課題解決と家庭環境等に応じた支援を実施した。

地域において必要と考える社会資源については、各会議等で発言を行ったが改善、開発に至らず課題が残る結果となった。

表⑩ 障害種別 (単位：人)

利用者数	R6年度	R5年度	R4年度
身体障害	288	233	108
重症心身障害	2	—	9
知的障害	60	60	38
高次脳機能障害	8	—	2
その他	13	20	3

※表⑩の詳細は126～127頁を参照

※荏原障害者計画相談支援は令和4年3月より開始

5 高齢者多世代交流支援施設(ゆうゆうプラザ)

(平塚橋)

年間登録している団体のほか、申込みによる部屋利用、個人登録の利用者が増加し、夜間の部屋の利用は、当日の申し込みが増えるなど、利用者の認知度が向上した。

地域交流スペースは囲碁や将棋を楽しむ高齢者以外にも友達と宿題やゲームをする小学生がかなり増え、時間帯によりにぎやかな地域交流スペースとなっている。ロビーではゆうゆう作品展、コーラス、演奏会、ポッチャ大会、児童と高齢者とのeスポーツ交流、クリスマスイベントの他、利用者や近隣保育園にも協力いただきミニ作品展等を開催し、地域住民の活動発表や交流の場として、多世代交流ができた1年となった。

ゆうゆうプラザ企画の事業では、多世代の利用者が参加できるものとして「ゆうゆう川柳」を開始した。題の選定は利用者に依頼し、川柳の作品をミニ作品展で展示した。

その他、各種感染症の対策は引き続き行い、安心安全にゆうゆうプラザを利用できる対応をした。

区 分	R 6 年 度	
	人 数	平 均
高 齢 者 利 用 者 数	23,159	95.8/日
区事業・高齢者団体以外	7,344	612/月
総 利 用 者 人 数	41,210	3,434/月
入 浴 者 数	3,825	38.3/日

6 各施設共通サービス

医務室

《重点目標》

1. 感染専門医からの助言のもと、感染症の蔓延を防止
2. 利用者の日々の健康管理
3. 終末期においても安心した生活を送れるような支援
4. 多職種間の連携・協働体制
5. 職員の健康相談や管理指導

感染症の予防に留意したが、コロナウイルス感染症、インフルエンザ、感染性胃腸炎の発生はみられた。利用者と職員の一部の健康診断を外部委託に変更。実施もスムーズに行え、結果の集計、書類の管理も簡潔化された。看取り介護も多職種間で連携し支援した。

1. 感染専門医からの助言のもと、感染症の蔓延を防止

- ・感染専門医から助言のもと感染対策責任者は職員に対し教育や啓発を行った。
- ・マスクの着用、ソーシャルディスタンス、密回避、換気、清掃の徹底を行った。
- ・流行性感染疾患の蔓延防止に努めた。
- ・利用者、職員の健康管理。確実な情報を速やかに収集した。

2. 利用者の日々の健康管理

- ・健康診断 血圧、身長、体重、血液一般、検尿、心電図、胸部レントゲン
(新入所者は上記内容に感染症を含む。)
新型コロナウイルスワクチン接種 11月
インフルエンザ予防接種 11月から12月
肺炎球菌予防接種 随時
- ・診察 配置医師診療 感染専門医 精神科診療
整形外科診療 眼科診療 歯科診療
- ・その他 血圧測定 体重測定 服薬管理 電話相談 受診時の介助

3. 終末期においても安心した生活を送れるような支援

- ・看取り介護指針に基づき継続的な支援を行った。
- ・配置医師および協力医院等と情報共有、連携を図り、介護職員と連携した。
- ・利用者の状態観察と必要な処置を行った。
- ・家族へ説明と不安の解消に努めた。

4. 多職種間の連携・協働体制

- ・多職種間との連携および情報の共有を図り、チームケアを推進した。
- ・体調不良者や低栄養、高リスク者の把握に努め、適切な助言と指示を行った。
- ・生活リハビリ、安楽な姿勢や介護用品の検討など機能訓練室と連携した。
- ・緊急対応マニュアル、各指針類の確認を行った。

5. 職員の健康相談や管理指導

- ・職員の健康診断、健康管理や医療相談、産業医との連携を図った。
- ・ストレスチェックを実施した。

機能訓練室

《重点目標》

1. 利用者の自立支援、重度化防止を目指した多職種での取り組み
2. 生活機能に重点を置いた「個別訓練」「集団訓練」の実施
3. 適切な福祉用具の導入・管理・指導の実施
4. 嚥下障害への取り組み
5. 職員の腰痛予防への取り組み

令和6年度は医務訓練室から機能訓練室へ移行した初年度として、多職種との連携と同様に各施設間の情報共有も強化した。

施設サービス・在宅サービス共に生活機能に重点を置いた個々の利用者の状態に合わせたプログラムを立案した。

「個別訓練」をメインに、自立支援・重度化防止・介護負担軽減に直結する訓練を行った。

1. 利用者の自立支援、重度化防止を目指した多職種での取り組み

- ・相談員（生活状況、家族構成、利用背景等）、医療（現病歴、既往歴、服薬状況等）、口腔・栄養（摂取状況、嚥下状態、誤嚥リスク等）の情報を共有して訓練計画を立案した。
- ・訓練計画の内容は、3ヶ月に1度定期的に評価・再検討し、利用者・家族や関係職種に報告を行った。
- ・口腔状態や栄養摂取状況を共有し、「できる事」を訓練内容に取り入れた。

2. 生活機能に重点を置いた「個別訓練」「集団訓練」の実施

- ・「個別訓練」では、座位保持・移乗や移動の改善を重視して行なった。
- ・「個別訓練」では、臥床時・座位時共に安全・安楽な姿勢の獲得や、移乗・移動の改善を重視して行なった。
- ・「集団訓練」では、誰もが楽しく参加できるように努めた。
- ・生活の基本となる歩行訓練・立位保持訓練を中心に安心安全に生活できるよう個別性重視の訓練を実施した。

3. 適切な福祉用具の導入・管理・指導の実施

- ・車いすは安全性や使いやすさを考えて選定・購入した。
- ・車いす・歩行器・クッション等の定期的なメンテナンスを行った。
- ・国際福祉機器展等へ参加し、最新の福祉用具や専門知識の情報収集を行った。

4. 嚥下障害への取り組み

- ・嚥下機能を維持するため、嚥下マッサージおよび嚥下体操を実施した。
- ・食事時には自力摂取がしやすいよう、姿勢改善のためシーティングを行った。
- ・嚥下障害に対しては、言語聴覚士（S T）相談など、多職種協働で取り組んだ。

5. 職員の腰痛予防への取り組み

- ・様々な場面でできる腰痛予防体操を紹介・奨励した。
- ・負担の少ない介護技術や福祉機器の情報を各職種と共有した。
- ・福祉機器の使用を優先として、多職種と協働で使用を推進した。

栄養室

《重点目標》

1. 多職種との連携による栄養ケア・マネジメントの実施
2. 委託業者との連携、安全で充実した食事提供への取り組み
3. 地域に向けた取り組み
4. 栄養室の業務や厨房の設備環境などを計画的に行い安定した運営

多職種連携により栄養ケア・マネジメントを実施し、科学的介護推進に関する評価につなげた。そして、美味しく、楽しい食事提供に努めるとともに、委託業者と連携し、食品衛生法に基づき、摂食・嚥下機能に合わせた安全な食事づくりを行った。また、各施設の状況に合わせ、感染症予防策に配慮するとともに、感染性胃腸炎・新型コロナウイルス感染症を含む感染症の情報収集や情報共有を行い感染拡大防止に努めた。

委託会社の栄養士の業務効率化による給食業務管理費削減のため、8月から四施設統一献立を実施した。

1. 多職種との連携による栄養ケア・マネジメントの実施

- ・食事形態や療養食など利用者の疾病、症状、嗜好に合わせた対応をした。
- ・食事時間の変更や食器具など柔軟な対応を行った。
- ・多職種連携のもと個々の栄養状態安定を図り、個別対応（嚥下機能、低栄養、褥瘡、看取り）をした。

2. 委託業者との連携、安全で充実した食事提供への取り組み

- ・委託業者と連携し食品衛生法に基づいた食事提供を行った。
- ・感染症専門医のアドバイスを受けながら、感染症対策やイベント食などを実施した。
- ・新・再入所（居）時は情報を共有し、利用者に応じた食事提供を行った。
- ・非常食の備蓄管理を行い、利用者や職員への啓蒙に努めた。
- ・季節感のある行事食や様々なイベント食などを提供した。
- ・残菜調査、給食委員会、ミールラウンドなどで利用者のニーズを把握して食事づくりへ反映させた。

3. 地域に向けた取り組み

- ・デイサービスおよび配食については、疾病や障害を考慮した食事を提供した。
- ・多世代の地域住民を対象とした地域貢献活動としての料理教室「三徳会元気クッキング」を年4回実施した。

4. 栄養室の業務や厨房の設備環境などを計画的に行い安定した運営

- ・業務の見直しや、四施設統一献立の検討なども含め、栄養業務を行った。
- ・安全な厨房環境を整えるために厨房設備の計画、保守や早期修繕、必要に応じて機器や備品交換を行った。

7 各拠点の取組

成幸ホーム

《重点目標》

1. 多職種連携で利用者の尊厳の保持とケアの向上
2. 基本をふまえた介護の実践と業務の効率化・省力化
3. 感染症・災害対策の対応を向上させる取り組みと訓練を実施
4. 感染症対策の継続
5. 安定した稼働率に向けた入所調整と加算の取得

計画していた次世代の介護機器の補助金申請が通り、特殊寝台を20台導入することができた。センサー内蔵型となっており、業務の省力化や職員の介護負担軽減につなげることができた。入所調整にも力を入れ、目標稼働率に対して概ね達成することができた。

1. 多職種連携で利用者の尊厳の保持とケアの向上

- ・認知症利用者対応の向上を目指し内部・外部研修への参加を実施した。
- ・「虐待の芽チェックリスト」を活用して常勤・非常勤職員ともに振り返る機会をつくった。
- ・虐待防止委員会や身体拘束廃止委員会会議録を周知することで職員一人ひとりが人権尊重の意識が向上するように取り組み、不適切ケアの防止を図った。
- ・重度化を防ぐため機能訓練、口腔衛生、栄養等の多職種連携を進めた。

2. 基本をふまえた介護と実践と業務の効率化・省力化

- ・利用者の安心・安全を第一に基本的介助方法の振り返りを適宜行った。
- ・オンライン動画研修にて統一した研修を効率的に職員に対し行った。
- ・業務省力とICT化を進めるために次世代の介護機器の導入を検討し補助金を活用することで特殊寝台20台の導入を行った。

3. 感染症・災害対策等の対応を向上させる取り組みと訓練を実施

- ・感染症の勉強会を適宜実施し、感染症の基本的な知識の習得に努めた。
- ・現状に則したBCP訓練を実施。また、災害発生時の継続的なサービス提供ができる体制が構築できるよう、緊急連絡網やマニュアルの改訂を行った。

4. 感染症対策の継続

- ・利用者・職員の健康状態をより注意深く確認し、感染症の早期発見、拡大防止に努め、対応方法についても事前に検討することができた。

5. 安定した稼働率に向けた入所調整と加算の取得

- ・年間平均稼働率目標 97.0% 稼働率実績 96.9%
- ・区と連携を図り、速やかな入所調整を行った。
- ・加算要件を確認し、取得できる加算については算定を開始した。

成幸デイサービス

《重点目標》

1. 楽しく充実した時間を過ごせるようにする
2. 個人の能力を見極め、生活スタイルに合わせた個々のリハビリを実施する
3. 「介護職はサービス業との意識」「チーム意識」を持って利用しやすく、働きやすい環境を整える
4. 制度改正の内容を理解し、適切な事業運営ができるようにする

マスク、換気、消毒等の感染症対策は引き続き行い、継続的な事業運営を進めることができた。

介護職員の確保が困難なため、認知症事業は1年間休止とした。今まで受け入れをしていた方は基本事業として受け入れや、他施設へ移行をし、継続してサービスが利用できるようにした。また職員配置やマニュアルの見直し、収支を意識した運営ができた。

地域や世代間交流を意識して、ボランティア、実習生の受入れ、保育園と交流を積極的に行った。

1. 楽しく充実した時間を過ごせるようにする

- ・本人の心身状況を把握し、利用目的を明確にした上でサービス提供をした。
- ・クラブ活動や余暇の時間を充実し、楽しく過ごせるように、カラオケ、脳トレ、体操、ドライブ等、利用者の状況を見ながら提供した。
- ・会話が弾み、楽しく過ごせるように座席の配置等を心がけ、利用者同士や職員との対話を充実できるようにした。

2. 個人の能力を見極め、生活スタイルに合わせた個々のリハビリを実施する

- ・日頃の様子を見極め、利用者や家族の意向も考慮した内容とした。
- ・機能訓練職員が中心となり、介護職、相談員、看護職と連携を図り計画書を作成し、実施、評価、必要に応じ見直しをした。
- ・自立支援、重度化防止を意識し、リハビリの実施方法（場所、時間、内容等）の検討や見直しを行い、魅力のある、選択されるリハビリにできた。

3. 「介護職はサービス業との意識」「チーム意識」を持って利用しやすく、働きやすい環境を整える

- ・利用者、家族の要望を出しやすい雰囲気作りのために、利用時・送迎時・担当者会等を通してコミュニケーションを図った。
- ・他職種職員との連携を意識して、コミュニケーションを図り、チームとして運営を行った。

4. 制度改正の内容を理解し、適切な事業運営ができるようにする

- ・制度改正の趣旨や内容を理解し、科学的介護推進体制加算を新たに算定した。
- ・年間平均稼働率目標（基本事業）80.0%であったが、受け入れを速やかに行い、稼働率実績は88.3%となり、目標達成ができた。
- ・職員の質との向上のために認知症ケア、レクリエーション、虐待防止等の研修に積極的に参加をして、他職員にも周知できた。

成幸ショートステイ

《重点目標》

1. 利用満足度の向上と感染症対策
2. 遵守事項を守りサービスマナーを向上
3. 業務の効率化と省力化
4. 適正な稼働率の維持

1. 利用満足度の向上と感染症対策

- ・ボランティアや近隣小学校や保育園児を受け入れることで活動内容を充実させることができた。
- ・安心して利用していただけるよう感染症対策を十分に行い、最新の情報を常に職員間で共有することができた。

2. 遵守事項を守りサービスマナーを向上

- ・言葉遣いや接遇など専門職として対応できるよう、サービスマナー向上に関する研修を実施した。

3. 業務の効率化と省力化

- ・利用者の安心・安全を第一に基本的介助方法の振り返りを適宜行った。
- ・オンライン動画研修にて統一した研修を効率的に職員に対し行った。

4. 適正な稼働率の維持

- ・年間平均稼働率実績は8.6%となり目標の20.0%を達成することができなかった。
- ・入園後の確認事項等はタブレット端末等を活用し、業務時間の削減を図ったが、さらなる活用方法は検討できなかった。
- ・利用者のニーズに則した適正稼働率は維持することができなかった。減床については検討を重ね、市区町村への申請を行った。

成幸在宅介護支援センター

《重点目標》

1. スムーズな退院・退所調整
2. ターミナル期の利用者支援と医療機関連携
3. 虐待が疑われる利用者の支援

月平均利用者数 介護 88.3人 職員配置 4.0人
予防 287.0人 職員配置 4.0人

1. スムーズな退院・退所調整

- ・医療機関や施設相談員と連携を深めることで利用者・家族が在宅復帰にあたり安心できるよう努めた。

2. ターミナル期の利用者支援と医療機関連携

- ・ターミナル期で心身の状況が変化する利用者や家族に対し、医療機関や関係機関と連携して細やかな対応を行い、利用者・家族が安心感を得られるよう努めた。

3. 虐待が疑われる利用者の支援

- ・品川区と連携して介護支援専門員として可能な範囲で積極的に関わり、早期の解決に向けて担当職員だけでなく支援センターとして対応にあたった。
- ・虐待防止研修等に積極的に参加した。

戸越台ホーム

《重点目標》

1. 利用者満足度の向上
2. ICTの運用によりサービスの向上
3. 感染症対策の継続
4. 安定した事業運営
5. 人材の定着

深刻化する介護不足の中で、ICTの本格的稼働により業務の効率化、情報の共有化を図り、生産性向上に取り組んだ。また、感染症予防のための面会制限を緩和し、家族と一緒に過ごす時間を大切にした。

1. 利用満足度の向上

- ・利用者、家族の意向を反映させたケアプランを作成し、一人ひとりの状態像に着目した個別サービスを提供した。
- ・利用者や家族からの意見や要望は、食事内容やレクリエーションなどに反映、季節感のある行事や戸越台中学生との交流を行った。

2. ICTの運用によりサービスの向上

- ・スマートフォン1台で介護記録システム、ナースコール、見守りセンサーの一元管理により、どこでも記録入力や画像の確認ができ、リスク回避や時間短縮など職員の身体的・精神的負担の軽減につながった。また、いつでも内線や外線が使用でき、情報共有化やコミュニケーションの円滑化が図れている。

3. 感染症対策の継続

- ・BCPをふまえ平常時から感染対策を実施した。4月と7月に利用者がコロナウイルス感染症を発症、年明けには急性胃腸炎の症状が見られたが早期対応により数名の感染者で収まった。

4. 安定した事業運営

- ・速やかに入所調整を行ったが年間平均稼働率実績は93.7%で、目標の97.0%を達成することはできなかった。要因として退所者や入院者が前年度と比べて、倍以上の増加が挙げられる。
- ・介護・看護の派遣職員や非常勤職員を即戦力として配置した。
- ・介護保険報酬の安全対策体制加算を新たに取得した。

5. 人材の定着

- ・入所後に「介護職員のスキルアップシート」を活用し、1年間マンツーマンで指導し知識や技術を習得した。またオンライン研修を一人ひとりが視聴し介護知識や技術の標準化を図った。

戸越台デイサービス

《重点目標》

1. 適切な事業運営
2. 生活スタイルに合わせたリハビリの充実
3. 「その人らしさ」を大切にしたい認知症ケアの実施
4. 地域拠点としての役割の強化

令和6年度は行事において、利用者からの意見を取り入れた「戸越台花ひろばカフェ」を実施、コーヒーや紅茶、ケーキを提供し大変好評であった。また、夏まつりやクリスマス会では、お囃子や子供たちによるフラダンス、オカリナ演奏のボランティアを招き、利用者から「楽しかった」などの声が多く上がった。

1. 適切な事業運営

- ・介護保険改正の趣旨や内容を正しく理解し、基本的な感染症対策を講じ、適切な事業運営に努めた。
- ・基本事業の稼働率は夏季や冬季に稼働が大きく低下したが、新規受け入れ、増回や臨時利用の調整を行い、目標値には届かなかったが7割は超えることができた。認知症事業は新規や基本デイサービスからの移行や増回により、目標値を達成した。

年間平均稼働率目標	基本事業	75.0%	認知症事業	25.0%
稼働率実績	基本事業	70.3%	認知症事業	37.9%

2. 生活スタイルに合わせたリハビリの充実

- ・生活環境や本人のニーズを把握しながら、自立支援に基づく個別リハビリを実施し、筋力や体力の維持向上が図れた。
- ・集団体操やレクリエーションリハビリを実施することで、意欲の向上や楽しく身体を動かす習慣を身につけ、生活リズムを整えることができた。

3. 「その人らしさ」を大切にしたい認知症ケアの実施

- ・一人ひとりの状態を把握し、その方にとって居心地の良い環境を整備しながら認知症ケアを実施した。また、ご家族に写真や動画を提供し、デイでの様子を伝える取り組みを行った。
- ・認知症介護実践者研修や高齢者虐待予防の研修に参加し、職員間で情報共有をしながら介護の質の向上に努め、サービスに反映させた。

4. 地域拠点としての役割の強化

- ・戸越台中学校の夏休みボランティアを7年ぶりに再開した。職場体験は戸越台中学を始め、宮前小学校、東海中学校の受け入れ、大崎中学校吹奏楽部の演奏会など世代間交流が図れた。
- ・介護予防事業の身近でトレーニングは延419名の利用があり、地域高齢者の自立支援・介護予防やコミュニケーションの活性化につなげた。

戸越台ショートステイ

《重点目標》

1. 利用者満足度の向上
2. 感染症対策の徹底
3. 安定した事業運営

1. 利用者満足度の向上

- ・利用者の趣味・趣向を把握して、クラブ活動や行事への参加を通して交流活動を楽しんでいただいた。
- ・本人・家族の意向を確認しながら、在宅生活の継続に視点を置いた自立支援や居心地の良い環境の整備に努めた。

2. 感染症対策の徹底

- ・基本的な感染症対策を継続し、感染症対策委員会で地域の感染状況などの情報を共有、また感染症についての研修や実地訓練など感染症予防に取り組んだ。

3. 安定した事業運営

- ・年間平均稼働率目標40.0%をほぼ達成し、39.5%となった。4月中旬に同フロアの特養利用者3名がコロナウイルス感染症を発症した。ショートステイの受け入れを一時延期したため、4月～6月は稼働率30.0%に達せず。9月～翌1月までは長期の緊急利用があり、50.0%近くまで稼働率が向上した。

戸越台在宅介護支援センター

《重点目標》

1. 誰もが安心して暮らせる地域づくり
2. ケアマネジメントの質の向上と適切なケアマネジメント手法の習得・活用
3. ターミナル期の支援の強化

月平均利用者数 介護 98.3人 職員配置 3.0人
予防 172.9人 職員配置 3.0人

1. 誰もが安心して暮らせる地域づくり

- ・支え愛ほっとステーション、民生委員、地域のサービス事業所などと連携して、地域課題の把握、共有を行った。
- ・地域の見守り力向上のために、中学生、民生委員を対象とした認知症サポーター養成講座を定期的に開催して、認知症への理解を深めることができた。

2. ケアマネジメントの質の向上と適切なケアマネジメント手法の習得・活用

- ・多様化・複雑化するニーズへ対応するために適切なケアマネジメント手法や高齢者虐待など様々な研修に参加して自己研鑽に努めた。
- ・事例検討を行い、様々な視点でアセスメント、ケアプランの点検を行い、質の向上を目指した。

3. ターミナル期の支援の強化

- ・ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の研修に参加してACPを考える重要性を理解した。
- ・医療、難病、社会保障制度の研修に参加して、多職種連携のための基礎知識を深めた。

杜松在宅介護支援センター

《重点目標》

1. 地域との連携強化
2. 被災前の対応を具体化
3. 適切なケアマネジメントの提供

月平均利用者数 介護 93.7人 職員配置 3.0人
予防 248.3人 職員配置 4.0人

1. 地域との連携強化

- ・地域内で開催される運営推進会議、民生委員協議会、ふれあいサポート会議等に出席するとともに、地区ケア会議を通じて地域の課題を一緒に検討。知己との連携を強化することができた。

2. 防災の対応を具体化

- ・避難支援個別計画書作成が一段落したことから、本人・家族と防災に対して話をする機会は多くはなかった。全ての利用者との検討はかなわなかったが、落下防止可能なもの等には助言を行った。具体化までにはいたらなかった。

3. 適切なケアマネジメントの提供

- ・各職員が自分に不足していると思われること、更に学びを深めたいこと等の研修に積極的に参加。加えてそれをミーティング等で他職員に発表することで情報を共有でき、全員でケース検討を行う等学びを深められた。

荏原ホーム

《重点目標》

1. 大規模改修をふまえての安全な施設運営
2. 利用者の視点に立ったケアの実践
3. 感染予防・対策の強化
4. 人材定着と人材育成
5. 安定した事業運営

令和5年度から引き続き大規模改修工事の中での運営となった。想定できるご利用者への影響をできるだけ軽減できるよう、工事関係者と綿密に打ち合わせを行いながらご本人、ご家族、職員への情報共有に努めた。

1. 大規模改修をふまえての安全な施設運営

- ・大規模改修に伴い、フロア定員数の変更、また活動場所の制限や平時と異なる動線での移動などのその都度状況に合わせて業務内容の検討を行った。
- ・平常時と異なり工夫が必要な環境であったが、これを機に必要な物品の整理や物品の置き場の見直し等を行い業務の効率化を行った。

2. 利用者の視点に立ったケアの実践

- ・虐待防止検討委員会を中心に、虐待の芽チェックリストを活用しながらケアを振り返る機会をつくり、不適切ケアや虐待の防止に積極的に取り組んだ。
- ・権利擁護の視点を持ち、俯瞰して利用者対応に臨むため認知症の知識、B P S Dのある利用者への対応方法などを学ぶ機会を持てるよう、品川介護専門学校より講師をお招きし荏原グループ内での研修を行った。
- ・品川区権利擁護における事実確認調査を受け、従来の取り組みを見直し、改善計画を提出した。

3. 感染予防・対策の強化

- ・平常時から感染対策を実施するとともに、発生時には拡大防止のため、迅速に適切な対応が図れるよう、嘱託医の病院看護師を講師とし、現場に即した感染症対応の勉強会を実施した。また昨年度末に東京都の感染対策リーダー研修を受講した職員により伝達研修を行い、セクションを超えての研修の機会となった。

4. 人材定着と人材育成

- ・根拠のある介護技術の習得と知識のブラッシュアップを目的に、外部講師によるポジショニング研修を実施した。大変実践的で学びの深い研修となった。
- ・介護技術、知識の平準化のためにオンライン動画研修を活用した研修を行う。
- ・職員それぞれのライフスタイルに合わせた働きやすい職場環境を整備する。

5. 安定した事業運営

- ・年間平均稼働率目標 96.0% 稼働率実績 94.8%
- ・報酬改定の加算算定に積極的に取り組んだ。

荏原デイサービス

《重点目標》

1. レクリエーション活動充実
2. 個別性を重視したリハビリの実施
3. 専門職としてのスキルアップ
4. 大規模改修をふまえての安全な事業運営

仮設へ引っ越し後、1年3ヶ月が経ち利用者、職員とも慣れてきている様子が伺えた。アクティビティの充実を図り、仮設ダイルーム内の装飾等を工夫し、利用者が騒音等の中でも、笑顔で楽しく過ごせるように配慮し、日々のサービスを提供した。また、令和2年度から感染症対策により開催を見合わせていたクリスマスコンサートを、地域のボランティアの協力を得て実施した。配食サービスに関しては、区の事業終了後も地域貢献の一環として、サービス提供を継続した。

年間平均稼働率目標 基本事業 75.0% 認知症対応型 65.0%
稼働率実績 基本事業 55.8% 認知症対応型 51.7%

1. レクリエーション活動充実

- ・日々の活動やクラブの中で利用者とのコミュニケーションを大切にし、その人らしさを大切にしながらケアを行った。
- ・介護予防のプログラムにおいては、いきいき活動支援プログラムを通して利用者の意欲を引き出すことに努めた。
- ・年間を通して毎月ダイルームの装飾を工夫し、季節感を感じられるような装飾を利用者とともに制作した。それによって、仮設スペースの殺風景な様子を補うことができた。

2. 個別性を重視したリハビリの実施

- ・安定した在宅生活が送れるように機能訓練指導員、介護職員、看護職員間で情報共有し、本人と目標を設定し、個別性に応じたリハビリを行った。
- ・リハビリの内容に、レクリエーションの要素を取り入れたことで楽しみながら筋力維持訓練へ参加することができた。

3. 専門職としてのスキルアップ

- ・勤続年数や必要なスキルを見極めながら研修目標を設定し、生産性向上への取り組みや虐待防止研修など、各種研修にそれぞれの職員が参加した。また、研修内容は事業所内で伝達研修等を行い、職員間で共有を図った。

4. 大規模改修をふまえての安全な事業運営

- ・工事期間中の制約が多い中、大きな事故を起こすことなく、事業運営を行った。
- ・入浴介助はショートステイと協力しながら行い、滞りなくサービスを提供した。
- ・入浴設備の変更により、利用者の受け入れ制限をせざるを得ない状況が生じた。
- ・各種工事の影響で、食事に関しては移動方法を変更する必要が生じたため、弁当箱での提供となった。

小山の家

《重点目標》

1. ストレスなく笑顔で楽しみのある時間の提供
2. 感染症をふまえた事業運営
3. 質の高い認知症ケアの実践
4. 若年性認知症ケアの取り組み

令和6年度は感染症による大きな影響を受けることなく落ち着いていた。

稼働率に関しては年度初めから60%後半の稼働率が続いたものの、施設入所やご逝去等によりサービス終了の方が続いた影響により徐々に稼働率が低下した。下期は男性利用者の申し込みが増える傾向が見られた。

年間平均稼働率目標	認知症対応型	60.0%
稼働率実績	認知症対応型	57.9%

1. ストレスを軽減し、笑顔で楽しみのある時間の提供

- ・小山の家で過ごす時間や空間を、居心地良く楽しいと感じられるようなサービス提供を行った。
- ・常に笑顔で接し不安感を取り除き、正面から向き合う支援を行った。
- ・自分の居場所と感じていただけるよう、利用者の気持ちを第一に考え、適切な対応ができるように、利用者個々の個性を知ることにより力を注いだ。
- ・家族やケアマネジャーとの情報交換も積極的に行った。

2. 感染症対策をふまえた事業運営

- ・感染症については、新型コロナウイルスやインフルエンザなど、大きな影響を受けることなくサービス提供することができた。
- ・気候の変動が激しく体調不良による利用中止が多く発生した。
- ・見合わせていたボランティア活動の受け入れを再開した。

3. 質の高い認知症ケアの実践

- ・認知症ケアの専門事業所として適切な支援を行えるよう、認知症に関する施策や対応に関する研修、虐待予防研修、リスクマネジメント研修など積極的に参加し定期的に伝達研修を行った。
- ・認知症に関するチームケアを推進するために、BPSDケアプログラムの実践を取り入れた。

4. 若年性認知症ケアの取り組み

- ・若年性認知症ケアに関しては、利用希望があった場合は受け入れを行った。
- ・必要に応じて送迎エリア外の希望者柔軟に対応した。
- ・サービス提供困難な事例に関しては、協力医療機関である認知症疾患医療センターとの連携に努めた。

荏原ショートステイ

《重点目標》

1. 大規模改修をふまえての安全な施設運営
2. 利用者の視点に立ったケアの実践
3. 感染予防・対策の強化
4. 地域での役割の強化

1. 大規模改修をふまえての安全な施設運営

- ・令和5年3月より保健センター2階での運営を実施。従来の30床から多床室（4人部屋×6室）24床へ変更となった。入園や退園手続きの場所、家族での送迎による自家用車の駐車場所など、変更による混乱がないように、その度アナウンスを行い安全に務めた。
- ・環境の変化による利用者への負担がかからないよう、くつろぎスペースをつくり、団らんの雰囲気味わえる空間を演出した。工事の日程によっては騒音や振動があるため、居室前のフロアをリビングにするなどの工夫をした。

2. 利用者の視点に立ったケアの実践

- ・現場に即し改訂したショートステイオリジナルの「虐待の芽チェックリスト」で年2回アンケートを行った。8月に集計した結果から課題を把握し、12月のショートステイミーティングで、グリーゾーンの言動の振り返りの機会を持った。職員同士助け合う環境を目指して方向性も確認できた。
- ・今年度は福祉サービス第三者評価を受け、利用者アンケートを実施した。70人に配布し有効回答者は32人。総合的満足感の項目で大変満足と満足の合計90.6%の好評価をいただいた。

3. 感染予防・対策の強化

- ・7月には新型コロナウイルス感染症の発生がみられた。BCPをふまえてすみやかに情報共有し、備品の準備や換気、消毒の徹底に努め、拡大防止対策を図り短期間で終息することができた。
- ・6月と12月に手洗いチェッカーを用いて手指の洗い残しの確認を行った。
- ・12月には二人一組で「嘔吐物処理方法」を実施。互いに確認し合い、いつ起きても誰もが対応できるよう実践に備えた。

4. 地域での役割の強化

- ・年間平均稼働率目標70.0% 稼働率実績 79.0%（定員24床での換算）
- ・6月から全員対象とした退園時職員添乗サービスを開始。750件実施した。家族からは助かっているとの声や、ケアマネジャーからもショートステイを提案しやすいとの声をもらった。
- ・年末年始も利用できるように調整して9名の方が滞在した。
- ・虐待や緊急ケースは、各関係機関と協力して11名の方を受け入れた。

荏原在宅介護支援センター

《重点目標》

1. ケアマネジメントの質を向上させ、適切なケアマネジメントの提供
2. 医療機関、主治医との連携強化の推進
3. 大規模災害発生時への備えと地域連携の構築

月平均利用者数 介護 117.5人 職員配置 3.8人
予防 185.1人 職員配置 3.0人

1. ケアマネジメントの質を向上させ、適切なケアマネジメントの提供

- ・認知症、適切なケアマネジメント手法（疾患別ケア）、権利擁護、虐待防止研修等、日々の実践に則した研修の参加が行えた。とりわけ個別研修計画に掲げた目標を達成すべく、それぞれが体系的に学ぶ機会を作り、資質向上のための自己研鑽を積むことができた。

2. 医療機関、主治医との連携強化の推進

- ・医療機関との連携において、入退院時の情報連携に重きをおき、入院時医療情報連携書の提供、退院時は退院前カンファレンスへの参加、入院時に退院前カンファレンスの要請を行うなど、医療機関およびMSW、医師との連携を深めたことで、退院後の生活支援の充実を図ることができた。

3. 大規模災害発生時への備えと地域連携の構築

- ・荏原複合施設の大規模修繕工事に伴い、実際の福祉避難所開設のイメージを共有することはできなかったが、BCPにおいて机上訓練を行うことでの共有を図ることはできた。地域のサービス提供事業所とのBCP作成に至ることができず、次年度へ持ち越すこととなった。

小山在宅介護支援センター

《重点目標》

1. 「適切なケアマネジメント手法」の理解に基づくケアマネジメントの提供
2. F-SOAIP記録法の実践からなる面接・相談業務の実践
3. F-SOAIP記録法の実践からなる医療機関、主治医との連携強化の推進

月平均利用者数 介護 67.8人 職員配置 3.0人
予防 269.5人 職員配置 4.0人

1. 「適切なケアマネジメント手法」の理解に基づくケアマネジメントの提供

- ・コロナ禍を経て、日々の体調管理に加え、水分や栄養管理の大切さに意識的に取り組んだ。エビデンスに基づく具体的な取り組みをケアプランに落とし込むことでクライアントとの認識共有がすすみ、各サービス提供事業所とも具体的な数値をもって評価が行えた。

2. F-SOAIP記録法の実践からなる面接・相談業務の実践

- ・主観的情報と客観的情報とを整理し、要約した記録作成を意識した。的確な課題分析が行えるとともに、業務の省力化にもつながった。

3. F-SOAIP記録法の実践からなる医療職・医療機関との連携強化の推進

- ・医療職とのコミュニケーションも記録の項目に沿って、意図や認識共有がスムーズになった。

小山台在宅介護支援センター

《重点目標》

1. アウトリーチによる地域課題の把握と課題解決力の向上
2. 「適切なケアマネジメント手法」を理解したケアマネジメントの実践
3. 医療依存度の高い在宅介護を支えるための医療との連携構築

月平均利用者数 介護 89.3人 職員配置 3.0人
予防 162.4人 職員配置 3.0人

1. **アウトリーチによる地域課題の把握と課題解決力の向上**
 - ・各地域の民生委員やささえ愛・ほっとステーションとの連携、情報共有等の協働活動が増えた。ささえ愛ほっとステーションが開催している「よりみち」や地区ケア会議を含め、地域課題や社会資源の情報共有を行った。
2. **「適切なケアマネジメント手法」を理解したケアマネジメントの実践**
 - ・適切なケアマネジメントを基礎とし、心疾患や脳血管疾患など疾患別のアセスメントを複数実施した。全担当利用者に対して、全ての項目の実施までに至ることはできなかった。
3. **医療依存度の高い在宅介護を支えるための医療との連携構築**
 - ・医療機関との情報共有を含めた連携は前年度よりも確実に増えており、
 - ・各医療機関の仕組みに合わせた連絡・連携方法を模索しながら実践した。特にカンファレンスではリモート会議を活用するなどの工夫をした。
 - ・より効果的な連携にしていくために、医療機関その他の支援者の役割を理解・把握した上での協働体制を構築することが課題として残った。

障害者計画相談支援

《重点目標》

1. 荏原西地区在宅介護支援センターとの連携
2. 障害者に対する包括的な相談支援
3. 地域における必要な社会資源の改善及び開発

月平均利用者数 介護 34.9人 職員配置 1.0人

1. **荏原西地区在宅介護支援センターとの連携**
 - ・荏原西地区の在宅介護支援センター（荏原、小山、小山台）を中心に、民間居宅介護支援事業所と緊密な連携を図ることができた。
2. **障害者に対する包括的な相談支援**
 - ・障害者、難病の理解を深めるため、東京都、品川区保健所等が実施する研修へ積極的に参加した。研修で学び得た知識や価値を活かした、本人本位のケアマネジメントと相談支援業務を行うことができた。
3. **地域における必要な社会資源の改善及び開発**
 - ・事業所連絡会（相談事業所、在支併設事業所）および相談支援部会において、地域に不足している社会資源や既存の社会資源の改善の必要性について発言を行った。

平塚橋ホーム

《重点目標》

1. 人材の定着と育成
2. 感染症予防の徹底
3. 安定した事業運営
4. 生活に視点を置いたケアの向上

平塚橋ホームに関して特に大きく変化したものはナースコールシステムの入替である。以前より計画をしていたICT化の1つであり、業務効率性を高めるために取り組んだ。稼働率については、積極的な入居調整を行ったがキャンセルやご逝去の方が多くあり、90%を下回ってしまった。

1. 人材の定着と育成

- ・ 職員の介護負担軽減、業務の効率・省力化としてナースコールシステムの入替を行った。PHS端末からiPhoneに切り替え、職員間の連絡と見守りカメラの確認を1つの端末で行えるようにした。
- ・ 介護技術向上のためにOJTやオンライン動画研修を活用した。利用者に無理のない移乗、職員の腰痛予防を目的に法人合同研修を行い、利用者への移乗介助の実践研修を行い、多くの職員が参加した。

2. 感染症予防の徹底

- ・ 感染症対策として、年度初めに基本的な注意点について職員へ周知した。吐物処理の方法について動画視聴研修や手洗いチェッカーを使って手の洗い残し研修を行った。年度末の家族懇談会では、家族から希望が出ていた手洗いチェッカーを実施し、感染対策への呼びかけを行った。

3. 安定した事業運営

- ・ 年間平均稼働率目標 97.0% 稼働率実績 88.6%
- ・ 入居調整を迅速に行うため相談員を1名増やし、積極的な入居調整を行った。退去者が多く、入居の声掛けに対しキャンセルもあり、目標稼働率を大きく下回った。
- ・ 物品類の価格高騰に伴い、購入物品の数量確認、見直し、業者の金額、見積もり確認を積極的に行った。特に洗剤類については大容量の物に切り替えコスト削減に努めた。
- ・ 開設8年がたち洗濯機や乾燥機などの故障が多く発生し、部品がないものは新規交換を行ったが、修理により交換より低コストで済ませた。
- ・ 電力については新たに電気小売事業社と契約し、スマートメーター、デマンド削減方式を導入し、電気料金の削減に努めた。

4. 生活に視点を置いたケアの向上

- ・ 家族懇談会は年間2回開催。施設と家族との意見交換の他、家族同士の意見交換、交流の場となった。

平塚橋ショートステイ

《重点目標》

1. ユニットを活かしたショートステイサービスの実践
2. 感染症予防対策の徹底
3. 安定した事業の運営

1. ユニットを活かしたショートステイサービスの実践

- ・個室で少人数であるユニットの特性を活かし、ショートステイ利用時には少しでも在宅での生活環境に近づけ、個々の希望を活かして快適に過ごしていただけるように、ケアの方法について検討した。

2. 感染症予防対策の徹底

- ・手指消毒や換気など基本的な感染症予防対策を確実にいき、新型コロナウイルス感染症に限らず、各種感染症の特性を理解した対策や研修をホームと一体となり行った。

3. 安定した事業の運営

- ・年間平均稼働率目標 40.5% 稼働率実績 50.9%
- ・スムーズな利用につながるよう関係各所と連携し、目標を上回る稼働率を達成できた。
- ・開設後8年を迎え、物品の修理、再購入が増えてきている。修理を優先して検討し、買換えが必要な場合は金額確認を複数の業者から確認し購入した。また清掃も重点的に行った。
- ・館内Wi-Fi増設、入力端末の更新等のICT化を行い、ナースコール端末をPHSからiPhoneに切り替え、職員間の連絡と見守りカメラの確認等を1つの端末で行えるようにした。

8 平塚橋ゆうゆうプラザ

平塚橋ゆうゆうプラザ

《重点目標》

1. 高齢者と多世代の積極的交流の促進
2. 施設整備・環境整備
3. 多世代の利用者が安心安全に過ごせる環境づくり

年間を通し、引きこもり、介護の予防、親子で参加できるようなイベント、講座やミニ作品展を開催し、地域住民の活動発表や交流の場として多世代交流ができた。ホームページの更新の他、インスタグラムも開始し、積極的な情報発信を行った。

1. 高齢者と多世代の積極的交流の促進

- ・夏休み等、小中学生が参加しやすい時期にお菓子作りのイベントや講座を開催し、多数の親子連れの参加につながった。近隣で練習をしている小学生のコーラスグループのコンサートも開催。多数の観覧者が多世代で交流し、楽しめる場づくりができた。また地域交流スペースでは多くの小学生が、友達とゲームをするようになった。
- ・ゆうゆうプラザに来ることで、引きこもり予防、社会参加、認知症・介護予防につながるようコンサート、イベント、講座を計画した。毎回すぐに定員に達する体操は介護予防の他、引きこもり予防、仲間づくりにつながった。アンケートでも引きこもり予防になったとの意見があった。
- ・魅力あるゆうゆうプラザになるようにイベントや講座の内容を「もりあげ隊」の協力を得ながら開催した。
- ・若い世代や子育て世代が積極的に利用できるよう、団体、個人にアンケートを行い、ニーズを確認した。また、継続的な利用につながるよう、ホームページの更新の他、インスタグラムも開始し、イベントや講座等の積極的な情報発信を行った。
- ・近隣の教育機関、利用団体、個人の作品をミニ作品展で展示し、作品を通じて交流を行った。

2. 施設整備、環境整備

- ・開設9年目となるため、機器や設備等の故障も増加した。施設内の巡回や、施設管理担当とも情報共有をし、故障箇所は、早めに修繕等の対応を行い、利用者が安全に施設利用できるように対応した。
- ・新型コロナウイルス感染症は5類に移行になったが、感染症の対策を引き続き行い、利用者が安心して利用できるよう対応した。

3. 多世代の利用者が安心安全に過ごせる環境づくり

- ・地域交流スペースは囲碁や将棋を楽しむ高齢者の姿やキッズスペースで遊ぶ子供や親子連れの姿が多く見られている。地域交流スペースでは自然と多世代で同じ空間を過ごす時間が生まれており、清掃や整理を行い、利用者が安心して過ごしやすい環境づくりを心掛け、対応した。
- ・特養ホームと協力し、地域住民と防災訓練をする等防災意識を高め、災害に備えた。
- ・多世代の利用者が居心地よく過ごせるよう、日頃より利用者とのコミュニケーションをとるよう心掛け、相談しやすい雰囲気づくりに努めた。必要に応じて在宅介護支援センターとも連携した。

9 安全への取組

令和3年度の介護保険法改正において新たに介護事故予防に向けた取り組みが運営基準の中で義務づけられ、介護事故予防に向けた取り組みを推進する担当者を配置した。指針に基づき、毎月、リスクマネジメント委員会、身体拘束廃止推進委員会、感染症対策委員会、虐待防止検討委員会を設置し、安全な施設運営へ取り組みを続けている。

事故報告件数（品川区報告）

（単位：人）

	成幸ホーム	成幸デイサービス	戸越台ホーム	戸越台デイサービス	荏原ホーム	荏原ショートステイ	荏原デイサービス	小山デイサービス	平塚橋ホーム	支援センター	合計
身体的不自由に起因											
転倒・転落	1	—	1	—	3	—	1	—	1	—	7
誤嚥性肺炎	2	—	2	—	2	—	—	—	—	—	6
骨折	6	—	7	—	2	1	—	—	5	—	21
設備に起因	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
感染症・食中毒・疥癬等（※）	2	—	1	—	2	1	—	—	—	—	6
交通事故	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
震災・風水害・火災	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
利用者間トラブル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
職員の行為（不注意等）											
誤薬等	1	1	2	—	21	6	—	—	5	—	36
離設・徘徊	—	—	1	—	2	1	1	—	—	—	5
個人情報取扱不備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
不注意	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	2
その他	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
その他 救急搬送等	—	1	—	—	34	6	1	—	1	—	43
事故報告合計	15	2	14	—	68	15	3	—	12	1	130

ヒヤリ・ハット合計	183	18	35	14	258	16	—	2	284	—	810
-----------	-----	----	----	----	-----	----	---	---	-----	---	-----

支援センターは6か所の合計（※）の数は報告件数
 その他 救急搬送等は 病状の悪化、意識障害など

10 主な施設整備

(1) 成 幸

【工 事】	(単位：千円)
1 エレベーター部品交換	1, 7 8 2
2 地下カビ除去補修工事	1, 1 3 3
3 自動ドア部品交換	8 3 1
計	<u>3, 7 4 6</u>

【備品購入】	(単位：千円)
1 介護ベッド KA-N1721J 14台	5, 5 7 3
2 スチームコンベクションオーブン	4, 2 0 2
3 介護ベッド KA-N1481J 6台	2, 1 2 4
計	<u>1 1, 8 9 9</u>

(2) 戸越台

【工 事】	(単位：千円)
1 オイル漏れ修理（3号車）	2 6 8
2 浴槽修理	2 3 8
3 シャッター修理	2 2 1
計	<u>7 2 7</u>

【備品購入】	(単位：千円)
1 電動ベッド 10台	3, 5 1 4
2 車椅子（フルリクライニング）2台	3 2 0
3 洗濯機 2台	1 7 5
4 加湿器 11台	1 4 8
5 液晶テレビ（40型）2台	6 8
計	<u>4, 2 2 5</u>

(3) 荏 原

【備品購入】	(単位：千円)
1 ICT導入関連	
ハナスト（システム構築費）	8 5 8
インカム（骨伝導） 30台	6 1 7
아이폰（スマホ） 5台	5 9 8
パソコン（ICT連携用）1台	2 4 6
2 配膳ワゴン 8台	3, 7 8 4

3	ハンドドライヤー	9台	1,515
			<u>計 7,618</u>

(4) 平塚橋

【工 事】 (単位：千円)

1	ICT導入関連		
	ナースコール・ケアカルテ連携工事		6,765
	ナースコール・スマホ・連携工事		4,180
	無線AP工事		4,092
	ケアカルテ連携導入費用		1,145
			<u>計 16,182</u>

【備品購入】 (単位：千円)

1	ICT導入関連		
	安心ひつじα (体動センサー)	89台	5,765
	iPhone (スマホ)	48台	3,463
	iPadエア (タブレット)	22台	2,695
	ネオスケア (見守りセンサー)	6台	2,475
			<u>計 14,398</u>

(5) 荏原複合施設大規模改修工事

令和6年度は、仮設→移転→本設→移転を繰り返しながら全行程の概ね6割が終了した。運営エリアにおいても、立入り工事、断水や停電などたびたび工事の影響を受けること、また、工事エリアと運営エリアが同フロアで隣接することによる騒音や粉塵の影響など、安全上の配慮が非常に重要となり対応にあたった。

主な工事内容は以下の通りである。

本設工事 支援センター・事務室・機能訓練室・会議室・更衣室・洗濯室
居室118床・栄養室・厨房・エレベータ1基

仮設工事 仮設厨房・仮設浴室

そのほか、特筆すべき事項

- ・特養フロア定員数の変更 3階48床→62床 4階72床→58床
- ・ショートステイ定員数変更 30床→24床 (すべて4人部屋)
- ・デイサービス定員数の変更はないが、入浴サービスの提供に関しては仮設設備の構造上、実質受入れ数を減少せざるをえなかった。
- ・支援センターは安全に配慮したうえで通常運営した。
- ・仮設厨房使用中は、成幸栄養室のサポートにより配食サービスを継続した。

11 研修報告

(1) 施設外研修

対面集合型およびリモートによる研修に参加した。

国際福祉機器展見学や専門職交流会などに参加することで、新しい情報の収集にあたった。

また、区内の他法人との交流機会を積極的に持ち、ICT環境の情報交換研修や、海外人材交流研修等を行った。

高齢者虐待防止研修においては、それぞれの事業所から研修受講し、虐待防止委員会等で伝達研修を行った。

(2) 施設内研修

年間を通してサービス研究会を開催し、それぞれの専門職が講師となり、研修の機会をもった。

数年前から導入しているオンライン研修（eラーニング）は、同じ教材で学習することができるため、変則勤務の介護職員において有効に活用した。

法人内合同研修は、昨年に続き、介護技術の向上を目的として座学と実践を組み合わせ、年4回開催した。

資格取得の支援として、介護支援専門員受験講座を行った。また、認知症介護基礎研修、介護福祉士実務者研修などを積極的に受講奨励した。

介護職員のOJT研修においては、介護職スキルアップシートを活用し、育成担当者を置き、定期的に振り返り面談を行った。

(3) 新人職員内部研修

新人職員の合同研修（中途採用者を含む）を実施した。

日時：令和6年4月6日・4月13日

対象：令和5年中途採用、令和6年4月採用

介護職17名（うち、海外人材4名）

看護職6名、機能訓練指導員1名、栄養士1名、

（事務職、介護支援専門員は該当者なし）

内容：各法定研修（倫理・法令遵守、虐待防止・身体拘束適正化、個人情報保護、リスクマネジメント、感染症関連、災害時の対応、BCP、接遇）

品川区の在宅福祉について、認知症ポーター養成講座

専門職講座（医務室、栄養室、訓練室）

※研修報告の詳細は144～152を参照

12 地域活動

(1) 生と死を見つめる懇談会（地域貢献活動）

令和6年度は「からだをうごかしてイキイキ生きる」をテーマとして、令和7年3月1日（土）に平塚橋ゆうゆうプラザにて開催した。講師は元品川区スポーツ推進委員会会長の飴本公子氏に依頼。内容は講義と実際からだを動かす実践を行い、アンケートは概ね満足との結果となった。

延べ参加数：30名

(2) 広報紙「三徳だより」の発行

法人の各種事業内容や福祉情報を地域の方々や関係機関に広報することを目的に、広報紙「三徳だより」を発行し、地域関係者および活動休止中のボランティアも含め、幅広く送付した。

(3) ホームページのリニューアル・Instagramの開設

これまでの法人ホームページをこれまでよりも馴染みやすく、情報もわかりやすい形へリニューアルした。各施設からのお知らせも掲載しやすくなり、拠点ごとの状況がより分かりやすくなった。さらに法人Instagramも開設し、幅広い年代への情報提供を実施した。

(4) 地域交流会（地域貢献活動）

今年度は開催を見合わせた。

(5) 三徳会元気クッキング（地域貢献活動）

年4回、4施設の管理栄養士が協働で開催した。会場は平塚橋ゆうゆうプラザまたは荏原文化センターにおいて、多世代に向けて食育および健康増進と介護予防を目的に実施した。料理を通じてコミュニケーションの場にもなっている。

延べ参加者数：48名

※詳細は100頁を参照

(6) ボランティア懇談会

今年度は開催を見合わせた。ボランティア受け入れに関して、ゆうゆうプラザではゆうゆうもりあげ隊によるイベント企画へのアドバイスや会場設営などを協力いただいた。

(7) 地域行事への参加

社会福祉協議会主催の福祉まつりでの模擬店、近隣町会の盆踊りやお祭りなど、参加した。

13 その他

(1) 実習生・研修生

感染予防に配慮しながら、人材育成と社会貢献などを目的として計画的に受け入れた。

(2) 防災対策

火災や震災などを想定した防災訓練を継続的に実施した。併せて消防設備の機能、活用方法の確認や、緊急時の職員の連絡訓練も実施した。町会、荏原消防署の協力による合同防災訓練は、感染対策を講じながら縮小して実施した。

(3) 感染症対策

新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、感染性胃腸炎などの予防のために、各施設では徹底した消毒、情報共有、面会制限などさまざまな対策を講じたが、感染症が発生した施設もあった。

14 業績

(1) 表彰など

◇東京都社会福祉協議会 東京都社会福祉協議会会長感謝状（永年勤続功績者）

受賞：河原井宏、橋本香、恒任明寛、若林明子、小車芳子、小林智恵、
松汐美代子、植松絹子、大栗育夫、内嶋奈津美、板谷久美子

資 料 編

1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

（1）令和6年度の利用者動向（令和7年3月31日現在）

端数処理は小数点第二位を四捨五入した。

平均年齢

（単位：歳）

区分	成 幸 定員80名	戸越台 定員72名	荏 原 定員120名	平塚橋 定員100名
平均	89.0	89.1	89.4	90.3
男性	87.5	86.7	88.0	87.7
女性	89.2	89.7	90.0	90.6
男性 最高年齢	97	103	98	96
女性 最高年齢	101	108	103	107

年齢別男女構成比

		64～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90～94歳		95歳以上		100歳以上		男女比	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
成 幸	合 計	—		3人		2人		9人		26人		21人		13人		3人			
		—		3.9%		2.6%		11.7%		33.8%		27.3%		16.8%		3.9%			
	区 分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人 数	—	—	1	2	—	2	1	8	3	24	4	17	1	12	—	3	10	68
	%	—	—	1.3	2.6	—	2.6	1.3	10.3	3.8	30.8	5.1	21.8	1.3	15.4	—	3.8	12.8	87.2

		64～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90～94歳		95歳以上		100歳以上			
戸越台	合計	—		2人		2人		14人		15人		18人		11人		4人		男女比	
		—		3.0%		3.0%		21.2%		22.7%		27.3%		16.7%		6.1%			
	区分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人数	—	—	2	—	1	1	3	11	1	14	4	14	2	9	1	3	14	52
	%	—	—	3.0	—	1.5	1.5	4.5	16.7	1.5	21.2	6.1	21.2	3.0	13.6	1.5	4.5	21.2	78.8
荏原	合計	1人		—		3人		22人		28人		41人		18人		3人		男女比	
		0.9		—		2.6%		19.0%		24.1%		35.3%		15.5%		2.6%			
	区分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人数	—	1	—	—	—	3	3	17	4	24	3	34	1	16	—	3	11	98
	%	—	1.0	—	—	—	2.8	2.8	15.6	2.7	22.0	2.7	31.2	1.0	14.7	—	2.8	10.1	90.0
平塚橋	合計	—		—		5人		7人		32人		25人		14人		7人		男女比	
		—		—		5.6%		7.8%		35.5%		27.7%		15.6%		7.8%			
	区分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人数	—	—	—	—	1	4	1	6	8	24	2	23	1	13	—	7	13	77
	%	—	—	—	—	1.1	4.4	1.1	6.7	8.9	26.7	2.2	25.6	1.1	14.4	—	7.8	14.4	85.6

(2) 利用者の入退所状況

(成 幸)

		月末入所者数								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
末日 利用者数	男性	13	12	13	12	12	10	11		
	女性	61	65	66	66	66	67	68		
	合計	74	77	79	78	78	77	79		
入所者数	在宅	男性	—	—	—	—	—	—	1	
		女性	2	3	3	1	2	—	2	
	病院	男性	—	—	1	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	再入所	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	2	2	—	1	1	1	—	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	1	—	—	—	—	—	—	
	合計	男性	—	—	1	—	—	—	1	
		女性	5	5	3	2	3	1	2	
実入所者合計		5	5	4	2	3	1	3		
退所者数	短期入院	男性	—	—	—	—	—	1	—	
		女性	2	—	1	2	1	—	—	
	長期入院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	短期入院中死亡	男性	1	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	1	—	—	1	—	
	施設内死亡	男性	—	1	—	1	—	1	—	
		女性	3	1	—	—	1	—	1	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
合計	男性	1	1	—	1	—	2	—		
	女性	5	1	2	2	2	1	1		
実退所者合計		4	2	1	1	1	2	1		
要介護度別内訳	要介護1	3	3	2	2	2	2	2		
	要介護2	7	9	9	8	6	7	8		
	要介護3	33	33	35	34	37	34	34		
	要介護4	24	25	25	27	27	26	25		
	要介護5	7	7	8	7	6	8	10		
平均介護度		3.3	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	2	
延人数		2,224	2,334	2,315	2,454	2,450	2,327	2,423		
月稼働率(%)		92.7	94.1	96.4	99.0	98.8	97.0	97.7		

注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。

2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。

3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院

(単位：人)

	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	11	10	10	11	10		11.3
	68	67	68	66	67		66.3
	79	77	78	77	77		77.5
	—	—	—	1	—	2	0.2
	1	—	1	—	1	16	1.3
	—	1	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	1	1	0.1
	—	—	1	—	—	1	0.1
	—	1	—	—	—	8	0.7
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	1	1	1	—	5	0.4
	1	1	1	—	2	26	2.2
	1	2	2	1	2	31	2.6
	—	2	—	—	—	3	0.3
	1	—	—	1	1	9	0.8
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	2	—	—	3	0.3
	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	1	4	0.3
	—	2	—	1	—	9	0.8
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	2	2	—	1	10	0.8
	1	2	—	2	1	20	1.7
	—	2	2	1	1	18	1.5
	2	2	2	2	1		2.1
	9	9	8	8	8		8.0
	33	31	31	31	31		33.1
	25	23	25	24	25		25.1
	10	12	12	12	12		9.3
	3.4	3.4	3.5	3.5	3.5		3.4
	2,352	2,443	2,410	2,170	2,396	28,298	2,358
	98.0	98.5	97.2	96.9	96.6		96.9

(戸越台)

		月末入所者数								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
末日 利用者数	男性	12	12	12	12	12	12	13		
	女性	57	56	53	55	55	55	54		
	合計	69	68	65	67	67	67	67		
入所者数	在宅	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	1	1	—	—	
	病院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	1	—	—	1	—	—	—	
	再入所	男性	—	—	1	—	—	—	—	
		女性	3	1	2	1	1	—	2	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	1	
		女性	—	1	1	—	1	2	1	
	合計	男性	—	—	1	—	—	—	1	
女性		4	2	3	3	3	2	3		
実入所者合計		1	1	1	2	2	2	2		
退所者数	短期入院	男性	—	—	1	—	—	—	—	
		女性	3	—	2	—	—	—	3	
	長期入院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	2	—	—	—	—	
	短期入院中死亡	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	施設内死亡	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	1	2	1	2	2	1	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
女性		—	—	—	—	1	—	—		
合計	男性	—	—	1	—	—	—	—		
	女性	3	1	6	1	3	2	4		
実退所者合計		—	1	4	1	3	2	1		
要介護度別内訳	要介護1	1	1	1	1	1	1	1		
	要介護2	5	5	4	4	4	5	5		
	要介護3	25	23	23	26	24	22	21		
	要介護4	25	25	23	21	23	25	25		
	要介護5	13	14	14	15	15	14	15		
平均介護度		3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7		
延人数		2,073	2,154	2,013	2,069	2,078	2,012	2,079		
月稼働率(%)		96.0	96.5	93.2	92.7	93.1	93.1	93.1		

- 注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。
2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。
3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院

(単位：人)

	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	14	13	13	14	14		12.8
	55	54	54	51	52		54.3
	69	67	67	65	66		67.0
	—	—	—	—	—	—	—
	1	2	1	1	1	8	0.7
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	1	1	—	3	0.3
	1	1	4	—	2	18	1.5
	1	—	—	—	—	2	0.2
	2	—	—	—	1	9	0.8
	1	—	1	1	—	5	0.4
	4	3	5	1	4	37	3.1
	4	2	1	1	2	21	1.8
	—	1	1	—	—	3	0.3
	—	3	3	—	1	15	1.3
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	1	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—
	2	1	2	3	2	19	1.6
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	1	1	—	—	3	0.3
	2	4	5	4	3	38	3.2
	2	1	2	4	2	23	1.9
	1	1	1	1	1		1.0
	6	7	6	6	6		5.3
	22	17	16	15	16		20.8
	26	26	29	28	28		25.3
	14	16	15	15	15		14.6
	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8		3.7
	2,033	2,162	2,099	1,835	2,034	24,641	2,053
	94.1	96.9	94.0	91.0	91.1		93.8

(荏 原)

		月末入所者数							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
末日 利用者数	男性	10	10	11	12	12	11	11	
	女性	101	105	104	103	105	105	105	
	合計	111	115	115	115	117	116	116	
入所者数	在宅	男性	—	—	—	—	—	—	—
		女性	2	2	1	—	1	1	—
	病院	男性	—	—	—	1	—	—	—
		女性	—	1	—	—	—	—	—
	再入所	男性	—	1	2	1	—	—	—
		女性	4	6	3	7	7	3	5
	その他	男性	1	—	—	—	—	—	—
		女性	2	1	1	1	1	1	2
	合計	男性	1	1	2	2	—	—	—
		女性	8	10	5	8	9	5	7
実入所者合計		5	4	2	2	2	2	2	
退所者数	短期入院	男性	1	1	1	1	—	—	—
		女性	5	5	6	9	7	4	6
	長期入院	男性	—	—	—	—	—	—	—
		女性	—	—	—	—	—	—	—
	短期入院中死亡	男性	—	—	—	—	—	—	—
		女性	—	—	—	—	—	—	—
	施設内死亡	男性	1	—	—	—	—	1	—
		女性	2	1	—	—	1	1	1
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—
		女性	—	—	—	—	—	—	—
合計	男性	2	1	1	1	—	1	—	
	女性	7	6	6	9	8	5	7	
実退所者合計		3	4	—	3	1	3	2	
要介護度別内訳	要介護1	4	4	4	4	4	4	4	
	要介護2	4	5	6	6	5	4	4	
	要介護3	42	44	44	45	46	47	47	
	要介護4	41	42	42	41	41	41	42	
	要介護5	20	20	19	19	21	20	19	
平均介護度		3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	
延人数		3,335	3,510	3,469	3,501	3,569	3,512	3,588	
月稼働率 (%)		92.6	94.4	96.4	94.1	95.9	97.6	96.5	

- 注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。
 2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。
 3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院

(単位：人)

					年度合計	平均
11月	12月	1月	2月	3月		
11	10	10	11	11		10.8
101	101	103	101	98		102.7
112	111	113	112	109		113.5
—	—	1	—	—	1	0.1
1	—	3	1	—	12	1.0
—	—	—	1	—	2	0.2
—	1	—	—	—	2	0.2
—	1	—	—	2	7	0.6
1	3	7	1	6	53	4.4
1	—	—	—	1	3	0.3
—	2	1	1	1	14	1.2
1	1	1	1	3	13	1.1
2	6	11	3	7	81	6.8
2	3	5	3	2	34	2.8
1	1	—	—	2	8	0.7
3	6	7	5	9	72	6.0
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	1	—	1	2	0.2
—	—	—	—	—	—	—
—	1	—	—	—	3	0.3
3	—	2	1	1	13	1.1
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
1	2	1	—	3	13	1.1
6	6	9	6	10	85	7.1
4	2	5	2	2	31	2.6
3	2	3	2	2		3.3
5	5	5	5	6		5.0
47	50	50	47	48		46.4
39	34	33	34	33		38.6
18	20	22	24	20		20.2
3.6	3.6	3.6	3.7	3.6		3.6
3,449	3,490	3,457	3,167	3,467	41,514	3,460
95.8	93.8	92.9	94.3	93.2		94.8

(平塚橋)

		月末入所者数								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
末日 利用者数	男性	15	15	16	13	15	13	13		
	女性	76	72	75	73	73	73	73		
	合計	91	87	91	86	88	86	86		
入所者数	在宅	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	2	—	—	—	—	—	
	病院	男性	—	—	1	—	—	—	—	
		女性	1	—	—	—	—	1	1	
	再入所	男性	—	—	—	2	1	1	—	
		女性	1	—	4	1	3	3	1	
	その他	男性	—	—	—	—	1	—	—	
		女性	—	1	2	1	3	—	1	
	合計	男性	—	—	1	2	2	1	—	
		女性	2	3	6	2	6	4	3	
実入所者合計		1	3	3	1	4	1	2		
退所者数	短期入院	男性	—	—	—	4	—	1	—	
		女性	2	2	2	2	4	3	1	
	長期入院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	短期入院中死亡	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	2	—	—	—	—	—	
	施設内死亡	男性	1	—	—	1	—	2	—	
		女性	1	3	1	2	2	1	2	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
合計	男性	1	—	—	5	—	3	—		
	女性	3	7	3	4	6	4	3		
実退所者合計		2	6	1	3	3	3	3		
要介護度別内訳	要介護1	3	4	4	2	2	2	1		
	要介護2	11	11	12	13	14	14	15		
	要介護3	36	30	31	31	35	28	26		
	要介護4	24	25	24	24	26	26	27		
	要介護5	17	17	16	16	14	16	17		
平均介護度		3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	3.5		
延人数		2,763	2,770	2,671	2,770	2,705	2,576	2,703		
月稼働率(%)		92.1	89.4	89.0	89.4	87.3	85.9	87.2		

- 注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。
2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。
3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院

(単位：人)

					年度合計	平均
11月	12月	1月	2月	3月		
13	13	11	11	13	—	13.4
73	77	76	79	77	—	74.8
86	90	87	90	90	—	88.2
—	—	—	—	1	1	0.1
2	1	—	—	—	5	0.4
—	—	—	—	—	1	0.1
—	—	—	—	—	3	0.3
—	—	1	1	1	7	0.6
—	4	1	3	1	22	1.8
—	—	—	—	—	1	0.1
1	3	2	3	—	17	1.4
—	—	1	1	2	10	0.8
3	8	3	6	1	47	3.9
3	4	2	3	1	28	2.3
—	—	2	1	—	8	0.7
1	3	4	1	—	25	2.1
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	2	0.2
—	—	1	—	—	5	0.4
2	1	2	2	3	22	1.8
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	3	1	—	13	1.1
3	4	6	3	3	49	4.1
2	2	1	2	3	31	2.6
1	1	1	1	1	—	1.9
15	16	16	16	16	—	14.1
24	27	28	30	28	—	29.5
29	30	27	29	30	—	26.8
17	16	15	14	15	—	15.8
3.5	3.5	3.4	3.4	3.5	—	3.5
2,580	2,686	2,779	2,498	2,817	32,318	2,693
86.0	86.6	89.6	89.2	90.9	—	88.6

平均入所期間

	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	人数	割合 (%)						
1年未満	20	26.0	16	24.2	31	28.4	23	25.6
1年以上～2年未満	18	23.4	10	15.2	27	24.8	15	16.7
2年以上～3年未満	16	20.7	10	15.2	17	15.6	16	17.8
3年以上～4年未満	4	5.2	9	13.6	13	11.9	15	16.7
4年以上～5年未満	5	6.5	12	18.2	7	6.4	4	4.4
5年以上～6年未満	5	6.5	4	6.1	2	1.8	4	4.4
6年以上～7年未満	3	3.9	—	—	5	4.6	1	1.1
7年以上～8年未満	3	3.9	1	1.5	1	1.0	—	—
8年以上～9年未満	—	—	1	1.5	3	2.8	12	13.3
9年以上～10年未満	2	2.6	1	1.5	1	1.0	—	—
10年以上	1	1.3	2	3.0	2	1.8	—	—

年間総入院回数

		成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
		人数	割合 (%)						
入院回数	1回	18	78.3	18	82.1	36	60.0	30	83.3
	2回	2	8.7	5	17.9	19	31.7	6	16.7
	3回	2	8.7	—	—	4	6.7	—	—
	4回	—	—	—	—	—	—	—	—
	5回以上	1	4.3	—	—	1	1.7	—	—
	合計	23	100	23	100	60	100	36	100
延べ年間総入院者数		34	—	28	—	91	—	42	—
総入院日数		696	—	632	—	2,062	—	746	—
1人あたりの入院日数		30.3日		22.5日		34.9日		17.8日	

(3) 利用者の日常生活能力 (ADL)

区 分		成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
食事	自立	30	39.0	17	25.8	41	37.6	28	31.1
	見守り	16	20.8	11	16.7	17	15.6	25	27.8
	一部介助	15	19.4	19	28.8	30	27.5	15	16.7
	全部介助	16	20.8	19	28.8	21	19.3	22	24.4
着替え	自立	3	3.9	2	3.0	7	6.4	8	8.9
	見守り	10	13.0	5	7.6	14	12.8	3	3.3
	一部介助	38	49.3	21	31.8	50	45.9	37	41.1
	全部介助	26	33.8	38	57.6	38	34.9	42	46.7
整容 (つめ切り、歯磨き、ひげそり等)	自立	16	20.8	3	4.5	1	1.0	25	27.8
	見守り	19	24.6	7	10.6	7	6.4	11	12.2
	一部介助	21	27.3	17	25.8	54	49.5	18	20.0
	全部介助	21	27.3	39	59.1	45	41.3	36	40.0
移動	自立	21	27.3	5	7.6	13	11.9	12	13.3
	見守り	12	15.6	3	4.5	13	11.9	11	12.2
	一部介助	6	7.8	22	33.3	27	34.8	22	24.4
	全部介助	28	49.3	36	54.5	56	51.4	45	50.0
移乗	自立	16	20.8	5	7.6	14	12.8	16	17.8
	見守り	8	10.4	4	6.1	11	10.1	9	10.0
	一部介助	24	31.2	23	34.8	27	24.8	23	25.6
	全部介助	29	37.6	34	51.5	57	52.3	42	46.7
入浴	介助浴	13	16.9	7	10.6	—	—	51	56.7
	リフト浴	24	31.2	5	7.6	1	1.0	—	—
	車いす型浴	8	10.4	28	42.4	28	25.7	1	1.1
	ストレッチャー型入浴	32	41.5	26	39.4	80	73.4	38	42.2
排泄	トイレ自立	11	14.3	5	7.6	15	13.8	8	8.9
	トイレ介助	34	44.2	29	43.9	45	41.3	44	48.9
	ポータブルトイレ	1	1.3	3	4.5	1	1.0	—	—
	おむつ交換	31	40.2	29	43.9	48	44.0	38	42.2
歯の状態	自歯	43	55.8	28	42.4	53	48.6	43	47.8
	上下義歯	18	23.4	12	18.2	14	12.8	31	34.4
	一部義歯	4	5.2	11	16.7	27	24.8	9	10.0
	自歯・義歯なし	12	15.6	15	22.7	15	13.8	7	7.8

(4) 利用者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度

	区分	正常	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
成 幸	人数	—	4	9	16	25	8	13	2
	%	—	5.2	11.7	20.8	32.4	10.4	16.9	2.6
戸越台	人数	—	2	1	7	28	14	14	—
	%	—	3.0	1.5	10.6	42.4	21.2	21.2	—
荏 原	人数	2	3	5	18	53	10	14	4
	%	1.8	2.8	4.6	16.5	48.6	9.2	12.8	3.7
平塚橋	人数	1	7	9	11	33	12	16	1
	%	1.1	7.8	10.0	12.2	36.7	13.3	17.8	1.1

障害高齢者の日常生活自立度

	区分	自立	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2
成 幸	人数	—	—	4	9	17	25	7	13	2
	%	—	—	5.2	11.7	22.1	32.4	9.1	16.9	2.6
戸越台	人数	—	1	—	4	5	17	34	2	3
	%	—	1.5	—	6.1	7.6	25.8	51.5	3.0	4.5
荏 原	人数	—	—	2	7	23	35	31	4	7
	%	—	—	1.8	6.4	21.1	32.1	28.4	3.8	6.4
平塚橋	人数	—	1	—	12	19	18	30	6	4
	%	—	1.1	—	13.3	21.2	20.0	33.3	6.7	4.4

(5) 家族などの訪問(面会)者数・外泊状況

新型コロナウイルス感染対応のため、制限の解除を進めながら各施設の状況に則した対応を行った。

①訪問(面会)者数

(単位：人)

	年度合計	月平均
成 幸	759	63.3
戸 越 台	1,089	90.8
荏 原	2,134	177.8
平 塚 橋	2,445	204

②外泊状況

外泊は控えていただき実績はない。

(6) 三徳懇談会

利用者懇談会

(成 幸)

(単位：人)

開催日	実施階	主な懇談内容	参加人数
6.4.14	2.3.4	食事、理美容サービスについて	18
6.5.19	2.3.4	コロナウイルス感染症について	15
6.6.1	2.3.4	当月の予定・選択食について	20
6.7.7	2.3.4	当月の予定・理美容サービスについて	20
6.8.4	2.3.4	定期清掃、当月の予定について	17
6.9.1	2.3.4	町内会祭り、敬老式典について	16
6.10.6	2.3.4	全館停電・当月の予定について	18
6.11.3	2.3.4	インフルエンザワクチン接種・当月の予定について	19
6.12.1	2.3.4	コロナワクチン接種、クリスマス会について	19
7.1.12	2.3.4	理美容サービス、当月の予定について	20
7.2.2	2.3.4	節分について	25
7.3.2	2.3.4	家族懇談会・食事について	24

※参加人数は2・3・4階利用者の合計人数

(戸越台)

(単位：人)

開催日	実施階	主な懇談内容	参加人数
6.5.16	5	生活のこと、食べたい物、昔の生活について	7
6.6.20	6	好きな食べ物について	6
6.7.18	7	生活で困っていることについて	9
6.8.15	5	当時の思い出、終戦記念日について	6
6.9.19	6	全館停電について、施設での生活について	10
6.10.17	7	お楽しみ食について、ホームでの食事について	5
6.12.19	6	正月について、体調について	11
7.1.16	7	生活での困りごとについて、食べたい物について	5
7.2.20	5	施設での生活について、食事について	9
7.3.13	7	リハビリについて、食事について	8

(荏原)

(単位：人)

年	実施階	主な懇談内容	参加人数
6.4.28	4	大規模改修工事のこと、春の思い出について	10
6.5.4	3	行った場所、食べ物の思い出話について	8
6.6.30	4	夏の思い出や雨についての思い出など	10
6.8.11	3	夏について、行った場所、食べ物の思い出について	8
6.9.21	3	秋について、行った場所、食べ物の思い出について	7
6.10.13	4	秋と言って思いつくもの	10
6.11.23	3	冬について、行った場所、食べ物の思い出について	7
6.12.22	4	年末年始の過ごし方について	8
7.1.19	3	お正月について、それに関連する思い出、今年の目標など	9
7.2.9	4	昔の思い出、やりたいこと	8
7.3.30	3	来年度、食べたいもの、行きたいところなど要望	10

(平塚橋)

(単位：人)

年	実施階	主な懇談内容	参加人数
6.4.28	2	天気・気候・体調について	4
6.5.25	2	端午の節句の思い出、実習生について	3
6.6.25	3	食中毒予防について	4
6.7.16	3	水分補給について	3
6.8.25	4	敬老お祝いの会予定について	3
6.9.10	4	実習生について	3
6.10.13	2	電気設備点検による停電について	3
6.11.12	2	天気・気候・体調について、実習生について	5
6.12.17	3	年末年始の思い出について	3
7.1.14	3	車いす清掃ボランティアについて	3
7.2.18	4	感染症予防について	3
7.3.25	4	天気・気候・体調について	2

(7) セルフチェックシート（自己評価表）

平成15年から区内施設の自主的な取り組みとして、「品川区施設サービス研究会」が立ち上げられ、セルフチェックシートの開発、運用を行ってきた。セルフチェック（自己評価）を実施し、21年を経過し定着してきている。

今回のセルフチェックは過去の「A」「B」「C」3段階の評価を踏襲しつつ、さらに分析できるように「S」（「A」が50%以上）、「D」（「C」が50%以上）を加えた5段階で集計を行い、向上、改善への活用を図ることとした。

成 幸

セルフチェックの総括

令和6年度は介護、看護、訓練の職務3年以上の職員19名を対象とした。

集計すると、「S」の割合が76%、「A」が13%、「B」が5%、「C」が4%、「D」が2%となった。

6. 「外出への援助」の4項目のうち3つがC評価となった。令和5年に新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたが、感染リスクが軽減したわけではないため、定期的な外出の機会を設けていない。ただし面会時間内（20分程度）であれば、近所を散歩するくらいの外出は許可しており、それ以外にも特別な事情が（法事など）がある際は個別に相談し対応している。また毎年9月に実施される地域の祭禮や盆踊りに参加するなど、地域との交流も再開している。

8. 「生活づくり」の3項目のうち2つがD、1つがC評価となった。新型コロナウイルス感染症が5類に移行されても、感染防止に重点を置いているため、音楽クラブや集団レクリエーションなど感染の危険性があるプログラムを再開できていない。また職員不足も重なり、レクリエーション自体が実施できないことが多く、利用者の満足度が低下してしまっている。

12. 「看護的対応」の11項目すべてがS評価となった。特に看取り介護への取り組みにおいては、ご家族の意向を大切にしており、ご家族より希望があればホームに泊まりご利用者と過ごせる時間を作っている。

16. 「ショートステイ」の12項目のうち11項目がS、1つがD評価となった。現在職員不足もあり、以前のようにショートステイを満床にすることができない状態が続いている。しかし緊急ショートに関しては、他セクションにも協力を仰ぎ、できる限り受け入れるようにしている。

23. 「働きやすい職場環境」で労働力不足への配慮がA評価となった。ここ数年で外国人職員が増えているが、日本語が上手く通じなかったり、記録が打てないなどの課題もあるので、現場に出る前に研修を受けて欲しいなどの意見がでている。

戸越台

セルフチェックの総括

令和6年度も3年以上の介護、看護、栄養、訓練の各セクションの常勤職員を対象とし、17名が評価を行った。A評価が77.8%、B評価が20.7%、C評価が1.5%の結果であり、昨年と比較しB評価は7.4%増加した。B評価では自立支援、会話、生活づくり、認知症利用者への対応、働きやすい職場環境の項目が主になっている。

1. 自立支援については、前年度から外部講師による介護技術研修を実施しており、その内容を全職員に周知していく必要がある。次年度も開催し、利用者の気持ちを大切に自立の維持、向上に取り組む。

2. 生活づくりは、季節のイベントや利用者の個々の日常の過ごし方について検討していく。また、認知症利用者への対応については4つの項目がAからBに変わり、生活づくりと同様に日常の過ごし方について、個々の利用者の視点で捉える対応や、認知症(BPSDなど)への知識や理解を促進していく。

3. 会話についてはアンケートを実施し、他者が聞いても不快にならない話し方について考える機会を設けた。継続して取り組み、不適切な会話により利用者の行動を制限することがないように対応していく。

4. 働きやすい職場環境については介護人材不足が大きな課題であるが、引き続き法人を挙げての人材確保、公休数の増加や処遇改善に努めていく。また施設内のICTの活用による業務の省力化および効率化、情報共有の円滑化など、働きやすい職場環境へと取り組んでいく。

5. C評価の外出援助については、昨年と同様で施設内のベランダや屋上など外気に触れる機会は作っているが、定期的な外出にはつながっていない。面会時間を検討し、ご家族にも協力していただきながら商店街や近隣の公園まで外出できるよう対応していく。

荏原

セルフチェックの総括

令和6年度は特養(介護・看護・訓練)、ショートステイ、相談員の計36名の職員を対象としてセルフチェックを実施した。今回のセルフチェック総括として、荏原特別養護老人ホームでの大規模改修工事であることでの対応という側面があると考えられる。C評価がついたものは、食事の項目では「食事の衛生管理」の項目があげられた。大規模改修工事の影響で、食事の場所が限られ、今までのように食堂に一堂に会して食事をすることが難しい状況であった。工事による洗面台の使用の制限、非効率な動線により利用者手指の衛生管理が行き届かないことが、その要因であると考えている。衛生面の強化について取り組んでいく必要がある。

また6. 外出への援助、8. 個別性の対応、18. 地域との交流もC評価ないしD評価であった。コロナ禍の影響がまだ根強く残っていること、改修工事での生活の

制限があることが影響していると考える。

5の自立支援（リハビリテーション）に関して、訓練のあり方の全般的な見直しを行い、訓練指導員との情報の共有が少しずつ前に進んでいることが、職員の自由記述欄からもうかがえる。特養の機能訓練は機能訓練指導員一人では到底なしえない。アセスメントを取り、多職種がそれぞれ専門の視点から分析し、統合したケアの実践に努めたい。

ショートステイにおいてはすべてS評価となっている。今期はショートステイの環境も個室から大部屋へと大きく変わった中で、職員もその時々に対応しようと努力した。また、職員の送迎の添乗に関しても、体制を丁寧に整え、実施した。大変好評をいただいている。

平塚橋

セルフチェックの総括

令和6年度も、介護、看護、訓練、栄養の各セクションで在職3年以上を対象とし、28名で実施した。「D」評価となった項目で、引き続き外出などが難しい状況ではあるが、面会方法を緩和し居室で面会、短時間での散歩外出は継続している。外出援助の徹底項目は前回のDからCに改善しており、ベランダなどでの外気浴を実施していること、ゆうゆうプラザでのイベント参加などがその理由と考えられる。生活づくりの③「利用者の様子への注意」項目は前回「D」評価から「A」評価となっている。記録全体を通して写真を活用した利用者の記録が増えており、日常の楽しいエピソードを残すことが定着化しているためだと思われる。これは引き続き継続したい。

「C」評価の中では、災害時の協力やボランティアの項目で、窓口や仕組みの整備について「C」評価となっている。フォローが適切に行われている項目については「B」評価となった。窓口や受け入れ体制は整っているため職員への周知不足と思われる。

一方で地域との連携・交流に関しては以前の評価よりも改善している。特に災害時の協力は「C」評価から「S」評価へと向上しており、合同防災訓練の実施がきちんと現場にも伝わったためと考えられる。

情報共有について改善できた項目があった一方、評価が下がってしまった項目もあった。正確な情報がきちんと伝わるように引き続き工夫していく。

栄養・調理

(8) 個別の栄養状態に着目した栄養ケアマネジメントに基づいた特別な対応

<療養食の対応>

(単位：件)

項目	成幸	戸越台	荏原	平塚橋
糖尿病食	2	1	—	—
腎臓食	—	—	3	1
心臓病食	—	—	1	—
肝臓食	—	—	—	—
胃潰瘍食	—	—	—	—
貧血食	—	1	—	—
膵臓食	—	—	—	—
脂質異常症	—	—	—	1
痛風食	—	—	—	—

<個人対応>

(単位：件)

項目	成幸	戸越台	荏原	平塚橋
摂食障害	50	16	24	48
摂食嚥下	46	54	99	39
低体重	48	21	44	30
栄養障害	38	34	22	33
過体重	5	2	12	12
機能障害	25	13	27	40
その他	78	78	104	55

<食事形態>

(単位：件)

項目	成幸	戸越台	荏原	平塚橋
常食・刻み	34	17	46	40
極刻み(ソフト禁)	—	—	22	—
ソフト食	38	28	26	29
ペースト食	4	7	17	10
ゼリー食	1	—	—	—
その他	1	11	9	8

(9) 残菜・嗜好調査

今年度は、特別養護老人ホーム、在宅の利用者において、副菜の残菜調査を行い、①(食事形態)常食と介護食、②(味付け)マヨネーズ・ドレッシング、③食材の観点から比較した。

【残菜調査】

実施期間：第1回調査 令和6年10月（それぞれ1週間を調査期間とする）

第2回調査 令和7年2月

方 法：下記の料理について残菜調査を行った。

- ・マヨネーズ味：ミモザサラダ、夕顔サラダ、ポテトサラダ
- ・ドレッシング味：トマトサラダ、中華風サラダ、コールスローサラダ

四施設の残菜率

(単位：%、在宅：デイサービス・ショートステイ)

	四施設平均				成 幸				戸越台				荏 原				平塚橋				
	特養		在宅		特養		在宅		特養		在宅		特養		在宅		特養		在宅		
	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	
マヨネーズ	ミモザサラダ	7.6	5.0	7.5	—	6.7	1.4	9.2	—	12.2	4.0	5.0	—	2.5	1.8	0.6	—	9.2	12.8	15.2	—
	夕顔サラダ	7.9	5.6	7.2	9.0	8.1	1.0	16.4	—	12.1	8.1	3.2	36.1	2.7	5.2	3.8	—	8.6	8.3	5.6	—
	ポテトサラダ	10.3	4.2	5.3	2.7	6.5	1.4	2.0	—	17.1	5.5	1.8	—	9.9	4.2	4.2	—	7.8	5.7	13.4	10.7
ドレッシング	トマトサラダ	7.0	4.9	7.2	3.1	2.5	4.0	6.2	—	12.1	8.5	13.7	—	4.2	5.2	2.1	12.2	9.3	2.1	7.0	—
	中華風サラダ	10.1	4.1	9.8	7.3	7.2	0.3	8.4	—	12.3	4.8	4.4	—	4.9	1.1	2.8	3.6	16.2	10.3	23.5	25.5
	コールスロー サラダ	7.8	4.2	9.9	0.3	8.5	2.8	5.7	—	6.7	6.3	6.1	—	3.7	2.6	4.5	1.2	12.6	5.4	23.6	—
平均	8.4	4.7	7.8	3.7	6.5	1.8	8.0	—	—	6.2	5.7	6.0	—	4.6	3.3	3.0	2.8	10.6	7.4	14.7	6.0

【結果及び考察】

①常食と介護食の比較

- ・在宅の介護食で残菜量にばらつきがあったのは、喫食人数が少ない事もあり、特養の介護食に比べひとりの影響が大きい結果となったと考えられる。
- ・特養の介護食は、4.1%から5.6%と、料理別での残菜量の開きは小さくなる結果だった。
- ・特養では、介護食の喫食者は介助での食事摂取割合が多い事が残菜率の低さに影響していると思われる。
- ・常食を見てみると、介護食で見られた現象はなかった。

②味付けでの比較

- ・味付けはマヨネーズとドレッシングを比較したが、いずれも特徴的な結果は見い

だせなかった。

- ・マヨネーズは、特質である乳化性により、嚥下機能低下に良い影響をもたらす可能性は考えられる。
- ・常食では食べやすさと共に色合いなどの見た目も喫食率に影響すると考えられるので、盛り付けなども工夫していく。

③食材での比較

- ・春雨を使用したサラダは、でんぷんの老化によりぼそぼそと食べにくくなるため、常食においては残菜が多い結果となった。
- ・じゃが芋のサラダは、マヨネーズで味付けをする事でしっかりと食べやすくなると思ったが、特養では逆に残菜は多い結果であった。
- ・コールスローや夕顔サラダなどは、材料の下茹での状態により食べやすさにばらつきが生じる可能性が考えられる。

【まとめ】

- ・材料の下ごしらえなどにより、残菜率に影響を及ぼす可能性があるため、喫食率が上がるように高齢者が食べやすいような調理方法や味付け方法を工夫していく。

(10) 選択食、団らん食、お楽しみ食、その他

[行事食]

利用者が楽しみにしているものであり、生活に変化や潤いを持たせるために導入している。

a) 選択食

利用者が自由に食事を選択できる機会を広げた。

事前に2つのメニューから選択してもらい実施した。

成 幸ホーム：年36回 主菜選択(24回)、主食選択(12回)

戸越台ホーム：年36回 主菜選択(24回)、主食選択(12回)

荏 原ホーム：年36回 主菜選択(12回)、主食・主菜選択(24回)

平塚橋ホーム：年36回 主菜選択(24回)、主食選択(12回)

b) 団らん食・おやつ作り

できるだけ家庭の団欒の雰囲気近づけるため、各フロアにて対応するとともに料理をすることで機能低下を防ぎ、回想法も取り入れ実施するものである。

実施に際しては、利用者からメニューの希望を伺って行う。

令和6年度は、感染予防対策の観点から未実施となった。

c) お楽しみ食

選択制とし、日常とは異なった食材を取り入れ、より利用者が楽しめる料理を提供した。

(成 幸)

実施日	内 容
6.4.12	桜ご飯、春野菜天ぷら、うど入り酢味噌和え、いちご、和菓子など
6.5.30	たけのこご飯、かき揚げ、茶碗蒸し、牛蒡しぐれ煮など
6.6.11	枝豆ご飯、夏野菜天ぷら、空也蒸し、茗荷酢味噌和えなど
6.7.5	サーモンちらし寿司、夏野菜揚げ浸し、洋風茶碗蒸し、はも清汁など

(戸越台)

実施日	内 容
6.4.12	桜ご飯、春野菜の天ぷら、刺身、春菜酢味噌和え、いちご、和菓子など
6.5.30	しぐれご飯、天ぷら、蕨山吹和え、湯葉浸し、和菓子、メロンなど
6.6.25	天ぷら、夏野菜炊合わせ、冷し空也蒸し、じゅんさい清汁、和菓子など
6.7.5	茗荷飯、水晶煮、つるむらさき浸し、ピリ辛和え、メロン、ねりきりなど

(荏 原)

実施日	内 容
6.4.12	桜鯛めし、天ぷら盛合せ、ふきのたらこマヨネーズ和えなど
6.5.30	筍ご飯、天ぷら盛合せ、枝豆茶碗蒸し、メロンなど
6.6.18	八宝菜、豆腐の中華風和え、胡麻寄せなど
6.7.5	ビビンバ、豚肉のジョン、サムゲタン風スープなど

(平塚橋)

実施日	内 容
6.4.11	桜のグリーンピースご飯、鶏肉と鮭のあんかけ、春色サラダなど
6.5.30	オムライス、ズッキーニと茄子のミートグラタン、メロンなど
6.6.11	いなり寿し、かき揚げ、車麩と夏野菜の炊合せ、あじさいゼリーなど
6.7.5	ちらし寿し、クリームフライ、茶碗蒸し、クリームソーダ風ゼリーなど

(四施設統一)

実施日	内 容
6.8.24	押し寿司、天ぷら、冷やし茶碗蒸し、じゅんさい清汁など
6.9.25	松茸ご飯、天ぷら、菊花和え、紅白清汁、秋の果物盛り合わせなど
6.10.31	栗ご飯、松茸茶碗蒸し、柿なます、サーモンロールなど
6.11.13	はらこ飯、飛竜頭煮物、マグロ刺身、柿寒天寄せなど
6.12.9	冬ちらし、茶碗蒸し、海老芋含め煮、せり胡麻和えなど
7.1.1	祝い雑煮、寿三点盛、数の子山葵和え、栗きんとん、屠蘇など
7.1.1	鰻ちらし、岩石玉子、梅花田楽、昆布巻き、清汁など
7.2.4	赤飯、天ぷら、カルパッチョ、吉野汁、いちごなど
7.3.3	弥生ちらし、蕨の臺天ぷら、蕪帆立あんかけ、蛤出汁のお吸い物など

※8月より四施設統一献立を実施した

d) 歳時食（四施設共通）

実施月	行事名	内 容
4月	花まつり	桜ご飯
5月	みどりの日	グリーンピースご飯
	端午の節句	筍ご飯、木の芽焼き
7月	七 夕	七夕素麺
	土用の丑	「う」のつく料理、鰻料理
8月	終戦記念日	すいとん、さつま芋甘煮
	夏のイベント	焼そば、枝豆、西瓜、かき氷など
9月	防災の日	非常食品
	敬老の日	赤飯、黄金焼き、真砂和え、紅白りんご煮など
	秋の彼岸(秋分の日)	おはぎ風おやつ
	十五夜	月見にちなんだ料理
11月	文化の日	ちらし寿司、フルーツなど
12月	冬 至	小豆ご飯、南瓜料理、生姜寒
	クリスマス	オムライス、チキン料理、いちごババロアなど
	大晦日	年越し蕎麦
1月	正 月	おせち料理
	七 草	七草粥
	鏡開き	お汁粉
	小正月	小豆粥
2月	節 分	鰯料理、節分豆ご飯
	バレンタイン	チョコレート菓子
3月	桃の節句	弥生ちらし、ハマグリ出汁の清汁、いちごなど
	春の彼岸(春分の日)	ぼた餅風おやつ

e) ホーム喫茶・花広場カフェ

新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら実施した。

戸越台ホーム：年3回

戸越台在宅サービスセンター：年2回

(11) 栄養出納表（年間平均）

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	食事摂取基準	栄 養 出納量						
エネルギー(kcal)	1,379	1,304	1,323	1,339	1,307	1,431	1,362	1,338
タンパク質(g)	58.6	55.4	57.4	57.7	53.9	59.1	58.2	55.2
カルシウム(mg)	600	600	600	597	600	592	600	526
鉄(mg)	6.0	5.7	6.2	6.6	6.1	6.6	6.0	6.2
レチノール当量(μ g)	680	545	677	807	664	714	645	663
ビタミンB ₁ (mg)	1.00	0.69	1.10	0.79	1.00	0.79	1.10	0.78
ビタミンB ₂ (mg)	1.10	0.85	1.20	0.98	1.10	0.99	1.20	0.96
ビタミンC(mg)	100	69	90	78	100	77	100	74
食物繊維(g)	15.0	10.9	18.5	12.4	13.0	12.5	15.0	10.3

食事摂取基準については、日本人の食事摂取基準の策定方針に基づいて算出した。
基準量よりも低い値については、個別により強化（栄養補助食品等）をしている。

健康管理

(12) 受診状況

1) 各科受診状況

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	人 数 (人)	延回数 (件)						
内 科	85	1,082	80	1,271	139	2,247	109	1,486
眼 科	15	40	16	34	34	76	34	67
歯 科	18	128	18	53	27	163	99	332
皮 膚 科	2	6	13	25	17	64	34	75
泌尿器科	2	64	2	11	1	1	8	27
耳 鼻 科	—	—	2	2	—	—	3	12
脳 外 科	2	2	5	6	8	8	2	2
整形外科	9	9	14	38	17	26	27	53
神 経 科	2	10	3	18	9	16	7	10
そ の 他	—	—	13	18	—	—	—	—
合 計	135	1,341	166	1,476	252	2,601	323	2,064

2) 認知症相談 (各施設月2回実施)

(単位：人)

区 分	R 6 年度	R 5 年度	R 4 年度
成 幸	29	62	76
戸越台	25	25	14
荏 原	2	6	13
平塚橋	107	107	110

(13) 利用者の診断病名

疾 病 名	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
心疾患	31	24	22	31
高血圧症	43	28	37	48
ペースメーカー	—	—	1	5
閉塞性動脈硬化症	1	—	—	3
呼吸器疾患	2	14	3	17
脳卒中	24	23	27	34
てんかん	2	3	2	4
アルツハイマー型認知症	32	35	39	41
レビー小体型認知症	3	3	4	1
脳血管性認知症	26	4	20	14
老年精神病	13	5	6	7
パーキンソン病	5	2	4	3
腎疾患	4	10	5	5
肝胆系疾患	7	10	3	7
B型肝炎	16	0	7	—
C型肝炎	2	1	2	—
ストーマ	—	—	—	—
慢性関節リウマチ	3	—	1	2
骨粗鬆症	8	5	20	14
骨折	43	30	11	16
蜂窩織炎	2	2	1	4
類天疱瘡	—	—	1	1
貧血	5	3	5	1
糖尿病	11	5	15	12

※診断病名が重複している利用者あり

(14) 入院・退所状況

(単位：人)

施設	入院数	救急車要請数	病院内死亡	施設内死亡	看取り	他施設内死亡	長期入院による退園	入院中
成 幸	38	17	5	2	11	—	—	2
戸越台	23	7	3	5	14	—	2	1
荏 原	91	40	9	1	15	—	6	9
平塚橋	42	21	4	6	21	—	—	1

(15) 入院者病名および件数

(単位：人)

疾 病 名	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
肺 炎	7	9	24	4
心 疾 患	—	2	9	5
脳 卒 中	1	—	3	3
癌	1	—	1	—
肝 胆 系 疾 患	7	3	5	1
イ レ ウ ス	—	—	2	—
尿 路 感 染 症	3	2	19	6
脱 水	—	—	2	—
骨 折	7	2	1	3
皮 膚 疾 患	2	—	—	5
精 神 神 経 疾 患	—	—	—	—
精 査	—	—	5	3
そ の 他	2	3	19	7
新型コロナウイルス感染症	2	6	1	5
合 計	32	27	91	42

(16) その他

1) 健康診断

秋健康診断実施対象者全員

2) ワクチン予防接種実施

(単位：人)

区 分	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
インフルエンザ	72	61	106	70
コロナウイルス	64	52	82	61
肺炎ワクチン	1	—	—	—

3) 感染症

(単位：件)

区 分	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
新型コロナウイルス	3	11	9	11
結 核	—	—	—	—
疥 癬	—	—	—	—
M R S A	—	—	1	—
肝炎 (B型)	16	—	7	—
肝炎 (C型)	2	1	2	—
インフルエンザ	2	—	9	—
急性胃腸炎	2	9	—	—

4) 褥瘡

(単位：件)

成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
12	4	12	1

5) 処置内容

ガーゼ交換（褥瘡、切創、皮膚剥離）、湿布貼布、軟膏塗布、酸素吸入（在宅酸素含む）、浣腸、摘便、坐薬挿入、フランドルテープ（ホクナリン含む）交換、耳鼻咽喉科処置、眼科処置、酸素飽和度チェック、注射（点滴、筋肉、皮下）、経管栄養、ストマパウチ交換、吸引、その他

(17) 機能訓練

訓練内容

(単位：件)

区 分	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
関節可動域訓練	2,201	3,595	4,178	826
上下肢筋力強化	21	1,312	3,997	780
起居動作訓練	1,273	212	132	14
トランスファー訓練	56	32	79	29
立位・歩行訓練	3,354	1,128	1,323	374
歩行器・車椅子操作指導	1,441	168	686	218
マッサージ	2,203	3,602	430	75
集団体操	10	—	968	—
レクリエーション	20	36	677	72

2. 在宅サービス

(1) 年間利用者状況

①通所介護事業（デイサービス）

成 幸

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
		実施日数	26日間	27日間	25日間	27日間	27日間	25日間	27日間
基本 定員20名	総合事業	要支援1	14	12	12	12	11	10	10
		要支援2	9	10	7	9	10	12	12
		認定なし	4	5	5	4	4	4	3
		実人員	27	27	24	25	25	26	25
		利用者延べ人数	160	164	146	168	155	158	165
		1日当たり利用人員	6.2	6.1	5.8	6.2	5.7	6.3	6.1
	基本	要介護1	9	9	7	6	3	6	8
		要介護2	16	15	15	13	15	16	14
		要介護3	5	5	6	6	6	6	4
		要介護4	8	7	7	7	5	5	6
		要介護5	1	1	2	2	2	3	2
		申請中	2	1	—	—	2	5	3
		実人員	41	38	37	34	31	41	37
		利用者延べ人員	315	304	311	269	277	267	315
		1日当たり利用人員	12.1	11.3	12.4	10.0	10.3	10.7	11.7
		平均要介護度(申請中除)	2.4	2.4	2.5	2.6	2.8	2.5	2.4
	総計	利用者延べ人員	475	468	457	437	432	425	480
		1日当たり利用人員	18.3	17.3	18.3	16.2	16.0	17.0	17.8
		予防割合(%)	33.7	35.0	31.9	38.4	35.9	37.2	34.4
		稼働率(%)	91.3	86.7	91.4	80.9	80.0	85.0	88.9
認知症 定員10名	予防	要支援1	—	—	—	—	—	—	—
		要支援2	—	—	—	—	—	—	—
		実人員	—	—	—	—	—	—	—
		利用者延べ人数	—	—	—	—	—	—	—
		1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—
		介護	要介護1	—	—	—	—	—	—
	要介護2		—	—	—	—	—	—	—
	要介護3		—	—	—	—	—	—	—
	要介護4		—	—	—	—	—	—	—
	要介護5		—	—	—	—	—	—	—
	申請中		—	—	—	—	—	—	—
	実人員		—	—	—	—	—	—	—
	利用者延べ人員		—	—	—	—	—	—	—
	1日当たり利用人員		—	—	—	—	—	—	—
	平均要介護度		—	—	—	—	—	—	—
	総計	利用者延べ人員	—	—	—	—	—	—	—
		1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—
		予防割合(%)	—	—	—	—	—	—	—
		稼働率(%)	—	—	—	—	—	—	—
	総計	平均要介護度	2.4	2.4	2.5	2.6	2.8	2.5	2.4
総計(延べ人員)		475	468	457	437	432	425	480	
1日当たり利用人員総計		18	17	18	16	16	17	18	
予防割合(%)		33.7	35.0	31.9	38.4	35.9	37.2	34.4	

成幸デイサービスは認知症事業を休止した

成 幸

事業名・区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
	実施日数	26日間	27日間	25日間	27日間	27日間	25日間	27日間		
短時間・障害者延べ人員		6	5	5	6	5	5	8		
その他利用		—	—	—	—	—	—	—		
身近でトレーニング	日数	—	—	—	—	—	—	—		
	実人員	—	—	—	—	—	—	—		
	延べ人数	—	—	—	—	—	—	—		
	1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—		
送迎	基本デイサービス	633	534	464	463	540	518	566		
	認知症デイサービス	—	—	—	—	—	—	—		
	総合事業	258	272	220	275	251	227	243		
	乗車延べ人数合計	891	806	684	738	791	745	809		
	1日当たり利用人員	34.3	29.9	27.4	27.3	29.3	29.8	30.0		
入浴	日数	26日間	27日間	25日間	27日間	27日間	25日間	27日間		
	総合	実利用者	14	14	12	12	14	14	14	
		延べ人数	87	87	64	77	84	83	102	
	基本	実利用者	34	33	34	31	29	34	31	
		延べ人数	218	213	211	194	197	205	224	
	認知	実利用者	—	—	—	—	—	—	—	
		延べ人数	—	—	—	—	—	—	—	
	1日当たり利用人員	11.7	11.1	11.0	10.0	10.4	11.5	12.1		
	訓練	機能訓練延べ人数	281	268	262	259	246	249	266	
		1日当たり利用人員	10.8	10.3	10.1	9.6	9.8	9.2	9.9	
配食	配食延べ人数	42	42	28	32	30	23	27		
	1日当たり利用人員	1.6	1.6	1.1	1.2	1.2	0.9	1.0		

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	26日間	308日間	25.7日間
	14	14	6	9	13	96	8.0
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	503	458	488	506	540	6,213	517.8
	—	—	—	—	—	—	—
	253	275	282	286	344	3,186	265.5
	756	733	770	792	884	9,399	783.3
	29.1	30.5	32.1	33.0	34.0		30.5
	26日間	24日間	24日間	24日間	26日間	308日間	25.7日間
	16	17	20	19	18	184	15.3
	114	119	121	120	135	1,193	99.4
	33	31	29	29	29	377	31.4
	223	202	205	198	207	2,497	208.1
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	13.0	13.4	13.6	13.3	13.2		12.0
	283	277	273	261	300	3,225	268.8
	11.3	10.3	10.5	10.9	12.5		10.4
	5	12	4	7	28	280	23.3
	0.2	0.4	0.2	0.3	1.2		0.9

戸越台

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
		実施日数	26日間	27日間	25日間	27日間	27日間	25日間	27日間
基本 定員30名	総合事業	要支援1	4	4	4	5	5	5	5
		要支援2	21	21	20	23	22	21	23
		認定なし	3	3	4	4	6	7	5
		実人員	28	28	28	32	33	33	33
		利用者延べ人数	165	178	171	204	214	214	205
		1日当たり利用人員	6.3	6.6	6.8	7.6	7.9	8.6	7.6
	基本	要介護1	18	18	16	15	14	14	12
		要介護2	15	14	13	14	16	17	19
		要介護3	7	7	7	7	6	6	8
		要介護4	4	4	4	3	3	3	3
		要介護5	1	1	1	1	1	1	1
		申請中	0	0	1	0	0	0	0
		実人員	46	44	42	40	40	41	43
		利用者延べ人員	384	380	352	373	321	345	402
		1日当たり利用人員	14.8	14.1	14.1	13.8	11.9	13.8	14.9
		平均要介護度(申請中除)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.1
	総計	利用者延べ人員	549	558	523	577	535	559	607
		1日当たり利用人員	21.1	20.7	20.9	21.4	19.8	22.4	22.5
		予防割合(%)	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3
		稼働率(%)	70.4	68.9	69.7	71.2	66.0	74.5	74.9
認知症 定員10名	予防	要支援1	—	—	—	—	—	—	—
		要支援2	—	—	—	—	—	—	—
		実人員	—	—	—	—	—	—	—
		利用者延べ人数	—	—	—	—	—	—	—
		1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—
		介護	要介護1	2	2	2	1	1	1
	要介護2		3	2	3	4	4	4	4
	要介護3		1	2	2	2	2	2	2
	要介護4		—	—	—	—	—	—	—
	要介護5		—	—	—	—	—	—	—
	申請中		—	—	—	—	—	—	—
	実人員		6.0	6.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
	利用者延べ人員		92	99	104	104	90	96	95
	1日当たり利用人員		3.5	3.7	4.2	3.9	3.3	3.8	3.5
	平均要介護度		1.8	2.0	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1
	総計	利用者延べ人員	92	99	104	104	90	96	95
		1日当たり利用人員	3.5	3.7	4.2	3.9	3.3	3.8	3.5
		予防割合(%)	—	—	—	—	—	—	—
		稼働率(%)	35.4	36.7	41.6	38.5	33.3	38.4	35.2
	総計	平均要介護度	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.1
総計(延べ人員)		641	657	627	681	625	655	702	
1日当たり利用人員総計		25	24	25	25	23	26	26	
予防割合(%)		25.7	27.1	27.3	30.0	34.2	32.7	29.2	

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	26日間	308日間	25.7日間
	5	5	2	4	4	52	4.3
	23	22	21	21	20	258	21.5
	4	3	6	2	3	50	4.2
	32	30	29	27	27	360	30.0
	191	170	179	177	181	2,249	187.4
	7.3	7.1	7.5	7.4	7.0		7.3
	12	12	10	14	16	171	14.3
	16	17	15	15	14	185	15.4
	7	8	5	6	7	81	6.8
	3	3	4	4	4	42	3.5
	1	—	—	1	1	10	0.8
	1	—	1	1	1	5	0.4
	40	40	35	41	43	495	41.3
	361	323	291	338	377	4,247	353.9
	13.9	13.5	12.1	14.1	14.5		13.8
	2.1	2.1	2.1	2.1	2.0		2.0
	552	493	470	515	558	6,496	541.3
	21.2	20.5	19.6	21.5	21.5		21.1
	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3		0.3
	70.8	68.5	65.3	71.5	71.5		70.3
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	1	1	1	—	—	13	1.1
	4	4	4	4	3	43	3.6
	2	1	2	2	2	22	1.8
	—	—	—	1	1	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	1	1	0.1
	7.0	6.0	7.0	7.0	7.0	81	6.8
	104	90	104	94	96	1,168	97.3
	4.0	3.8	4.3	3.9	3.7		3.8
	2.1	2.0	2.1	2.6	2.7		2.2
	104	90	104	94	96	1,168	97.3
	4.0	3.8	4.3	3.9	3.7		3.8
	—	—	—	—	—		—
	40.0	37.5	43.3	39.2	36.9		37.9
	2.1	2.0	2.1	2.1	2.1		2.1
	656	583	574	609	654	7,664	638.7
	25	24	24	25	25		24.9
	29.1	29.2	31.2	29.1	27.7		29.4

戸越台

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	26日間	27日間	25日間	27日間	27日間	25日間	27日間	
短時間・障害者延べ人員			48	47	42	49	45	48	50	
その他利用			—	—	—	—	—	—	—	
身近でトレーニング	日数		4	4	4	5	3	4	4	
	実人員		12	12	12	12	12	12	12	
	延べ人数		44	38	34	40	25	32	41	
	1日当たり利用人員		11.0	9.5	8.5	8.0	8.3	8.0	10.3	
送迎	基本デイサービス		746	744	687	730	623	676	779	
	認知症デイサービス		132	137	159	166	137	148	158	
	総合事業		270	292	280	335	375	364	338	
	乗車延べ人数合計		1,148	1,173	1,126	1,231	1,135	1,188	1,275	
	1日当たり利用人員		44.2	43.4	45.0	45.6	42.0	47.5	47.2	
入浴	日数		18日間	18日間	16日間	18日間	18日間	17日間	18日間	
	総合	実利用者		14	15	14	17	18	18	15
		延べ人数		94	100	87	118	128	116	109
	基本	実利用者		33	33	32	29	30	30	32
		延べ人数		210	211	188	210	176	198	226
	認知	実利用者		4	4	4	4	4	5	5
		延べ人数		32	34	30	33	29	33	36
	1日当たり利用人員		18.7	19.2	19.1	20.1	18.5	20.4	20.6	
	訓練	機能訓練延べ人数		605	629	600	647	590	628	666
1日当たり利用人員			23.3	23.3	24.0	24.0	21.9	25.1	24.7	
配食	配食延べ人数		274	307	279	291	280	262	278	
	1日当たり利用人員		10.5	11.4	11.2	10.8	10.4	10.5	10.3	

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	26日間	308日間	25.7日間
	51	50	52	52	32	566	47.2
	—	—	—	—	—	—	—
	4	4	4	4	4	48	4.0
	12	12	12	12	12	144	12.0
	39	40	29	26	31	419	34.9
	9.8	10.0	7.3	6.5	7.8		—
	695	612	569	656	696	8,213	684.4
	154	134	166	140	140	1,771	147.6
	304	285	297	292	325	3,757	313.1
	1153	1031	1032	1088	1161	13,741	1145.1
	44.3	43.0	43.0	45.3	44.7		44.6
	17日間	16日間	16日間	16日間	17日間	205日間	17.1日間
	14	15	16	15	15	186	15.5
	98	95	95	95	104	1,239	103.3
	32	31	28	34	35	379	31.6
	178	174	157	191	195	2,314	192.8
	5	5	5	5	4	54	4.5
	35	33	35	37	23	390	32.5
	18.3	18.9	17.9	20.2	18.9	—	19.2
	623	556	545	580	623	7,292	607.7
	24.0	23.2	22.7	24.2	24.0		23.7
	257	241	237	241	249	3,196	266.3
	9.9	10.0	9.9	10.0	9.6		10.4

荏 原

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	26日間	27日間	25日間	27日間	27日間	25日間	27日間	
基本 定員40名	総合事業	要支援1	11	12	11	10	9	8	13	
		要支援2	20	22	21	20	19	20	22	
		認定なし	1	1	—	—	—	1	—	
		実人員	32	35	32	30	28	29	35	
		利用者延べ人数	194	200	194	191	165	159	212	
		1日当たり利用人員	7.5	7.4	7.8	7.1	6.1	6.4	7.9	
	基本	要介護1	22	22	20	19	19	17	13	
		要介護2	21	18	19	19	19	20	19	
		要介護3	6	8	7	7	7	7	8	
		要介護4	5	5	4	5	5	4	4	
		要介護5	3	2	2	2	1	1	1	
		申請中	—	—	—	—	—	—	—	
		実人員	57	55	52	52	51	49	45	
		利用者延べ人員	453	433	368	468	395	361	353	
		1日当たり利用人員	17.4	16.0	14.7	17.3	14.6	14.4	13.1	
		平均要介護度(申請中除)	2.1	2.0	2.0	2.1	2.0	2.0	2.1	
	総計	利用者延べ人員	647	633	562	659	560	520	565	
		1日当たり利用人員	24.9	23.4	22.5	24.4	20.7	20.8	20.9	
		予防割合(%)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	
		稼働率(%)	62.2	58.6	56.2	61.0	51.9	52.0	52.3	
	認知症 定員10名	予防	要支援1	—	—	—	—	—	—	—
			要支援2	—	1	—	—	—	—	—
			実人員	—	1	—	—	—	—	—
			利用者延べ人数	—	4	—	—	—	—	—
			1日当たり利用人員	—	0.1	—	—	—	—	—
			介護	要介護1	9	6	7	6	6	5
		要介護2		2	4	3	3	3	3	4
要介護3		1		1	1	1	—	2	2	
要介護4		5		5	5	4	4	3	4	
要介護5		—		—	—	1	—	1	1	
申請中		—		—	—	—	—	—	—	
実人員		18.0		16.0	17.0	15.0	13.0	14.0	16.0	
利用者延べ人員		183		172	152	131	114	110	132	
1日当たり利用人員		7.0		6.4	6.1	4.9	4.2	4.4	4.9	
平均要介護度		2.0		2.3	2.1	2.4	2.2	2.4	2.5	
総計		利用者延べ人員	183	176	152	131	114	110	132	
		1日当たり利用人員	7.0	6.5	6.1	4.9	4.2	4.4	4.9	
		予防割合(%)	—	2	—	—	—	—	—	
		稼働率(%)	70.4	65.2	60.8	48.5	42.2	44.0	48.9	
総計		平均要介護度	2.0	2.1	2.0	2.1	2.0	2.1	2.2	
		総計(延べ人員)	830	809	714	790	674	630	697	
		1日当たり利用人員総計	32	30	29	29	25	25	26	
		予防割合(%)	23.4	25.2	27.2	24.2	24.5	25.2	30.4	

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	26日間	308日間	25.7日間
	12	15	15	13	14	143	11.9
	23	22	22	22	23	256	21.3
	—	—	—	—	—	3	0.3
	35	37	37	35	37	402	33.5
	206	213	208	207	223	2,372	197.7
	7.9	8.9	8.7	8.6	8.6		7.7
	13	11	11	12	12	191	15.9
	20	21	19	23	21	239	19.9
	7	8	8	8	7	88	7.3
	5	4	4	4	4	53	4.4
	1	1	1	2	2	19	1.6
	—	—	—	—	—	—	—
	46	45	43	49	46	590	49.2
	355	318	292	345	364	4,505	375.4
	13.7	13.3	12.2	14.4	14.0		14.6
	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2		2.1
	561	531	500	552	587	6,877	573.1
	21.6	22.1	20.8	23.0	22.6		22.3
	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4		0.3
	53.9	55.3	52.1	57.5	56.4		55.8
	—	—	—	1	1	2	0.2
	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	1	—	2	0.2
	—	—	—	1	1	6	0.5
	—	—	—	—	—	—	—
	5	5	6	6	7	73	6.1
	4	3	5	3	3	40	3.3
	2	3	2	3	2	20	1.7
	3	2	2	2	2	41	3.4
	—	—	—	—	—	3	0.3
	—	2	—	—	—	2	0.2
	14.0	13.0	15.0	14.0	14.0	179	14.9
	136	107	121	115	116	1,591	132.6
	5.2	4.5	5.0	4.8	4.5		5.2
	2.2	2.5	2.0	2.1	1.9		2.2
	136	107	121	116	117	1,595	132.9
	5.2	4.5	5.0	4.8	4.5		5.2
	—	—	—	1	1		—
	52.3	44.6	50.4	48.3	45.0		51.7
	2.2	2.3	2.1	2.2	2.1		2.1
	697	638	621	668	704	8,468	706.0
	27	27	26	28	27		27
	29.6	33.4	33.5	31.1	31.8		28.3

荏 原

事業名・区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
	実施日数	26日間	27日間	25日間	27日間	27日間	25日間	27日間	
短時間・障害者延べ人員		—	—	—	1	—	—	—	
その他利用		—	—	—	—	—	—	—	
身近でトレーニング	日数	—	—	—	—	—	—	—	
	実人員	—	—	—	—	—	—	—	
	延べ人数	—	—	—	—	—	—	—	
	1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—	
送迎	基本デイサービス	792	743	639	737	725	650	656	
	認知症デイサービス	338	336	280	255	223	210	251	
	総合事業	347	354	320	310	317	303	393	
	乗車延べ人数合計	1,477	1,433	1,239	1,302	1,265	1,163	1,300	
	1日当たり利用人員	56.8	53.1	49.6	48.2	46.9	46.5	48.1	
入浴	日数	26日間	27日間	25日間	27日間	27日間	25日間	27日間	
	総合	実利用者	18	22	17	17	18	18	22
		延べ人数	102	113	89	94	93	133	124
	基本	実利用者	44	44	43	44	43	40	39
		延べ人数	264	252	235	270	244	236	236
	認知	実利用者	13	12	11	10	8	9	10
		延べ人数	97	84	77	64	56	56	51
	1日当たり利用人員	17.8	16.6	16.0	15.9	14.6	17.0	15.2	
	訓練	機能訓練延べ人数	191	239	208	223	191	265	253
		1日当たり利用人員	7.3	8.9	8.3	8.3	7.1	10.6	9.4
配食	配食延べ人数	105	90	85	91	60	48	55	
	1日当たり利用人員	4.0	3.3	3.4	3.4	2.2	1.9	2.0	

※10月～3月 身近でトレーニング休止
(大規模改修工事のため)

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	26日間	308日間	25.7日間
	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—		—
	628	548	761	575	782	8,236	686.3
	254	321	241	229	268	3,206	267.2
	394	408	339	397	324	4,206	350.5
	1,276	1,277	1,341	1,201	1,374	15,648	1,304.0
	49.1	53.2	55.9	50.0	52.8		50.9
	26日間	24日間	24日間	24日間	26日間	308日間	25.7日間
	24	27	20	27	20	250	20.8
	125	135	93	138	100	1,339	111.6
	38	38	44	40	45	502	41.8
	238	207	252	223	271	2,928	244.0
	8	8	11	7	14	121	10.1
	49	41	37	37	73	722	60.2
	15.8	16.0	15.9	16.6	17.1		16.2
	233	272	235	287	267	2,864	238.7
	9.0	11.3	9.8	12.0	10.3		9.3
	48	46	71	42	105	846	70.5
	1.8	1.9	3.0	1.8	4.0		2.7

小山の家

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	26日間	27日間	25日間	27日間	27日間	25日間	27日間	
認知症 定員10名	予防	要支援1	—	—	—	—	—	—	—	—
		要支援2	—	—	—	1	1	1	1	
		実人員	—	—	—	1	1	1	1	
		利用者延べ人数	—	—	—	3	5	4	3	
		1日当たり利用人員	—	—	—	0.1	0.2	0.2	0.1	
	介護	要介護1	9	11	10	11	10	9	9	
		要介護2	5	4	5	3	3	3	3	
		要介護3	3	3	3	3	3	2	2	
		要介護4	—	—	—	—	—	1	1	
		要介護5	2	2	2	2	2	1	—	
		申請中	—	—	—	—	—	—	—	
		実人員	19.0	20.0	20.0	19.0	18.0	16.0	15.0	
		利用者延べ人員	181	181	165	172	159	151	135	
		1日当たり利用人員	7.0	6.7	6.6	6.4	5.9	6.0	5.0	
	平均要介護度(申請中除)	2.0	1.9	2.0	1.9	1.9	1.9	1.7		
	総計	利用者延べ人員	181	181	165	175	164	155	138	
		1日当たり利用人員	7.0	6.7	6.6	6.5	6.1	6.2	5.1	
		予防割合(%)	—	—	—	1.7	3.1	2.6	2.2	
		稼働率(%)	69.6	67.0	66.0	64.8	60.7	62.0	51.1	
	総計	平均要介護度	2.0	1.9	2.0	1.9	1.9	1.9	1.7	
総計(延べ人員)		181	181	165	175	164	155	138		
1日当たり利用人員総計		7.0	6.7	6.6	6.5	6.1	6.2	5.1		
予防割合(%)		—	—	—	1.7	3.1	2.6	2.2		

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	26日間	308日間	25.7日間
	—	—	—	—	—	—	—
	1	1	1	1	1	9	0.8
	1	1	1	1	1	9	0.8
	5	5	8	7	9	49	4.1
	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4		0.2
	9	8	7	7	6	106	8.8
	2	3	4	4	4	43	3.6
	3	3	4	5	4	38	3.2
	1	1	1	—	—	5	0.4
	—	—	—	—	—	11	0.9
	—	—	—	—	—	—	—
	15.0	15.0	16.0	16.0	14.0	203	16.9
	129	116	118	117	111	1,735	144.6
	5.0	4.8	4.9	4.9	4.4		5.6
	1.7	1.8	1.9	1.9	1.9		1.9
	134	121	126	124	120	1,784	148.7
	5.2	5.0	5.3	5.2	4.8		5.8
	3.9	4.3	6.8	6.0	8.1		3.2
	51.5	50.4	52.5	51.7	48.0		58.0
	1.7	1.8	1.9	1.9	1.9		1.9
	134	121	126	124	120	1,784	148.7
	5.2	5.0	5.3	5.2	4.8		5.8
	3.9	4.3	6.8	6.0	8.1		3.2

小山の家

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	26日間	27日間	25日間	27日間	27日間	25日間	27日間	
短時間・障害者延べ人員			—	—	—	—	—	—	—	
その他利用			—	—	—	—	—	—	—	
身近でトレーニング	日数		—	—	—	—	—	—	—	
	実人員		—	—	—	—	—	—	—	
	延べ人数		—	—	—	—	—	—	—	
	1日当たり利用人員		—	—	—	—	—	—	—	
送迎	基本デイサービス		—	—	—	—	—	—	—	
	認知症デイサービス		360	354	323	342	324	310	276	
	総合事業		—	—	—	—	—	—	—	
	乗車延べ人数合計		360	354	323	342	324	310	276	
	1日当たり利用人員		13.8	13.1	12.9	12.7	12.0	12.4	10.2	
入浴	日数		26日間	27日間	25日間	27日間	27日間	25日間	26日間	
	総合	実利用者		—	—	—	—	—	—	—
		延べ人数		—	—	—	—	—	—	—
	基本	実利用者		—	—	—	—	—	—	—
		延べ人数		—	—	—	—	—	—	—
	認知	実利用者		12	12	10	9	10	10	10
		延べ人数		77	70	65	60	69	63	48
	1日当たり利用人員		3.0	2.6	2.6	2.2	2.6	2.5	1.8	
	訓練	機能訓練延べ人数		—	—	—	—	—	—	—
1日当たり利用人員			—	—	—	—	—	—	—	
配食	配食延べ人数		—	—	—	—	—	—	—	
	1日当たり利用人員		—	—	—	—	—	—	—	

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	26日間	308日間	25.7日間
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	257	241	246	245	240	3,518	293.2
	—	—	—	—	—	—	—
	257	241	246	245	240	3,518	293.2
	9.9	10.0	10.3	10.2	9.6	—	11.4
	26日間	24日間	24日間	24日間	25日間	307日間	25.6日間
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	9	9	10	9	10	120	10.0
	52	51	56	50	69	730	60.8
	2.0	2.1	2.3	2.1	2.8	—	2.4
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—

②短期入所生活介護事業（ショートステイ）

成幸ショートステイ月別利用状況（定員16名）

区 分	合計人数	延利用日数	1日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4月	4	33	1.1	10	6.9
5月	6	50	1.6	12	10.1
6月	6	44	1.5	11	9.2
7月	4	25	0.8	7	5.0
8月	7	58	1.9	12	11.7
9月	6	34	1.1	10	7.1
10月	7	52	1.7	9	10.5
11月	5	39	1.3	8	8.1
12月	4	18	0.6	8	4.0
1月	5	21	0.8	8	4.7
2月	7	59	2.1	11	13.2
3月	7	55	1.8	10	11.1
R6年度 合 計	68	488	1.4	116	8.6
R5年度 合 計	87	823	2.4	165	14.2
R4年度 合 計	93	763	2.1	171	13.3

年間要介護度別利用状況				平均要介護度 2.8
区 分	人 数	%	延べ日数	
要 支 援 1	—	—	—	平均稼働率 8.6%
要 支 援 2	11	16.2	57	
要 介 護 1	6	8.8	38	
要 介 護 2	13	19.1	125	
要 介 護 3	19	27.9	146	
要 介 護 4	16	23.5	106	
要 介 護 5	—	—	—	
申 請 中	3	4.4	16	
合 計	68	100.0	488	

戸越台ショートステイ月別利用状況（定員8名）

区 分	合計人数	延利用日数	1日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4月	8	56	1.5	18	23.3
5月	8	70	1.9	18	28.2
6月	7	71	2.1	11	29.6
7月	14	98	2.7	19	39.5
8月	16	92	2.4	33	37.1
9月	17	117	3.3	29	48.8
10月	14	115	3.2	27	46.4
11月	14	120	3.7	25	50.0
12月	15	119	3.4	23	48.0
1月	11	118	3.5	14	47.6
2月	9	80	2.5	16	35.7
3月	10	99	2.9	18	39.9
R6年度 合 計	143	1,155	2.8	251	39.6
R5年度 合 計	127	977	7.8	184	33.4
R4年度 合 計	139	1,112	8.0	190	38.1

年間要介護度別利用状況			
区 分	人 数	%	延べ日数
要 支 援 1	—	—	—
要 支 援 2	7	4.9	33
要 介 護 1	41	28.7	316
要 介 護 2	33	23.1	266
要 介 護 3	36	25.2	366
要 介 護 4	15	10.5	123
要 介 護 5	7	4.9	38
申 請 中	4	2.8	13
合 計	143	100.0	1,155

平均要介護度
2.3

平均稼働率
39.6%

荏原ショートステイ月別利用状況（定員30名）

区 分	合計人数	延利用日数	1日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4月	63	523	17.4	116	72.6
5月	71	605	19.5	139	81.3
6月	69	559	18.6	127	77.6
7月	61	446	14.4	107	59.9
8月	72	626	20.2	147	84.1
9月	72	580	19.3	145	80.6
10月	79	667	21.5	186	89.7
11月	83	650	21.7	165	90.3
12月	74	628	20.3	149	84.4
1月	66	532	17.2	126	71.5
2月	62	497	17.8	123	74.0
3月	69	611	19.7	131	82.1
R6年度 合 計	841	6,924	19.0	1,661	79.0
R5年度 合 計	962	8,267	22.6	1,618	76.5
R4年度 合 計	940	8,536	23.4	1,641	77.9

年間要介護度別利用状況				平均要介護度
区 分	人 数	%	延べ日数	
要 支 援 1	6	0.7	21	2.3
要 支 援 2	58	6.9	413	
要 介 護 1	238	28.3	1,984	
要 介 護 2	213	25.3	1,756	平均稼働率 79.0%
要 介 護 3	182	21.6	1,511	
要 介 護 4	101	12.0	783	
要 介 護 5	21	2.5	247	
申 請 中	22	2.6	209	
合 計	841	100.0	6,924	

*令和6年3月～ 大規模改修工事に伴い、定員変更30名→24名

平塚橋ショートステイ月別利用状況（定員12名）

区 分	合計人数	延利用日数	1日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4月	24	170	5.7	60	47.2
5月	23	170	4.7	61	45.7
6月	22	150	4.3	56	41.6
7月	27	186	5.1	64	50.0
8月	25	162	6.0	71	43.5
9月	30	205	5.8	69	56.9
10月	29	189	6.0	71	50.8
11月	26	168	5.6	59	46.6
12月	25	193	6.2	66	51.8
1月	23	185	5.9	49	49.7
2月	23	166	5.9	49	49.4
3月	29	248	8.0	64	66.6
R6年度 合 計	306	2,192	5.8	739	50.8
R5年度 合 計	264	1,696	4.7	620	39.4
R4年度 合 計	218	1,589	3.9	422	36.8

年間要介護度別利用状況			
区 分	人 数	%	延べ日数
要 支 援 1	3	2.8	22
要 支 援 2	48	16.9	299
要 介 護 1	80	29.6	528
要 介 護 2	65	22.5	382
要 介 護 3	35	12.7	177
要 介 護 4	27	7.0	228
要 介 護 5	48	8.5	556
申 請 中	—	—	—
合 計	306	100.0	2,192

平均要介護度
2.6

平均稼働率
50.8%

(2) 機能訓練

① 訓練内容

(単位：件)

	成 幸	戸越台	荏 原
関節可動域訓練	3,184	3,419	2,976
上下肢筋力強化	3,185	2,929	586
起居動作訓練	—	—	4
トランスファー訓練	—	—	—
立位・歩行訓練	3,133	7,370	1,521
歩行器・車椅子操作指導	340	—	—
マ ッ サ ー ジ	69	62	11
集 団 体 操	2,890	7,370	2,754
レクリエーション	2,859	7,370	2,712

(3) 食事サービス (ショートステイ・デイサービス・配食)

① 喫食者の個別対応

(単位：人)

項 目	成 幸			戸越台			荏 原			平塚橋
	シ ョ ー ト	デ イ	配 食	シ ョ ー ト	デ イ	配 食	シ ョ ー ト	デ イ	配 食	シ ョ ー ト
定 員	16	30	—	8	40	—	24	50	—	12
療 養 食	1	5	—	15	11	2	—	9	1	1
摂食障害	16	1	1	23	4	1	21	4	1	4
摂食嚥下	4	8	—	41	34	—	259	24	2	—
機能障害	2	6	—	30	22	—	277	24	—	11

(4) 健康管理

※D. S. はデイサービス、S. S. はショートステイ

①受診及び入院状況

(単位：人)

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋
	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	S. S.
受 診	—	2	—	7	—	19	2
入 院	—	—	—	1	—	6	1

②入院時病名

(単位：人)

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋
	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	S. S.
肺 炎	—	—	—	—	—	—	—
心 疾 患	—	—	—	—	—	—	—
脳 卒 中	—	—	—	—	—	—	—
骨 折	—	—	—	—	—	1	—
脱 水 ・ 発 熱	—	—	—	—	—	4	—
そ の 他	—	—	—	—	—	1	1
救急車依頼回数	—	—	—	—	—	6	1

③医器処置者数

(単位：人)

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋
	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	S. S.
バルーンカテーテル	—	—	3	3	1	1	3
ス ト マ ー	—	—	1	1	—	—	1
貼 付 薬	7	2	6	2	1	10	5
ペースメーカー	3	—	1	—	—	2	2
酸素吸入	1	—	3	—	—	1	—
人工透析	2	—	3	—	2	—	—
胃 ろ う	1	—	1	—	1	—	1
インシュリン注射	—	—	2	—	1	3	3
血糖値チェック	—	—	—	—	2	2	2
皮 下 注 射	—	—	—	1	—	—	3

(5) 栄養調理

①三徳会元気クッキング（地域貢献活動）

平塚橋ゆうゆうプラザ、荏原文化センターにおいて料理教室を開催した。多世代の地域住民同士の交流を通して健康や食生活の関心を引き出し、栄養相談や情報提供を行った。

通算回数 参加人数 開催場所	日 時	テーマ及び実習内容
第162回 14人 平塚橋ゆうゆうプラザ	令和6年 7月30日 火曜日	「骨活！カルシウムアップ！」 ・おさかなチリコンカン ・モロヘイヤトロトロスープ ・グリーンサラダヨーグルトソース ・白玉デザート
第163回 10人 荏原文化センター	令和6年 11月29日 金曜日	「筋活！貯筋を意識していきましょう」 ・野菜入りスタミナ丼 ・具だくさん汁 ・柿サラダ ・きなこヨーグルト
第164回 12人 平塚橋ゆうゆうプラザ	令和7年 2月11日 火曜日	「親子で楽しいおやつ作り！」 ・やきまんじゅう ・マシュマロチョコプリン ・おかずクレープ ・コーンスープ
第165回 12人 平塚橋ゆうゆうプラザ	令和7年 3月29日 土曜日	「温活×腸活で免疫力アップ！」 ・きのこたっぷり!!関西風具だくさんうどん ・味噌ドレッシングサラダ ・甘酒フルーツヨーグルト

3. 在宅介護支援センター

(1) 年間利用者状況

(成 幸)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		20	28	17	24	23	15
要介護認定		33	59	41	28	33	31
基本チェックリスト		—	—	—	—	1	—
訪問 サービス	訪問介護	3	—	—	—	1	3
	訪問看護	—	—	1	1	1	1
	その他	1	—	—	1	—	2
通所 サービス	通所介護	4	3	1	3	6	2
	通所リハビリテーション	—	—	—	—	—	—
短期入所		1	1	—	2	—	—
福祉用具	貸与	1	8	3	3	8	1
	購入	—	1	—	—	—	—
住宅改修		1	6	3	4	1	2
(看護)小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	1	—
総合事業サービス		—	1	1	—	1	—
一般介護予防事業		—	—	—	1	—	—
区独自サービス		—	—	2	1	—	—
施設 サービス	特別養護老人ホーム	1	—	—	1	1	—
	老人保健施設	—	—	—	—	1	1
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	1	—	1	—	—
	特定施設入居者生活介護	—	—	—	2	1	—
	その他	1	—	1	—	1	1
医療・保健・健康相談		12	14	10	10	7	15
認知症		2	2	3	2	3	4
成年後見		1	—	2	—	—	—
虐待		—	—	2	1	1	2
安否確認		2	—	1	1	—	2
苦情		—	—	—	—	—	—
経済的問題		—	—	1	2	—	—
家族問題		—	1	—	—	2	2
その他		1	6	6	8	17	2
訪問相談		921	975	950	1,020	992	1,050
月計		1,005	1,106	1,045	1,116	1,102	1,136

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	20	15	16	40	30	35	283	23.6
	52	46	30	34	40	21	448	37.3
	—	—	—	—	1	—	2	0.2
	5	2	—	2	—	1	17	1.4
	—	3	2	7	2	3	21	1.8
	1	—	—	—	—	—	5	0.4
	5	7	2	6	2	1	42	3.5
	—	—	1	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	4	0.3
	6	9	1	4	9	3	56	4.7
	1	—	—	—	—	1	3	0.3
	2	2	1	—	2	5	29	2.4
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	1	—	1	4	9	0.8
	—	1	—	—	—	—	2	0.2
	—	1	—	2	—	2	8	0.7
	—	1	—	3	1	1	9	0.8
	—	—	1	—	—	—	3	0.3
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	5	2	1	—	11	0.9
	—	1	—	1	3	2	11	0.9
	14	9	10	14	9	7	131	10.9
	6	1	4	2	1	—	30	2.5
	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	1	—	—	—	—	—	7	0.6
	—	—	3	—	2	1	12	1.0
	—	1	—	—	—	1	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	—	—	1	—	—	—	6	0.5
	2	3	2	3	4	3	57	4.8
	1,039	879	885	857	879	813	11,260	938.3
	1,154	981	965	977	987	904	12,478	1039.8

(戸越台)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		12	13	6	9	8	9
要介護認定		44	53	48	38	50	49
基本チェックリスト		—	1	2	1	—	—
訪問 サービス	訪問介護	3	—	1	—	—	—
	訪問看護	1	1	2	1	—	—
	その他	—	—	1	—	—	—
通所 サービス	通所介護	11	1	4	4	—	—
	通所リハビリテーション	—	—	—	—	—	—
短期入所		—	—	—	1	2	—
福祉用具	貸与	5	8	2	—	—	1
	購入	—	1	—	—	—	1
住宅改修		—	1	—	—	—	—
(看護)小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	—	—
総合事業サービス		2	2	—	—	—	—
一般介護予防事業		—	—	1	—	—	—
区独自サービス		1	7	3	2	5	—
施設 サービス	特別養護老人ホーム	1	—	—	—	3	—
	老人保健施設	1	—	1	1	—	1
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	—
	特定施設入居者生活介護	—	—	—	1	—	—
	その他	—	—	1	—	—	—
医療・保健・健康相談		11	18	19	17	15	7
認知症		3	—	2	4	—	1
成年後見		—	—	—	—	—	—
虐待		2	1	—	—	—	2
安否確認		—	—	—	2	2	—
苦情		—	—	—	—	—	—
経済的問題		—	—	—	—	—	—
家族問題		—	—	2	—	—	1
その他		—	—	1	—	—	—
訪問相談		651	606	598	762	719	558
月計		748	713	694	843	804	630

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	3	7	15	8	5	12	107	8.9
	29	47	49	44	41	30	522	43.5
	—	1	1	—	—	—	6	0.5
	—	2	1	—	—	—	7	0.6
	—	—	1	4	—	—	10	0.8
	—	—	—	3	—	—	4	0.3
	3	1	3	7	1	2	37	3.1
	—	—	—	—	—	1	1	0.1
	—	—	2	—	—	—	5	0.4
	2	3	5	5	7	6	44	3.7
	3	1	—	4	—	—	10	0.8
	4	2	—	3	—	—	10	0.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	—	—	—	—	5	0.4
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	2	1	1	1	—	23	1.9
	—	1	1	3	2	3	14	1.2
	—	—	—	—	1	—	5	0.4
	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	4	—	—	4	—	11	0.9
	—	—	—	—	1	—	2	0.2
	15	11	20	28	10	16	187	15.6
	—	1	1	1	4	—	17	1.4
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	1	5	—	—	11	0.9
	3	—	1	2	1	1	12	1.0
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	6	2	—	—	8	0.7
	2	1	1	2	—	1	10	0.8
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	794	609	616	626	592	635	7,766	647.2
	860	694	725	748	670	707	8,836	736.3

(杜 松)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		30	27	26	21	33	36
要介護認定		25	40	41	41	55	40
基本チェックリスト		1	—	—	—	—	3
訪問 サービス	訪問介護	2	—	7	2	3	4
	訪問看護	1	8	2	10	8	—
	その他	—	1	—	1	—	—
通所 サービス	通所介護	7	1	4	4	5	10
	通所リハビリテーション	—	—	2	—	—	—
短期入所		5	1	—	2	—	—
福祉用具	貸与	5	10	3	8	2	2
	購入	—	2	—	—	—	—
住宅改修		3	4	3	—	1	6
(看護)小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	—	—
総合事業サービス		—	—	—	—	—	—
一般介護予防事業		1	2	—	1	—	—
区独自サービス		—	—	1	2	2	—
施設 サービス	特別養護老人ホーム	1	—	—	—	1	1
	老人保健施設	—	—	—	—	—	2
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	1	—	—	—	—	—
	特定施設入居者生活介護	1	—	1	1	1	1
	その他	—	1	—	—	—	—
医療・保健・健康相談		13	30	26	27	31	23
認知症		4	1	3	2	—	3
成年後見		—	—	—	—	—	—
虐待		—	—	—	—	—	—
安否確認		2	—	4	2	4	3
苦情		—	—	—	—	—	—
経済的問題		—	—	—	—	1	—
家族問題		—	—	1	—	—	—
その他		3	3	3	3	4	2
訪問相談		1,142	1,120	1,105	1,147	1,121	1,189
月計		1,247	1,251	1,232	1,274	1,272	1,325

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	30	15	20	23	29	24	314	26.2
	19	28	35	41	21	11	397	33.1
	—	—	—	1	—	—	5	1.7
	—	2	2	1	2	3	28	2.8
	5	3	5	—	1	—	43	4.8
	2	2	2	—	—	—	8	1.6
	7	2	2	10	1	2	55	4.6
	—	—	—	—	—	—	2	2.0
	—	—	1	4	—	—	13	2.6
	5	3	3	3	3	4	51	4.3
	—	1	1	1	—	—	5	1.3
	—	4	1	—	2	1	25	2.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	—	—	—	—	1	2	1.0
	—	—	—	—	—	—	4	1.3
	—	3	1	2	—	1	12	1.7
	—	1	—	1	2	—	7	1.2
	1	—	—	—	—	—	3	1.5
	—	—	—	—	—	—	1	1.0
	—	—	1	—	1	—	7	1.0
	—	—	—	—	1	—	2	1.0
	20	13	37	17	6	17	260	21.7
	1	1	—	1	1	2	19	1.9
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	2	—	—	2	2.0
	—	—	2	2	1	2	22	2.4
	—	—	—	—	—	1	1	1.0
	—	—	—	—	—	—	1	1.0
	1	2	2	—	—	1	7	1.4
	—	1	—	1	1	2	23	2.3
	1,170	1,065	1,134	1,136	1,050	1,109	13,488	1124.0
	1,262	1,146	1,249	1,246	1,122	1,181	14,807	1233.9

(荏原)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		3	4	2	6	14	18
要介護認定		20	34	17	29	23	25
基本チェックリスト		—	—	—	—	—	—
訪問サービス	訪問介護	2	1	1	—	2	—
	訪問看護	—	—	—	—	1	1
	その他	—	—	—	—	—	—
通所サービス	通所介護	4	4	3	—	2	1
	通所リハビリテーション	—	—	—	—	—	—
短期入所		—	—	—	—	—	—
福祉用具	貸与	4	1	4	3	2	2
	購入	—	1	—	—	—	—
住宅改修		1	1	3	1	—	—
(看護)小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	—	—
総合事業サービス		1	—	—	—	—	—
一般介護予防事業		—	—	—	—	—	—
区独自サービス		1	2	1	—	1	1
施設サービス	特別養護老人ホーム	—	—	—	1	—	—
	老人保健施設	—	—	—	—	1	—
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	—
	特定施設入居者生活介護	—	—	—	—	—	1
	その他	2	—	—	1	1	—
医療・保健・健康相談		13	8	5	10	9	5
認知症		1	3	1	3	2	—
成年後見		—	—	—	—	—	—
虐待		—	—	—	—	—	—
安否確認		3	2	—	1	—	1
苦情		—	—	—	—	—	—
経済的問題		—	—	—	—	—	—
家族問題		—	—	—	—	—	—
その他		1	3	2	—	1	—
訪問相談		871	872	865	893	830	839
月計		927	936	904	948	889	894

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	4	2	2	7	13	3	78	6.5
	22	20	22	32	25	11	280	23.3
	—	2	—	—	1	—	3	1.5
	4	—	1	4	—	—	15	2.1
	3	1	—	1	—	—	7	1.4
	—	1	—	1	—	—	2	1.0
	1	1	1	1	4	4	26	2.4
	—	—	—	2	—	—	2	2.0
	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	2	1	—	2	2	26	2.4
	—	1	—	1	—	—	3	1.0
	2	—	—	—	2	1	11	1.6
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	—	—	—	1	—	3	1.0
	—	—	—	1	—	—	1	1.0
	—	—	—	1	1	—	8	1.1
	—	—	—	—	—	—	1	1.0
	—	—	—	—	—	—	1	1.0
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	—	—	—	—	—	2	1.0
	—	—	—	1	1	—	6	1.2
	7	5	7	4	2	3	78	6.5
	1	3	—	3	6	4	27	2.7
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	1	1	1.0
	—	—	1	—	—	—	8	1.6
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	3	3	3.0
	—	—	3	1	2	—	6	2.0
	1	—	—	—	1	3	12	1.7
	849	804	888	845	848	823	10,227	852.3
	899	842	926	905	909	858	10,837	903.1

(小 山)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		29	28	28	26	23	28
要介護認定		34	38	29	56	37	34
基本チェックリスト		—	3	—	—	1	—
訪問 サービス	訪問介護	—	5	—	4	2	1
	訪問看護	3	—	1	1	4	1
	その他	—	—	—	1	1	—
通所 サービス	通所介護	8	3	3	7	4	8
	通所リハビリテーション	2	—	2	—	—	—
短期入所		—	—	2	—	—	—
福祉用具	貸与	15	4	5	9	6	6
	購入	—	—	1	2	—	1
住宅改修		2	—	1	6	3	—
(看護) 小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	2	1
総合事業サービス		2	—	—	—	2	—
一般介護予防事業		—	—	—	1	2	—
区独自サービス		1	—	2	1	—	1
施設 サービス	特別養護老人ホーム	—	—	—	1	1	—
	老人保健施設	2	—	—	1	2	2
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	—
	特定施設入居者生活介護	3	3	—	4	2	—
	その他	3	—	1	—	7	10
医療・保健・健康相談		25	17	27	25	20	21
認知症		3	2	3	7	9	4
成年後見		1	1	—	4	—	2
虐待		—	—	—	—	—	—
安否確認		—	3	1	3	—	—
苦情		—	1	—	—	1	—
経済的問題		3	—	1	1	2	1
家族問題		1	1	—	—	1	2
その他		1	2	5	2	5	—
訪問相談		830	565	677	702	805	851
月計		968	676	789	864	942	974

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	37	21	22	21	25	28	316	26.3
	46	29	41	33	39	32	448	37.3
	3	—	—	—	—	—	7	2.3
	6	1	—	6	2	3	30	3.3
	—	2	1	4	3	3	23	2.3
	—	1	—	1	—	—	4	1.0
	3	3	4	3	4	4	54	4.5
	—	—	—	—	2	—	6	2.0
	—	—	—	—	—	1	3	1.5
	13	9	4	4	2	5	82	6.8
	—	—	—	1	—	1	6	1.2
	6	1	1	5	4	1	30	3.0
	—	—	—	—	—	—	3	1.5
	—	—	—	—	1	—	5	1.7
	—	1	—	—	—	—	4	1.3
	3	4	—	2	4	2	20	2.2
	—	—	—	—	9	2	13	3.3
	2	—	—	—	—	—	9	1.8
	—	—	—	3	—	—	3	3.0
	2	6	3	4	2	2	31	3.1
	7	—	2	2	1	1	34	3.8
	20	19	15	26	28	24	267	22.3
	5	3	4	3	5	—	48	4.4
	1	—	4	3	—	—	16	2.3
	—	—	1	2	4	—	7	2.3
	2	5	1	3	3	1	22	2.4
	1	—	—	—	—	—	3	1.0
	1	—	—	2	—	—	11	1.6
	4	1	1	1	—	1	13	1.4
	1	—	—	—	—	—	16	2.7
	845	—	841	877	—	—	6,993	777.0
	1,008	106	945	1,006	138	111	8,527	710.6

(小山台)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		10	18	14	4	11	8
要介護認定		27	19	25	24	25	15
基本チェックリスト		—	—	—	—	—	—
訪問サービス	訪問介護	2	1	2	—	—	—
	訪問看護	2	3	1	—	—	—
	その他	—	—	—	2	1	2
通所サービス	通所介護	3	6	—	2	2	2
	通所リハビリテーション	—	—	—	—	—	—
短期入所		1	—	2	—	—	—
福祉用具	貸与	4	7	2	7	1	2
	購入	—	—	—	—	1	3
住宅改修		2	1	2	—	3	1
(看護)小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	—	—
総合事業サービス		—	—	—	—	—	—
一般介護予防事業		—	—	—	—	—	—
区独自サービス		1	1	—	—	—	2
施設サービス	特別養護老人ホーム	—	—	1	1	4	—
	老人保健施設	—	—	—	—	—	—
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	1	—
	特定施設入居者生活介護	3	—	—	—	—	1
	その他	—	—	1	1	1	3
医療・保健・健康相談		9	14	8	10	14	13
認知症		1	1	1	—	—	—
成年後見		—	—	—	—	—	—
虐待		—	2	1	—	—	1
安否確認		—	—	—	1	—	1
苦情		—	—	—	1	—	—
経済的問題		—	—	1	—	—	—
家族問題		—	1	—	—	—	—
その他		2	—	1	—	2	2
訪問相談		735	514	664	655	584	537
月計		802	588	726	708	650	593

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	17	18	8	6	11	3	128	10.7
	23	31	18	25	13	23	268	22.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	—	—	3	—	9	0.8
	—	1	—	—	3	—	10	0.8
	—	—	1	—	—	—	6	0.5
	1	4	5	3	6	2	36	3.0
	—	—	—	—	1	—	1	0.1
	1	—	—	—	2	—	6	0.5
	3	3	2	5	1	6	43	3.6
	—	—	1	2	—	—	7	0.6
	2	—	—	4	1	1	17	1.4
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	1	—	—	1	0.1
	1	1	1	—	—	—	7	0.6
	—	—	—	1	2	—	9	0.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	2	1	—	1	5	13	1.1
	1	—	—	—	7	2	16	1.3
	15	12	11	22	32	22	182	15.2
	1	—	—	1	1	1	7	0.6
	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	2	3	3	2	17	1.4
	—	—	—	—	—	2	4	0.3
	—	—	—	1	2	—	4	0.3
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	1	—	—	—	1	1	4	0.3
	—	—	1	—	1	1	10	0.8
	763	636	620	728	794	729	7,959	663.3
	832	709	671	802	885	800	8,766	730.5

(2) 介護保険利用者状況

(成 幸)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
相談	時間外相談対応	11	24	15	18	10	13		
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	56	57	63	60	57	61	
		居宅支援Ⅰ 2	41	38	38	42	39	42	
		居宅介護支援合計	97	95	101	102	96	103	
		初回加算	6	5	7	5	5	10	
		特定事業所加算Ⅱ	—	—	—	—	—	—	
		特定事業所加算Ⅲ	97	95	101	102	96	103	
		特定事業所医療介護連携加算	—	—	—	—	—	—	
		入院時情報連携加算Ⅰ	4	4	4	4	2	3	
		入院時情報連携加算Ⅱ	1	—	1	3	1	—	
		退院退所加算Ⅰイ	3	1	1	1	3	3	
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	—	—	1	—	
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		通院時情報連携加算	1	—	—	1	—	—	
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—	
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	—	—	—	—	
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—	
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—		
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	179	171	179	181	180	175	
介護予防支援・初回		6	6	9	7	8	2		
総合事業	b 原則型マネジメント	101	102	101	93	87	88		
	c 簡略型マネジメント	17	18	21	18	16	20		
	d 初回型マネジメント	—	1	—	—	—	1		
	初回加算	7	3	3	1	—	7		
	介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	118	121	122	111	103	109		
	介護予防支援・原則型合計(a+b)	280	273	280	274	267	263		
	介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	297	291	301	292	283	283		
調査	認定調査	48	46	44	34	33	22		
実態把握	介護給付	23	22	22	16	19	9		
	予防給付・介護予防	33	26	21	24	22	16		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	8	17	6	13	10	13	158	13.2
	65	48	46	47	41	41	642	53.5
	39	36	30	23	26	24	418	34.8
	104	84	76	70	67	65	1,060	88.3
	8	7	5	4	5	4	71	5.9
	—	—	—	—	—	—	—	—
	104	84	76	70	67	65	1,060	88.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	2	5	—	2	2	33	2.8
	—	2	5	3	1	2	19	1.6
	1	—	1	1	—	1	16	1.3
	—	—	—	1	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	1	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	—	—	—	—	3	0.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	—	1	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	176	185	185	184	178	177	2,150	179.2
	8	7	7	7	7	5	79	6.6
	86	89	80	82	79	89	1,077	89.8
	21	16	15	18	19	19	218	18.2
	—	—	—	—	—	1	3	0.3
	3	—	3	4	2	7	40	3.3
	107	105	95	100	98	109	1,298	108.2
	262	274	265	266	257	266	3,227	268.9
	283	290	280	284	276	285	3,445	287.1
	39	37	34	34	34	12	417	34.8
	17	21	11	14	22	5	201	16.8
	29	27	33	25	14	6	276	23.0

(戸越台)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
相談	時間外相談対応	7	18	6	7	20	18		
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	72	77	73	71	65	61	
		居宅支援Ⅰ 2	33	27	29	26	30	41	
		居宅介護支援合計	105	104	102	97	95	102	
		初回加算	4	7	2	6	7	4	
		特定事業所加算Ⅱ	—	—	—	—	—	—	
		特定事業所加算Ⅲ	105	104	102	97	95	102	
		特定事業所医療介護連携加算	—	—	—	—	—	—	
		入院時情報連携加算Ⅰ	4	5	3	1	4	3	
		入院時情報連携加算Ⅱ	—	—	—	2	—	—	
		退院退所加算Ⅰイ	3	—	2	1	1	2	
		退院退所加算Ⅰロ	—	1	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		通院時情報連携加算	1	1	—	1	—	—	
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—	
		ターミナルケアマネジメント加算	1	—	—	—	—	—	
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—	
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—		
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	98	102	103	103	98	103	
介護予防支援・初回		1	5	3	4	—	8		
総合事業	b 原則型マネジメント	58	64	56	65	62	64		
	c 簡略型マネジメント	12	11	12	12	12	12		
	d 初回型マネジメント	—	—	—	—	—	—		
	初回加算	2	4	2	6	2	3		
	介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	70	75	68	77	74	76		
	介護予防支援・原則型合計(a+b)	156	166	159	168	160	167		
	介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	168	177	171	180	172	179		
調査	認定調査	32	33	32	29	33	33		
実態把握	介護給付	21	19	20	9	16	12		
	予防給付・介護予防	16	16	17	19	16	13		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	15	18	8	19	22	13	171	14.3
	63	61	62	61	68	63	797	66.4
	37	35	36	31	27	31	383	31.9
	100	96	98	92	95	94	1,180	98.3
	4	3	6	1	8	10	62	5.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	100	96	98	92	95	94	1,180	98.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	6	5	5	1	6	45	3.8
	4	1	1	3	1	2	14	1.2
	2	—	2	1	—	—	14	1.2
	—	2	—	1	1	—	5	0.4
	—	—	—	—	—	1	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	—	1	—	—	5	0.4
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	97	95	101	95	94	102	1,191	99.3
	1	4	3	3	3	4	39	3.3
	65	63	59	60	61	57	734	61.2
	12	12	12	14	15	14	150	12.5
	—	—	—	—	—	1	1	0.1
	1	1	2	4	4	2	33	2.8
	77	75	71	74	76	72	885	73.8
	162	158	160	155	155	159	1,925	160.4
	174	170	172	169	170	173	2,075	172.9
	17	21	37	21	28	19	335	27.9
	12	22	16	8	28	12	195	16.3
	11	18	9	12	30	12	189	15.8

(杜 松)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
相談	時間外相談対応	4	—	4	1	2	4		
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	56	60	60	60	54	57	
		居宅支援Ⅰ 2	38	38	36	36	51	41	
		居宅介護支援合計	94	98	96	96	105	98	
		初回加算	7	6	9	4	8	5	
		特定事業所加算Ⅱ	—	—	—	—	—	—	
		特定事業所加算Ⅲ	94	98	96	96	105	98	
		特定事業所医療介護連携加算	—	—	—	—	—	—	
		入院時情報連携加算Ⅰ	5	11	6	5	1	7	
		入院時情報連携加算Ⅱ	—	1	—	1	1	—	
		退院退所加算Ⅰイ	1	1	—	—	3	1	
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	1	1	1	—	
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		通院時情報連携加算	—	—	—	—	—	—	
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—	
		ターミナルケアマネジメント加算	—	1	—	1	—	1	
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—	
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—		
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	156	163	153	156	160	158	
介護予防支援・初回		5	6	4	5	4	5		
総合事業	b 原則型マネジメント	60	61	62	64	67	71		
	c 簡略型マネジメント	28	22	24	21	22	21		
	d 初回型マネジメント	—	—	—	—	—	—		
	初回加算	6	3	2	6	4	5		
	介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	88	83	86	85	89	92		
	介護予防支援・原則型合計(a+b)	216	224	215	220	227	229		
	介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	244	246	239	241	249	250		
調査	認定調査	34	40	31	35	41	34		
実態把握	介護給付	19	16	18	9	23	26		
	予防給付・介護予防	25	18	16	18	31	28		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	3	4	2	1	2	3	30	2.5
	52	53	51	57	54	60	674	56.2
	42	40	36	34	31	27	450	37.5
	94	93	87	91	85	87	1,124	93.7
	3	5	2	4	1	7	61	5.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	94	93	87	91	85	87	1,124	93.7
	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	6	7	4	9	5	72	6.0
	—	—	1	3	2	1	10	0.8
	—	—	2	—	—	—	8	0.7
	—	1	—	—	—	—	4	0.3
	1	—	—	1	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	—	—	1	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	162	169	170	178	169	169	1,963	163.6
	2	3	8	11	4	4	61	5.1
	67	67	58	59	62	58	756	63.0
	21	21	22	20	18	20	260	21.7
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	9	—	1	5	—	42	3.5
	88	88	80	79	80	78	1,016	84.7
	229	236	228	237	231	227	2,719	226.6
	250	257	250	257	249	247	2,979	248.3
	45	33	34	37	32	15	411	34.3
	21	15	18	23	30	19	237	19.8
	26	32	16	25	37	27	299	24.9

(荏 原)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
相談	時間外相談対応	8	23	14	6	10	12		
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	95	87	86	95	89	85	
		居宅支援Ⅰ 2	33	34	32	35	30	30	
		居宅介護支援合計	128	121	118	130	119	115	
		初回加算	12	4	4	8	6	5	
		特定事業所加算Ⅱ	—	—	—	—	—	—	
		特定事業所加算Ⅲ	128	121	118	130	119	115	
		特定事業所医療介護連携加算	9	1	—	—	—	—	
		入院時情報連携加算Ⅰ	2	3	6	4	—	3	
		入院時情報連携加算Ⅱ	3	5	1	2	2	—	
		退院退所加算Ⅰイ	2	2	4	—	2	3	
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱイ	—	1	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		通院時情報連携加算	2	—	—	—	1	2	
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—	
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	—	—	—	—	
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—	
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—		
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	123	118	121	133	130	131	
介護予防支援・初回		3	4	5	8	5	5		
総合事業	b 原則型マネジメント	46	45	43	42	46	43		
	c 簡略型マネジメント	7	7	7	8	7	6		
	d 初回型マネジメント	1	—	—	—	—	—		
	初回加算	4	1	3	3	6	3		
	介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	54	52	50	50	53	49		
	介護予防支援・原則型合計(a+b)	169	163	164	175	176	174		
	介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	176	170	171	183	183	180		
調査	認定調査	32	21	21	28	31	25		
実態把握	介護給付	10	11	9	16	15	6		
	予防給付・介護予防	5	8	6	8	17	20		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	8	16	10	8	18	12	145	12.1
	88	86	85	81	80	84	1,041	86.8
	31	33	31	29	27	26	371	30.9
	119	119	116	110	107	110	1,412	117.7
	6	4	4	7	6	10	76	6.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	119	119	116	110	107	110	1,412	117.7
	—	—	—	—	—	—	10	5.0
	1	1	2	—	1	3	26	2.6
	1	—	1	2	—	—	17	2.1
	3	—	3	1	—	2	22	2.4
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	—	1	—	—	—	3	1.0
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	1	—	—	—	—	7	1.4
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	131	141	143	143	143	140	1,597	133.1
	4	10	11	6	1	4	66	5.5
	46	44	47	46	43	42	533	44.4
	9	7	8	8	9	8	91	7.6
	—	—	—	—	1	—	2	1.0
	7	—	4	3	1	2	37	3.4
	55	51	55	54	53	50	626	52.2
	177	185	190	189	186	182	2,130	177.5
	186	192	198	197	195	190	2,221	185.1
	37	25	27	30	31	14	322	26.8
	18	14	12	7	11	14	143	11.9
	26	10	10	9	10	18	147	12.3

(小 山)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
相談	時間外相談対応	25	24	25	25	30	30		
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	42	41	42	45	43	44	
		居宅支援Ⅰ 2	22	21	20	25	23	22	
		居宅介護支援合計	64	62	62	70	66	66	
		初回加算	7	2	2	9	2	5	
		特定事業所加算Ⅱ	—	—	—	—	—	—	
		特定事業所加算Ⅲ	64	62	62	70	66	66	
		特定事業所医療介護連携加算	64	62	62	70	66	66	
		入院時情報連携加算Ⅰ	3	1	2	1	1	2	
		入院時情報連携加算Ⅱ	1	3	—	1	1	1	
		退院退所加算Ⅰイ	—	—	3	2	2	1	
		退院退所加算Ⅰロ	1	1	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱイ	—	1	—	—	1	—	
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		通院時情報連携加算	—	—	—	—	—	—	
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—	
		ターミナルケアマネジメント加算	1	—	1	—	1	—	
	看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—		
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—		
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	180	187	184	193	195	198	
介護予防支援・初回		5	9	2	10	9	5		
総合事業	b 原則型マネジメント	61	60	55	59	54	59		
	c 簡略型マネジメント	25	24	19	18	17	14		
	d 初回型マネジメント	2	—	1	—	—	—		
	初回加算	1	3	2	3	4	3		
	介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	88	84	75	77	71	73		
	介護予防支援・原則型合計(a+b)	241	247	239	252	249	257		
	介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	266	271	258	270	266	271		
調査	認定調査	26	46	48	45	33	28		
実態把握	介護給付	14	20	14	9	5	5		
	予防給付・介護予防	33	16	23	12	11	5		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	24	24	24	24	22	17	294	24.5
	45	48	52	54	53	51	560	46.7
	23	19	20	20	19	19	253	21.1
	68	67	72	74	72	70	813	67.8
	5	2	6	4	6	4	54	4.5
	—	—	—	—	—	—	—	—
	68	67	72	74	72	70	813	67.8
	68	67	72	74	72	70	813	67.8
	1	2	—	3	2	4	22	2.0
	1	2	—	1	3	5	19	1.9
	1	2	1	1	—	—	13	1.6
	—	—	—	1	1	—	4	1.0
	—	1	—	—	—	—	3	1.0
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	3	1.0
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	193	193	197	191	194	193	2,298	191.5
	5	8	6	3	8	3	73	6.1
	66	62	64	61	57	59	717	59.8
	15	17	17	16	17	20	219	18.3
	—	—	—	—	—	—	3	1.5
	5	4	1	2	3	3	34	2.8
	81	79	81	77	74	79	939	78.3
	259	255	261	252	251	252	3,015	251.3
	274	272	278	268	268	272	3,234	269.5
	42	34	45	34	48	24	453	37.8
	11	19	16	21	15	2	151	12.6
	50	16	29	20	46	23	284	23.7

(小山台)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
相談	時間外相談対応	3	5	3	1	1	—		
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	56	56	56	62	55	56	
		居宅支援Ⅰ 2	39	34	32	33	35	35	
		居宅介護支援合計	95	90	88	95	90	91	
		初回加算	10	5	3	5	6	5	
		特定事業所加算Ⅱ	—	—	—	—	—	—	
		特定事業所加算Ⅲ	95	90	88	95	90	91	
		特定事業所医療介護連携加算	—	—	—	—	—	—	
		入院時情報連携加算Ⅰ	2	—	1	1	2	—	
		入院時情報連携加算Ⅱ	2	2	—	1	1	1	
		退院退所加算Ⅰイ	2	—	1	—	—	1	
		退院退所加算Ⅰロ	1	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	1	4	—	—	
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		通院時情報連携加算	—	—	—	—	—	—	
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—	
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	—	—	—	—	
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—	
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—		
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	114	113	115	113	111	115	
介護予防支援・初回		5	5	2	5	2	3		
総合事業	b 原則型マネジメント	45	43	41	41	40	39		
	c 簡略型マネジメント	6	6	5	5	6	6		
	d 初回型マネジメント	—	—	—	—	—	—		
	初回加算	2	—	1	—	1	—		
	介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	51	49	46	46	46	45		
	介護予防支援・原則型合計(a+b)	159	156	156	154	151	154		
	介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	165	162	161	159	157	160		
調査	認定調査	23	21	27	24	24	17		
実態把握	介護給付	11	8	6	22	15	6		
	予防給付・介護予防	8	9	11	14	20	16		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	2	2	—	3	4	4	28	2.8
	51	50	57	57	59	52	667	55.6
	30	36	37	30	31	32	404	33.7
	81	86	94	87	90	84	1,071	89.3
	1	4	8	2	5	3	57	4.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	81	86	94	87	90	84	1,071	89.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	1	1	1	13	1.6
	2	1	—	4	1	1	16	1.6
	1	1	1	—	1	—	8	1.1
	—	—	—	—	1	—	2	1.0
	—	—	—	—	—	—	5	2.5
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	116	119	120	119	122	125	1,402	116.8
	2	4	4	3	2	4	41	3.4
	39	39	38	37	33	40	475	39.6
	5	6	9	6	6	6	72	6.0
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	1	1	1	5	13	1.6
	44	45	47	43	39	46	547	45.6
	155	158	158	156	155	165	1,877	156.4
	160	164	167	162	161	171	1,949	162.4
	19	15	18	18	20	12	238	19.8
	14	10	21	11	14	4	142	11.8
	4	9	22	12	6	—	131	11.9

(3) 障害者計画相談支援

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数	身体障害	21	22	22	22	24	25	
	重症心身障害	—	—	—	—	—	—	
	知的障害	5	5	5	5	5	5	
	精神障害	4	4	4	4	4	4	
	発達障害	—	—	—	—	—	—	
	高次脳機能障害	—	—	—	—	1	1	
	その他	—	—	—	—	—	—	
	実人数	30	31	31	31	34	35	
支援方法	訪問	17	15	13	15	19	17	
	来所相談	—	—	—	—	—	—	
	同行	6	3	2	—	—	1	
	電話相談	5	8	3	4	4	5	
	電子メール	—	—	1	1	3	2	
	個別支援会議	—	—	—	—	—	—	
	関係機関	—	—	—	—	1	5	
	その他	—	—	—	—	—	—	
	月計	28	26	19	20	27	30	
支援内容	福祉サービスの利用等	15	15	12	15	16	18	
	障害や病状の理解	5	5	7	5	8	5	
	健康・医療	3	5	3	4	5	5	
	不安の解消・情緒安定	—	—	—	—	—	—	
	保育・教育	—	—	—	—	—	—	
	家族関係・人間関係	—	5	—	—	—	—	
	家計・経済	—	—	—	—	—	—	
	生活技術	2	—	2	2	—	—	
	就労	2	2	2	1	2	1	
	社会参加・余暇活動	1	2	1	1	—	—	
	権利擁護	—	—	—	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	—	—	
月計	28	34	27	28	31	29		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	27	26	27	27	23	22	288	24.0
	—	—	—	—	1	1	2	1.0
	5	5	5	5	5	5	60	5.0
	4	4	4	4	4	4	48	4.0
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	1	1	1	1	1	8	1.0
	—	—	—	5	4	4	13	4.3
	37	36	37	42	38	37	419	34.9
	18	14	16	23	25	28	220	18.3
	2	—	—	1	1	2	6	1.5
	—	2	2	2	3	2	23	2.6
	11	8	10	5	7	8	78	6.5
	1	—	2	—	—	—	10	1.7
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	6	4	8	3	4	31	4.4
	4	—	—	—	—	—	4	4.0
	36	30	34	39	39	44	372	31.0
	21	15	25	24	27	30	233	19.4
	2	2	3	12	10	8	72	6.0
	6	5	5	5	8	8	62	5.2
	—	—	8	—	—	1	9	4.5
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	4	2	2	13	3.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	6	2.0
	1	2	1	2	1	1	18	1.5
	—	—	—	—	—	—	5	1.3
	1	—	1	—	—	—	2	1.0
	—	—	—	—	—	—	—	—
	31	24	43	47	48	50	420	35.0

(4) 認知症サポーター養成事業・認知症サポーターレベルアップ事業

開催日	担当	対象	場所	人数
6.6.4	杜松	東京都美容生活衛生同業組合品川支部	きゅりあん第4講習室	41
6.7.4	戸越台	戸越台中学校1年生	戸越台中学校ランチルーム	83
6.9.7	成幸	東京土建組合品川支部主婦の会	土建組合会館	21
6.10.2	荏原・小山台	荏原第一地区民生委員*	荏原第一地域センター	19
6.10.24	成幸	中延小学校6年生	中延小学校	41
6.10.25	荏原・小山台	品川区民	品川区役所251・252会議室	24
6.12.3	小山	荏原第二地区民生委員*	荏原第二地域センター	15
6.12.9	戸越台・成幸	荏原第三地区民生委員*	荏原第三地域センター	27
7.2.19	戸越台	戸越台中学校9年生*	戸越台中学校ランチルーム	51
7.3.6	荏原・小山台	品川介護福祉専門学校学生	品川介護福祉専門学校	24
7.3.17	杜松	荏原第五地区民生委員*	荏原第五地域センター	18

*はレベルアップ事業

4. 高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）

（1）各事業参加状況

	項目	日・曜日	回数	内容	参加者数
物作り等講座	体操教室	月曜日 (第1・第4)	18	足腰の体操を中心とした体操	384
	らくらく健康体操	水曜日	48	栄養ポイントと体操	883
	クラフトバンド	土曜日 (月1回)	11	クラフトバンドを用いたかご編み等	147
	布ぞうり	水曜日 (第1)	12	布ぞうりの制作	143
	手芸	木曜日 (第1・第3)	22	編み物の制作	143
	親子リトミック	木曜日 (第3)	10	親子でリトミック体操	120
	いきいきリズム体操	土曜日 (第1)	12	リズムに合わせた体操、ストレッチ	205
	母の日似顔絵イベント	4月15日	1	母親の似顔絵制作(ラウンジに展示)	5
	父の日似顔絵イベント	5月11日	1	父親の似顔絵制作(ラウンジに展示)	3
	キッズクラフトバンド	8月7日	1	小学生対象のかご編み講座	10
	初心者向けクラフトバンド講座	5月2日 7月4日 11月7日	3	初心者向けのかご編み講座	14
	書道教室	12月28日	1	小学生対象の書道教室	9
	ミニ作品展	不定期	12	利用者の絵画展・書道・保育園児の絵画・ちぎり絵等	—
高齢者介護等事業	ミニデイ卒業体操	水曜日 (第2・第4)	23	地域ミニデイ卒業対象の体操	36
	つながりサロン	火曜日	50	住民主体の体操、脳トレ	364

その他	もりあげ隊	随時	11	平塚橋ゆうゆうプラザボランティア活動	27
	コーラス	6月12日	1	地域住民のコーラス	50
	荇原消防団採水口給水訓練	7月7日	1	荇原消防団採水口給水訓練見学	1
	浴衣着付け教室	7月13日	1	着付け講師による浴衣着付け	6
	キットパスボランティア	7月21日 11月23日 2月23日	3	キットパス（口に入れても安心なチョーク）を使用して窓ガラスにイラスト制作	11
	eスポーツ交流会	7月31日 2月26日	2	東中延児童センターとのeスポーツ交流	26
	キッズお菓子作り教室	8月3日	1	キッズ向けのアイシングクッキーづくり	9
	コーラスコンサート	8月3日	1	区民のコーラスグループ	51
	荇原平塚学園職場体験	9月12日 13日	1	荇原平塚学園8年生2名職場体験	2
	カラオケ大会	9月14日 15日	1	カラオケ登録団体によるカラオケ大会	216
	コーラスコンサート	10月9日	1	区内で活動中のコーラスグループ	35
	高齢者詐欺講座	10月15日	1	三井住友銀行講師による詐欺講座	16
	コーラスコンサート	10月19日	1	区内小学生の合唱団のコンサート	58
	ゆうゆうプラザまつり	11月10日	1	第一部：登録団体の発表 第二部：子ども縁日・食事相談・パン販売	225
	ボッチャ大会	11月24日 3月2日	2	ボッチャで交流（品川区出前講座）	41
	介護者リフレッシュ教室	11月27日	1	在宅介護者対象のリフレッシュ教室（介護者同士の交流）	3
メイク講座	12月8日	1	メイク講師によるメイク講座	14	

クリスマスイベント	12月21日	1	第一部：コーラスコンサート 第二部：フランドンスショー 「漢字一文字」ピタリ賞発表	118
ゴスペルコンサート	1月18日	1	地域住民によるゴスペルコンサート	78
絵本読み聞かせ・歌	2月1日	1	読み聞かせグループの読み聞かせ・ 歌の発表	32
作品展	2月19日 ～25日	1	登録団体、自主事業講座、特養利用 者の作品発表 (見守りボランティア51名)	—
荏原少年消防発表会	3月16日	1	荏原少年消防団の発表	125
みんなで歌おうコン サート	3月19日	1	ゴスペル講師によるコンサート	36
認知症サポーター養 成講座	3月22日	1	ゆうゆうプラザ受付担当対象 (委託業者)	2
脳活（3種類）	月1回 (塗り絵は 2回)	47	大人の塗り絵・川柳・音楽鑑賞	301

(2) 地域ミニデイ実施状況

開催回数	延べ参加人数
49	357名

(3) 利用者状況

		4月	5月	6月	7月	8月
目的内 利用者数 (高齢者)	男	551	521	596	588	490
	女	1,354	1,302	1,358	1,405	1,274
	計	1,905	1,823	1,954	1,993	1,764
	1日平均人数	86.6	91.2	97.7	99.7	88.2
新規登録者数	男	2	9	3	2	2
	女	13	17	8	—	6
	計	15	26	11	2	8
新規登録団体数		2	—	1	—	—
入浴者数 (火曜日・金曜日)	男	163	133	124	153	110
	女	230	175	152	193	142
	計	393	308	276	346	252
	1日平均人数	43.7	38.5	34.5	38.4	28.0
マッサージ (第1・3水曜日)	男	3	13	2	2	—
	女	29	47	28	30	—
	計	32	60	30	32	—
部屋別稼働率 午前 (%)	レクリエーション室	86.7	77.4	86.7	93.5	80.6
	コミュニティ室1	76.7	74.2	80.0	77.4	35.5
	コミュニティ室2	46.7	41.9	56.7	51.6	22.6
	コミュニティ室3	36.7	54.8	70.0	54.8	35.5
	スタジオ1	46.7	45.2	73.3	61.3	54.8
	スタジオ2	46.7	45.2	63.3	58.1	45.2
	平均	56.7	56.5	71.7	66.1	45.7
部屋別稼働率 午後 (%)	レクリエーション室	93.3	90.3	96.7	96.8	51.6
	コミュニティ室1	63.3	61.3	66.7	71.0	45.2
	コミュニティ室2	63.3	74.2	80.0	77.4	38.7
	コミュニティ室3	40.0	46.7	66.7	58.1	25.8
	スタジオ1	66.7	64.5	76.7	74.2	58.1
	スタジオ2	73.3	64.5	83.8	77.4	71.0
	平均	66.7	66.9	78.4	75.8	48.4
部屋別稼働率 夜間 (%)	レクリエーション室	56.0	60.0	68.0	73.1	57.7
	コミュニティ室1	4.0	8.0	4.0	7.7	11.5
	コミュニティ室2	8.0	12.0	4.0	7.7	7.7
	コミュニティ室3	—	12.0	—	3.8	—
	スタジオ1	24.0	40.0	44.0	30.8	19.2
	スタジオ2	8.0	12.0	16.0	15.4	—
	平均	20.0	24.0	27.2	23.1	24.0
部屋別稼働率合計 (%)		48.4	50.9	59.6	56.8	37.9
利用者数	自主事業 (主催分)	260	269	322	237	293
	品川区事業	481	631	674	678	386
	区事業・高齢者団体以外	491	642	653	653	522
	総利用者数 (延人数)	3,155	3,385	3,627	3,582	2,988
言語・聴覚 相談件数	聞こえの障害 (第1・3木曜日)	—	—	1	1	—
	子ども (第2・4火・木曜日)	10	15	16	17	16
	言葉の障害 (第2・4火曜日)	3	2	1	1	—
	飲み込みの障害 (第1・3木曜日)	3	1	2	2	3
	高次脳機能障害 (第1～4土曜日)	2	2	4	—	4
	計	18	20	24	21	23

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	522	571	594	560	511	518	587	6,609	550.8
	1,398	1,473	1,395	1,441	1,280	1,337	1,533	16,550	1,379.2
	1,920	2,044	1,989	2,001	1,791	1,855	2,120	23,159	1,929.9
	96.0	102.2	99.5	100.1	89.6	92.8	106.0		95.8
	1	2	2	7	4	4	3	41	3.4
	6	5	11	20	6	7	11	110	10.0
	7	7	13	27	10	11	14	151	12.6
	—	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	125	151	143	147	156	135	167	1,707	142.3
	171	199	181	181	178	142	174	2,118	176.5
	296	350	324	328	334	277	341	3,825	318.8
	37.0	38.9	36.0	41.0	41.8	39.6	42.6		38.3
	1	3	3	2	—	3	2	34	3.4
	29	28	13	14	—	28	30	276	27.6
	30	31	16	16	—	31	32	310	31.0
	86.7	86.7	90.0	92.9	89.3	96.4	96.8		88.6
	83.3	73.3	66.7	78.6	67.9	71.4	74.2		71.6
	50.0	43.3	50.0	53.6	42.9	53.6	61.3		47.9
	46.7	63.3	60.0	60.7	53.6	67.9	67.7		56.0
	66.7	66.7	60.0	57.1	78.6	85.7	71.0		63.9
	43.3	63.3	73.3	67.9	67.9	60.7	61.3		58.0
	62.8	66.1	66.7	68.5	66.7	72.6	72.1		64.3
	80.0	80.0	76.7	67.9	84.6	96.3	83.9		83.2
	66.7	66.7	73.3	71.4	71.4	67.9	64.5		65.8
	76.7	63.3	76.7	78.6	75.0	75.0	71.0		70.8
	60.0	53.3	53.3	57.1	50.0	57.1	51.6		51.6
	56.7	63.3	63.3	75.0	71.4	75.0	77.4		68.5
	76.7	83.3	80.0	89.3	75.0	78.6	74.2		77.3
	69.5	68.3	70.6	73.2	71.2	75.0	70.4		69.5
	56.5	76.9	58.3	70.8	62.5	68.2	56.0		63.7
	—	7.7	4.2	8.3	4.2	4.5	4.0		6.2
	13.0	15.4	8.3	12.5	4.2	13.6	16.0		10.2
	4.3	3.8	4.2	—	4.2	—	—		5.4
	34.8	34.6	33.3	16.7	25.0	27.3	20.0		29.1
	4.3	3.8	—	16.7	—	13.6	8.0		10.9
	22.6	23.7	21.7	25.0	20.0	25.4	20.8		20.9
	53.0	54.1	54.2	55.8	53.1	58.8	55.7		53.2
	493	426	528	424	337	350	409	4,348	362.3
	450	528	406	439	418	479	514	6,084	507.0
	527	714	695	540	591	622	694	7,344	612.0
	3,412	3,738	3,648	3,426	3,160	3,326	3,763	41,210	3,434.2
	2	1	1	—	—	—	2	8	1.3
	14	20	24	18	20	16	17	203	16.9
	2	1	2	2	2	1	2	19	1.6
	2	—	2	1	1	1	1	19	1.7
	2	4	1	1	—	2	4	26	2.6
	22	26	30	22	23	20	26	275	22.9

5. 防災

(1) 防災委員会の開催

(成 幸)

開催日	検討内容
6.4.18	令和6年度BCP訓練計画、防災訓練計画について
6.5.16	BCP訓練内容の実施について
6.6.20	自然災害発生時における業務継続計画について
6.7.18	福祉避難所としての訓練について
6.8.15	福祉避難所の防災備品について
6.9.19	災害時情報共有システムの運用及び災害発生時のフローについて
6.10.17	BCP机上訓練実施について
6.11.21	BCP計画について
6.12.19	防災用非常食、非常用電源について
7.1.16	荏原消防署、町会合同の防災訓練にむけた準備について
7.2.20	荏原消防署、町会合同の防災訓練の実施報告について
7.3.17	蓄電池の導入について

(戸越台)

開催日	検討内容
6.4.18	令和6年度防災訓練実施計画、災害時の業務継続計画について
6.5.16	緊急連絡網の見直しについて
6.6.20	福祉避難所の災害物品の保管場所の確認や、非常食の賞味期間の確認
6.7.18	消防通報設備、自家発電設備と蓄電池設備について
6.8.22	総合防災訓練内容の確認、戸越台中学校、町会との合同訓練について
6.9.26	法定電気点検の全館停電時の対応について
6.10.17	総合防災訓練実施後の振り返り、防災用品・非常食の確認について、災害時のBCP、緊急時の職員の参集について
6.11.21	しながわ防災計画について
6.12.19	デジタル移動通信を使用による品川区防災課との定期通信訓練について
7.1.16	デイサービス利用者、職員の非常食について（非常食の種類や使用方法、設置場所など）
7.2.27	防火対象物点検報告について
7.3.27	BCP訓練 推進体制について

(荏原)

開催日	検討内容
6.4.4	今年度の計画について
6.5.16	仮囲い壁設置解体に伴う運営エリアの変更と避難経路について
6.6.6	離設防止のため扉を設置に伴う変更
6.7.4	運営エリア変更に関する検討
6.8.1	運営エリアの変更（避難経路変更）
6.9.5	足場の解体工事に伴う中庭通行制限（避難経路変更）
6.10.3	STEP2-1による運営エリアの変更
6.11.7	臭気対策にともなう移動と対応について
6.12.5	STEP2-2による避難経路の変更
7.1.9	外構工事に伴う避難経路変更
7.3.6	STEP3に向けて対応 緊急車両のルート変更
7.3.15	自然災害におけるBCP机上訓練

(平塚橋)

開催日	検討内容
6.4.4	BCPの見直しについての口頭説明
6.5.2	2階フロア避難経路の確認
6.6.6	非常災害備蓄品について：保管場所の説明（1階ゆうゆう、5階倉庫内にホーム分）
6.7.4	7月7日（日）荏原消防団の放水訓練予定
6.8.1	7月の東京都内の熱中症による救急搬送数と注意喚起
6.9.5	台風対策について
6.10.3	秋の火災予防運動について。消火器等の効果、使い方について
6.11.7	トラッキング火災について、電源プラグ部分の確認
6.12.5	冬の火災予防（火災原因）
7.1.16	しながわ防災体験館の目的・概要について
7.2.6	積雪や凍結路面に係る救急事故、凍結による消火設備等の破損・誤作動等、確認すべき点について
7.3.6	3月19日合同防災訓練実施内容確認

(2) 防災訓練の実施

今年度も下表の防災訓練を実施した。

○防災訓練等の実施状況

(成 幸)

実施日	訓練内容
6.4.25	消火器・消火栓・避難経路の確認・非常用電源の位置周知 (12名)
6.5.23	屋上非常用発電機の稼働訓練 (11名)
6.6.27	緊急時受水槽の使用方法的共有 (11名)
6.7.25	福祉避難所の説明と周知。備蓄品の情報共有 (11名)
6.8.25	消火器・消火水栓と避難経路の周知 (10名)
6.9.26	災害時状況報告・共有の仕組みの説明と周知 (10名)
6.10.27	非常時用の蓄電池と受水槽の位置確認と使用法の周知 (10名)
6.11.28	屋上非常用発電機の稼働訓練 (10名)
6.12.27	B C Pについての説明 (10名)
7.1.30	自衛消防隊の行動確認・配電盤と非常用コンセントの共有 (9名)
7.2.18	町会と合同の防災訓練、荏原消防署員によるレクチャー (14名)
7.3.18	非常用蓄電池の説明・緊急避難用スロープの実践 (8名)

(戸越台)

実施日	訓練内容
6.4.29	館内防災設備の説明(集中管理システム、機器等の説明) (8名)
6.5.23	館内防災設備の説明(集中管理システム、機器等の説明) (10名)
6.6.27	自衛消防訓練、避難・誘導・通報、館内防火設備の確認 (8名)
6.7.25	心肺蘇生とAEDの使用による救命手順について (9名)
6.8.22	各階のスプリンクラー制御室の確認、バブルの停止方法 (9名)
6.9.2	総合防災訓練、避難誘導訓練、自衛消防訓練、消火器・補助散水栓による放水訓練 ※戸越台中学校、戸越銀座町会合同訓練 (320名)
6.10.17	大災害発生時の介護サービス継続計画による訓練実施 (8名)
6.11.29	7階地震から火災発生により自衛消防隊発動訓練 (7名)
6.12.19	デジタル通信放送と館内非常放送設備の使用法について (9名)
7.1.30	消火設備・防火対象物点検後の指導内容の現場確認 (7名)
7.2.28	災害時のデイサービス自衛消防訓練の実施 (11名)
7.3.27	屋上での補助 散水栓使用しての放水訓練 (12名)

(荏原)

実施日	訓練内容
6.4.24	火災防止のための館内自主点検 (11名)
6.5.22	避難訓練 (高齢者施設夜間想定・ネットで自衛消防訓練活用) (11名)
6.6.26	自然災害BCP 机上訓練 (11名)
6.7.25	工事中の消防計画 避難経路および消火設備確認 (11名)
6.8.24	地震訓練 (ネットで自衛消防訓練活用) (11名)
6.9.25	初期消火訓練 消火器の使い方 (11名)
6.10.24	避難訓練 煙の怖さと対応 (ネットで自衛消防訓練活用) (11名)
6.11.27	地震訓練 施設の備え 防災グッズを確認しよう (11名)
6.12.27	地震訓練 自助・互助・共助 個人の備え (11名)
7.1.30	通報訓練 消防・救急通報のポイント (11名)
7.2.27	消火訓練 工事期間中のスプリンクラー等消防設備 (11名)
7.3.27	避難経路の確認、消火器の設置位置の確認 (11名)

(平塚橋)

実施日	訓練内容
6.4.30	1階事務所内の報知盤の確認を実施し、避難経路を確認する (5名)
6.5.30	中途職員へスプリンクラー・煙感知器・消火用散水栓の説明。防災タンクの場所確認。避難方法の説明 (3名)
6.6.28	スプリンクラー・煙感知器・非常電灯・消火器、消火栓の説明 (3名)
6.7.7	採水口吸水訓練の見学 (4名)
6.8.29	スプリンクラー・煙感知器・非常電灯・消火器、消火栓の説明 (3名)
6.9.30	1階避難経路図を見ながら実際の避難の確認 (3名)
6.10.20	全館停電に伴い、日中の停電時の想定 (物品確認、職員の動き、酸素や吸引使用利用者への対応確認等) (33名)
6.11.29	地震に対する備え (身の安全の備え・初動対応の備え・確かな行動の備え) 書面をもとに注意喚起 (8名)
6.12.26	電子レンジ火災について、使用時の心得と火災時の対応 (6名)
7.1.31	消防設備 (防火設備) の説明 (煙感知器・熱感知器・スプリンクラー・消火器) (5名)
7.2.28	中途採用職員へ熱感知器、スプリンクラー、煙感知器、屋内消火栓等館内の設備の説明 (2名)
7.3.19	合同防災訓練 (火災時の避難方法・注意点・防災設備の説明・デモ消火器の体験) (21名)

6. 委員会活動

(1) 苦情解決・サービス向上委員会

(成 幸)

開催日	内 容
6.6.20	1. 事故報告 2. 委員からの助言、意見など
6.9.19	1. 法人内4施設での献立統一についての報告 2. 事故報告 3. 委員からの助言、意見など
6.12.19	1. 三徳会元気クッキングの開催報告 2. 事故報告 3. 高校生によるボランティア体験について 4. 委員からの助言、意見など
7.3.27	1. おせち料理について 2. 事故報告 3. 家族懇談会開催の報告 4. 委員からの助言、意見など

(戸越台)

開催日	内 容
6.6.11	1. 新型コロナウイルス感染症報告 2. デイサービス送迎遅延報告 3. 戸越台中学校との交流について 4. 委員からの助言、意見など
6.9.10	1. 事故報告 2. 敬老式典について 3. 電気設備点検について 4. 夏まつりについて 5. 委員からの助言、意見など
6.12.10	1. 事故報告 2. 新型コロナウイルス感染症報告 3. 指定管理について 4. ホームページリニューアルについて 5. 委員からの助言、意見など
7.3.11	1. 感染症報告 2. 車両事故報告 3. 三徳会元気クッキング報告 4. 委員からの助言、意見など

(荏原・小山)

開催日	内容
6.6.12	1. 8月より特養工事エリアの変更、10月より仮設厨房での運営の報告 2. デイサービスコロナ罹患、結核罹患の報告 3. ショートステイ職員添乗開始の報告。事故報告 4. 委員からの助言、意見など
6.9.11	1. ショートステイコロナ罹患の報告 2. コロナ特例の影響での要介護から要支援へ移行する利用者の増加 3. 大規模改修工事の報告 4. 委員からの助言、意見など
6.12.11	1. 特養利用者夜間単独外出の報告 2. 利用者ご家族からの通報及び、内部聞き取り調査における不適切事例に関する報告 3. 障害者計画相談支援事業所のあり方について 4. 委員からの助言、意見など
7.3.12	1. 改修工事の進捗報告 2. ショートステイ来年度の新規イベントの報告 3. 地域住民向けの福祉用具使用の実地訓練について 4. 委員からの助言、意見など

(平塚橋)

開催日	内容
6.6.20	1. 不在者投票について 2. ゆうゆうプラザのマイボトル用給水機設置について 3. 委員からの助言、意見など
6.9.19	1. 敬老お祝いの会について 2. 事故報告 3. ゆうゆうプラザイベントについて 4. 委員からの助言、意見など
6.12.19	1. 事故報告 2. ゆうゆうプラザイベントについて 3. 委員からの助言、意見など
7.3.27	1. 家族懇談会実施について 2. ケアの内容についての苦情報告 3. ゆうゆうプラザイベントについて 4. 委員からの助言、意見など

(2) 安全衛生委員会

(成 幸)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員6人]

開催日	会議内容
6.4.16	職員体調確認、コロナウイルス感染症発生報告、疥癬について
6.5.21	職員体調確認、コロナウイルス感染症発生報告、面会中止について
6.6.18	職員体調確認、コロナウイルス感染症発生報告、サルモネラ菌陽性者について
6.7.16	職員体調確認、職員の腰痛について
6.8.20	職員体調確認、在宅利用者宅でのトコジラミ発生について
6.9.17	職員体調確認、職員の休職について
6.10.15	職員体調確認、ストレスチェック、職員健康診断について
6.11.19	職員体調確認、利用者健診、インフルエンザ予防接種について
6.12.17	職員体調確認、ストレスチェック結果報告について
7.1.21	職員体調確認、インフルエンザ発生報告について
7.2.18	職員体調確認、利用者健康診断終了報告について
7.3.18	職員体調確認、休職中の職員、来年度体制について

(戸越台)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員6人]

開催日	会議内容
6.4.16	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症報告
6.5.21	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症報告、害虫駆除報告夜勤者対象健康診断、新型コロナウイルス感染症について
6.6.18	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症報告
6.7.16	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症報告
6.8.20	職員体調確認、看取り介護対応について
6.9.17	職員体調確認、職員健診について、新型コロナウイルスワクチンについて
6.10.15	職員体調確認、マイコプラズマ肺炎について
6.11.15	職員体調確認、ストレスチェック実施について、ウイルス性胃腸炎について
6.12.17	職員体調確認、ストレスチェック実施報告、ノロウイルスについて、インフルエンザについて、環境測定について
7.1.21	職員体調確認、インフルエンザ・ノロウイルスについて
7.2.18	職員体調確認、職員健診について
7.3.18	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症・下痢嘔吐について、来年度の体制について

(荏原)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員7人]

開催日	会議内容
6.4.16	職員体調確認、コロナウイルス感染症の報告、改修工事による影響
6.5.21	職員体調確認、コロナ感染症の報告、利用者から嘔まれた職員の報告
6.6.18	職員体調確認、結核の利用者の報告
6.7.16	職員体調確認、コロナ感染症の報告
6.8.20	職員体調確認、大規模改修工事のエリア変更、結核、コロナウイルス感染症の報告
6.9.17	職員体調確認、コロナワクチン、インフルエンザ予防接種の情報提供
6.10.15	職員体調確認、大規模改修工事での労働環境の確認、コロナワクチンの情報提供
6.11.19	大規模改修工事での労働環境の確認、就業中の自転車事故についての報告
6.12.17	職員体調確認、コロナ感染症、インフルエンザの報告
7.1.21	職員体調確認、コロナ感染症、インフルエンザの報告。ストレスチェック報告
7.2.18	職員体調確認、健康診断の結果報告
7.3.18	職員体調確認、大規模改修工事での労働環境の確認、健康診断フォローアップの確認

(平塚橋)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員6人]

開催日	会議内容
6.4.16	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症陽性報告・注意喚起
6.5.21	職員体調確認、職員新規採用の報告
6.6.18	職員体調確認、病気療養中職員の逝去報告
6.7.16	職員体調確認、職員健康診断実施中の報告、新型コロナウイルス感染症陽性報告
6.8.19	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症陽性報告
6.9.17	職員体調確認、インフルエンザ予防接種について
6.10.15	職員体調確認、ストレスチェック実施予定について
6.11.19	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症陽性報告、ストレスチェックについて
6.12.17	職員体調確認、ストレスチェック結果報告
7.1.21	職員体調確認、感染症注意喚起について
7.2.18	職員体調確認、職員健康診断の結果報告について
7.3.18	職員体調確認、厨房職員ノロウイルス感染報告

(3) 給食委員会

新型コロナウイルス感染症のため利用者参加は規模を縮小または中止とした。

(成 幸)

開催日	活動内容
6.4.11	感染症対応、粥の固さ、補食の変更について
6.5.9	感染症対応、盛り付け量について
6.6.13	食事の味付け、デイサービスのおやつ提供について
6.7.11	E V点検時の配膳方法変更、食事の味付け・提供量について
6.8.8	統一献立開始、検食について
6.9.12	お楽しみ食、盛り付け方・食器の選び方、配膳車の温度設定について
6.10.10	残菜調査、全館停電の確認、異物混入事故について
6.11.14	料理の組み合わせ、配食サービスについて
6.12.12	食事の温度、年末年始の確認、選択食について
7.1.9	年末年始の評価、おせち料理の配膳時間、職員食の汁物について
7.2.13	来年度の予定、食事の味付けについて
7.3.13	食事の味付け・提供量、来年度からの朝食検食について

(戸越台)

開催日	活動内容
6.4.9	給食委員の確認、肉の硬さ、給食費用関係、今年度の予定について
6.5.10	利用者の意見、ゼリーの硬さ、委託業者人事体制、食中毒予防について
6.6.14	利用者の意見、お楽しみ食適正量、カレーの辛さ、衣の固さについて
6.7.9	そうめんの量、揚げ物・ペースト食の硬さ、四施設統一献立について
6.8.9	利用者の意見、配膳確認、選択食、カレーの辛さ、感染予防について
6.9.13	利用者の意見、枝豆提供方法、花広場カフェ、停電時の対応について
6.10.8	利用者リクエスト、E V使用方法、正月、感染対策用消毒ボックスについて
6.11.8	利用者の意見、ゼリーの硬さ、おでんの提供方法、年末年始について
6.12.6	利用者の意見、紅茶ゼリー、松風焼の硬さ、連絡体制、年末年始の確認
7.1.10	利用者の意見、年末年始の評価、感染対応について
7.2.14	利用者の意見、配膳の確認、残菜調査、来年度の予定、感染対策
7.3.14	利用者の意見、麺類味付け、今後の予定、とろみ剤の変更について

(荏原)

開催日	活動内容
6.4.11	ハーベスト人事、大規模改修に伴う変更について
6.5.9	検食の味について、店長交代について
6.6.13	調理方法について、仮設デイでの炊飯について
6.7.11	非常食の入替について、8月からの統一献立について（詳細抜粋）
6.8.1	デイ夏の行事（かき氷大会）、特養西瓜割り大会について
6.9.12	お茶ゼリーの作成方法、仮設厨房への移設に伴う業務変更について
6.10.10	お楽しみ食の練切について、特養おやつ会について
6.11.14	改修工事に伴う停電や断水について、クリスマス行事について
6.12.12	仮厨房での行事食提供について、年末年始の行事食について
7.1.9	クリスマス料理・正月料理の感想（統一献立提供での課題など）
7.2.13	ご飯茶わんの汚れについて、安全な食事形態について
7.3.13	デイご利用者のご意見について、次年度の資料配布について

(平塚橋)

開催日	活動内容
6.4.25	水分補給について、食形態について
6.5.23	感染症対策、消毒について、水分補給について
6.6.27	食中毒について、水分補給について、配膳・下膳について
6.7.25	ユニット冷蔵庫管理について、ソフト食・ペースト食について
6.8.22	水分補給、異物混入について、衛生管理について
6.9.26	とろみについて、水分補給について
6.10.24	水分摂取用飲料について、クリスマスの準備について
6.11.28	残食調査について、ユニットでの食器管理について
6.12.26	クリスマス、年末年始について、とろみや配膳内容について
7.1.23	配膳食品の保管について、衛生管理について
7.2.27	感染症予防について、残食調査について、食事箋の取り扱いについて
7.3.13	体調管理について、食器の取り扱いについて

7. その他

(1) 研修報告

令和6年度は集合型研修とリモートによる研修に参加した。

在宅介護支援センターの研修参加は下記のとおり各拠点に含む。

成 幸 : 成幸在宅介護支援センター

戸越台 : 戸越台在宅介護支援センター、杜松在宅介護支援センター

荏原・小山 : 荏原在宅介護支援センター、小山在宅介護支援センター、小山台在宅介護支援センター

※リモート研修は*で表記 人数は実人数

施設外研修 (成 幸)

年	月	日	研 修 会 名	人数 (人)
6	4	16	品川区 高齢者総合支援システム研修会	1
		23	品川区 新任ケアマネ向け研修*	1
	6	19	品川区高齢者虐待予防基礎研修	1
	7	18	東京都立中部総合精神保健福祉センター 精神保健福祉研修(前期) 自殺対策研修1「人が自殺に至るメカニズムを知る」*	1
		30	機能訓練室研修「OG技研ショールーム見学」	1
	8	19、9/11~10/3、 9/11~10/16、 10/9、27、11/9、 27	東京都福祉局 第I期東京都主任介護支援専門員更新研修(リモート研修および集合型研修)*	1
	10	2	国際福祉機器展&フォーラム	1
		4	国際福祉機器展&フォーラム	2
		9	品川区 身体拘束廃止研修	2
		10	しながわ防災学校「福祉・保健医療関係者コース」*	2
		10	品川区自殺対策事業「気づき、聴き、つなぐ」ゲートキーパー研修初~中級編*	1
		15	品川区 サービス事業所管理者向け 高齢者虐待予防研修「共依存関係の家族への支援」	1
		23、25	しながわ防災学校「福祉・保健医療関係者コース」*	2
		24	第1回東京都キャラバン・メイト養成研修	1
		29	品川区 第2回ケアプランサポート研修 ケアマネジメントの質の向上研修~保険者と共に行うケアプラン点検~	1
	11	1	東京都 精神保健福祉研修 支援者のセルフケア*	1
		7	東京都 ひきこもり支援研修(家族支援)*	1
		8~7/2/28	東京都高齢者権利擁護推進事業 介護サービス事業管理者 高齢者権利擁護研修「高齢者虐待防止研修」*	1
		19、11/12~	主任介護支援専門員研修 集合研修コース(リモート研修および集	1

	12/12、12/13、 24、1/14、24、 2/12、18、26、 3/7、18	合型研修)*	
	28	荏原医師会「医療と介護の多職種連携研修会」	1
12	13	東京都立中部総合精神保健福祉センター 精神保健福祉研修(後期) 認知行動療法研修2	1
7	1 24	東京都立中部総合精神保健福祉センター 精神保健福祉研修(後期) 発達障害者支援研修2*	1
	31	品川区 アンガーマネジメントから考える「養介護施設従事者等による高齢者虐待防止研修」	2
2	6	品川区 高齢者虐待予防応用研修	1
	17	東京都高齢者福祉施設協議会 職員研修委員会「高齢者福祉施設におけるサービスマナー研修会～直接援助職が身に付けるべき基本的サービスマナー～」	1
3	3～14	若年性認知症に関する介護・障害事業所向け研修会*	1
	18	品川区 介護予防ケアマネジメント研修～総合支援事業を含む介護予防ケアマネジメント業務の流れについて～	2
		計	33

施設外研修

(戸越台・杜松)

年	月	日	研 修 会 名	人数 (人)
6	5	24	品川区福祉カレッジ 実践力強化研修「虐待防止研修」～ソーシャルワークと権利擁護～*	1
	7	18、30、31、8/23	東京都 第9～10回認知症介護実践者研修(リモート研修および集合型研修)*	1
	8	27、9/10、8/28	東京都 第3回認知症対応型サービス事業管理者研修	1
	9	10	東京都高齢者福祉施設協議会 栄養研修員会	1
		13	東京都 養護者による高齢者虐待対応研修	1
	10	9	品川区 身体拘束廃止研修	2
		15	品川区 サービス事業所管理者向け 高齢者虐待予防研修「共依存関係の家族への支援」	3
	11	7、11/1～27、28、 12/18、1/8、17、 31、2/10、20、 3/5、15	主任介護支援専門員研修 集合研修コース(リモート研修および集合型研修)*	1
		28	荏原医師会「医療と介護の多職種連携研修会」	1
		28	中延ホーム交換研修「インカムの使い方について」	1
	12	13～1/9、12/13 ～1/30、1/20、 2/7、3/3、25	東京都福祉局 第Ⅱ期東京都主任介護支援専門員更新研修*	1
7	1	16	品川区 一般介護予防事業「身近でトレーニング」実務者研修	1
		31	品川区 アンガーマネジメントから考える「養介護施設従事者等による高齢者虐待防止研修」	1

	2	17	東京都高齢者福祉施設協議会 職員研修委員会「高齢者福祉施設におけるサービスマナー研修会～直接援助職が身に付けるべき基本的サービスマナー～」	1
		18	東京都社会福祉協議会 栄養研修員会	1
	3	7	品川区 給食施設管理講習会	1
		21	品川区福祉カレッジ 認知症ケア専門コース 認知症VR体験型講座 認知症の人の視点を体験しよう！！	1
			計	20

施設外研修

(荏原・小山・小山台)

年	月	日	研 修 会 名	人数 (人)
6	4	16	品川区 高齢者総合支援システム研修会	2
	5	16、6/20、10/24	品川福祉カレッジ ケアマネジメント講座	1
		24	品川区福祉カレッジ 実践力強化研修「虐待防止研修」～ソーシャルワークと権利擁護～*	1
		24	東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 特養分科会 ショートステイ連絡会	1
	6	7	第1回東京都視覚障害者支援者懇談会「視覚障害者としごと」	1
		13、14	東京都福祉保健財団 東京都地域包括支援センター職員研修(初任者研修)	1
		17	東京消防庁 防火・防災管理再講習	1
		19	品川区高齢者虐待予防基礎研修	1
		19～8/7	東京都社会福祉協議会 接遇・マナー研修～選ばれる施設・事業所をめざして～*	2
		19～8/7	東京都社会福祉協議会 直接介助におけるリスクマネジメント研修～介護現場における利用者の尊厳を守ったリスクマネジメント～*	2
		19～8/7	東京都社会福祉協議会 第1回 新任職員の定着・育成入門研修～担当者任せにせず、組織の課題を整理しよう～*	3
		25	品川・大田医療福祉栄養士の会「診療報酬と介護報酬の同時改定に関する情報交換」	1
		25	花王プロフェッショナル・サービスマナーの星WEBセミナー 介護現場の褥瘡対策と予防的スキンケアのありかた*	1
	7	1～8/31	東京都福祉保健財団 介護支援専門員 更新研修*	1
		2、8/1、2	東京都心身障害者福祉センター 東京都相談支援従事者現任研修(リモート研修および集合型研修)*	1
		4	東京都福祉保健財団 介護支援専門員のための福祉用具・住宅改修「基礎講習会」	1
		11～8/16	東京都高齢者福祉施設協議会 職員研修員会 事務職員研修委員会主催 研修会「介護報酬請求事務に関する研修会(初任者編)*	1
		16	品川区福祉カレッジ 認知症ケア専門コース 認知症の人の心理・精神面の理解とコミュニケーション講座 本人本位の暮らしを支えていくための関わりを学ぼう	2
		29	品川区 第1回在宅介護者支援研修「家族を孤立させない～事例から学ぶケアラー支援のプロセス～」	1

	29	品川区 第1回品川区施設サービス向上研究会	1
	30	機能訓練室研修「OG技研ショールーム見学」	1
8	1～3/31	東京都社会福祉協議会 社会福祉法人・施設「会計実務研修会」*	1
	9	東京都健康長寿医療センター 第2回東京都認知症地域対応力向上研修	1
	29	品川ケア協議会 生活支援記録法「F-SOAIIP」初心者向け編*	1
9	25	東京都福祉保健財団 東京都地域包括支援センター職員研修現任者研修(基礎科目I)	1
	30	東京都福祉保健財団 東京都地域包括支援センター職員研修現任者研修(基礎科目I)	1
10	2	国際福祉機器展&フォーラム	1
	9	品川区 身体拘束廃止研修	1
	29	品川区 第2回ケアプランサポート研修 ケアマネジメントの質の向上研修～保険者と共に行うケアプラン点検～	1
	12、11/13～		
11	12/11、12/12、19、1/7、21、2/3、18、26、3/7、18	主任介護支援専門員研修 集合研修コース(リモート研修および集合型研修)*	1
	15	東京都高齢者福祉施設協議会 特養分科会 ショートステイ連絡会研修 職業風土を変えるチームマネジメント～アドラー流コーチング勉強会～	1
	19、11/12～		
	12/12、12/13、24、1/14、24、2/12、19、3/1、11、19	主任介護支援専門員研修 集合研修コース(リモート研修および集合型研修)*	1
	28	荏原医師会「医療と介護の多職種連携研修会」	5
12	10	第2回東京都視覚障害者支援者懇談会「ロービジョンの方の見え方について」	1
7	1	9～2/3、2/20	東京都福祉保健局 東京都介護支援専門員 更新研修(未経験者)*
	17	品川区 介護予防機能強化推進業研修 介護予防支援担当者会議「自立支援、重度化防止のために～あらためて「自立」を考える～」	2
	20	品川区 介護予防機能強化推進業研修 介護予防支援担当者会議「自立支援、重度化防止のために～あらためて「自立」を考える～」	4
	24	ワークシェアリング会計研修	2
	31	東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 特養分科会 ショートステイ連絡会	1
	31	品川区 アンガーマネジメントから考える「養介護施設従事者等による高齢者虐待防止研修」	2
2	6	品川区 高齢者虐待予防応用研修	1
	7、14	東京都福祉局 盲ろう者福祉ワーカー研修会	1
	14、21	東京都福祉保健局 東京都介護支援専門員 更新研修(実務経験者)*	1
	18	第4回東京都キャラバン・メイト養成研修	1

	18	東京都福祉保健財団 東京都地域包括支援センター職員研修原因者研修*	1
	20	高齢・障害・求職者雇用支援機構 令和7年度障害者雇用納付金申告・障害者雇用調整金等申請及び障害者雇用納付金制度事務説明会	1
	21	東京都福祉局 居宅介護支援事業所管理者向けマネジメント支援研修*	1
3	18	品川区 介護予防ケアマネジメント研修～総合支援事業を含む介護予防ケアマネジメント業務の流れについて～	2
	21	品川区福祉カレッジ 認知症ケア専門コース 認知症VR体験型講座 認知症の人の視点を体験しよう！！	2
		計	64

施設外研修

(平塚橋)

年	月	日	研修会名	人数 (人)
6	5	22～6/28	東京都高齢者福祉施設協議会 職員研修員会 2024年介護報酬改定について*	1
	6	11、12、7/9～12	日本ユニットケア推進センター ユニットリーダー研修(リモート研修および実地研修)*	1
		11、12、7/16～19	日本ユニットケア推進センター ユニットリーダー研修(リモート研修および実地研修)*	1
		13	東京都社会福祉協議会 制度検討委員会(経営検討委員会合同) 学習会「介護保険制度改正・介護報酬改定のポイントについて」	1
		18、19	東京消防庁 防火・防災管理講習	1
7		11～8/16	東京都高齢者福祉施設協議会 職員研修員会 事務職員研修委員会主催 研修会「介護報酬請求事務に関する研修会(初任者編)*	1
		18	東京都社会福祉協議会 第1回特養分科会	1
		30	機能訓練室研修「OG技研ショールーム見学」	1
8		19	社会福祉法人三徳会・社会福祉法人春光福祉会 合同研修会	6
9		20	社会福祉法人三徳会・社会福祉法人春光福祉会 合同研修会	5
10		2、3	国際福祉機器展&フォーラム	1
		8～11	日本ユニットケア推進センター ユニットリーダー研修(実地研修)	1
		11	東京都社会福祉協議会 第2回総会	1
		16、11/19、12/25	厚生労働省「デジタル中核人材養成研修」*	1
11		6～12/25	東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター「福祉職のためのメンタルヘルス研修」*	1
		28	中延ホーム交換研修「インカムの使い方について」	1
		29	さんホーム目黒見学研修	5
12		5	東京都社会福祉協議会 第2回特養分科会	1
		12	東京都高齢者福祉施設協議会 デジタル推進委員会「デジタル福祉in 東京'24」	1
7	1	24	単発ワークシェアリング会計研修	3
	2	7	東京都社会福祉協議会 第3回総会	1
			計	29

法人勉強会（成幸・戸越台・荏原・平塚橋）

年	月	日	研修会名	内 容	担当・講師
6	9	4, 11	介護支援専門員 受験講座	介護支援専門員受験講座	福祉塾 関根一春講師
	10	18	介護技術勉強会	移乗、ADLの維持の方法等	株式会社大起エンゼル ヘルプ 田中義行講師
		8, 20	介護技術勉強会	成幸ホーム、平塚橋ホームでの 実地研修	株式会社大起エンゼル ヘルプ 田中義行講師
	12	10	介護技術研修	実地研修からの改善点等	株式会社大起エンゼル ヘルプ 田中義行講師

施設内研修

（成 幸）

年	月	日	研修会名	内 容	担当・講師
6	4	1～ 5/31	オンライン動画 研修	拒否のある利用者に対しての虐待事案 認知症患者に対しての虐待事案 なぜプライバシー保護について考える必 要があるのか	ジョブメドレー アカデミー
		1～ 6/30	オンライン動画 研修	リーダーシップとマネジメントの違い リーダーシップはこれで身につける リーダーが行き先を明確に伝える	ジョブメドレー アカデミー
		25	サービス研究会	令和6年度のサービス研究会計画	課長
	5	23	サービス研究会	腰痛予防体操について	訓練室
	6	27	サービス研究会	食中毒予防について	栄養室
		1～ 6/30	オンライン動画 研修	介護の仕事になぜマナーが必要か ネガティブ言葉からポジティブ言葉 介護従事者の倫理	ジョブメドレー アカデミー
	7	25	サービス研究会	虐待・人権について	課長
		1～ 8/31	オンライン動画 研修	不適切なケアの早期発見 感染予防（衛生管理） 感染予防（手洗い）	ジョブメドレー アカデミー
	8	22	サービス研究会	看取り介護について	生活サービス室
	9	1～ 10/31	オンライン動画 研修	パターンリズムの存在を自覚する ターミナルを支える基礎概念 終末期経過のポイント	ジョブメドレー アカデミー
		26	サービス研究会	感染症対策	医務室
	10	31	サービス研究会	介護職員の新たな人材採用について	施設長
	11	28	サービス研究会	防災について	支援センター
		1～ 2/31	オンライン動画 研修	ヒヤリハット事例を想定しておくことの 大切さ 報告の重要性 なぜ今BCPが必要なのか	ジョブメドレー アカデミー
	12	26	サービス研究会	インフルエンザ感染対応について	生活サービス室
7	1	23	サービス研究会	届出用紙の再確認について	事務室
		1～ 3/31	オンライン動画 研修	認知症とは 介護職としての関わり方を考える 仙骨座りと坐骨座りの違いとは？	ジョブメドレー アカデミー
	2	27	サービス研究会	品川介護福祉専門学校1年生18名を対象 としたレクリエーション授業について	デイサービス
	3	27	サービス研究会	介護現場における生産性向上について	施設長

施設内研修

(戸越台)

年	月	日	研修会名	内 容	担当・講師	
6	4	1～5/31	オンライン動画研修	褥瘡になりやすい部位、事故予防とは。情報共有の仕方の基本、記録の大切さについて	ジョブメドレーアカデミー	
		1～6/30	オンライン動画研修	リーダーシップとマネジメントの違い リーダーシップはこれで身につける リーダーが行き先を明確に伝える	ジョブメドレーアカデミー	
		18	サービス研究会	令和6年度のサービス研究会計画	施設長	
	5	16	サービス研究会	高齢者の生活を支えるアイテムについて	戸越台支援センター	
			サービス研究会	介護の仕事になぜマナーが必要か ネガティブ言葉からポジティブ言葉 介護従事者の倫理	ジョブメドレーアカデミー	
	6	1～6/30	オンライン動画研修	介護の仕事になぜマナーが必要か ネガティブ言葉からポジティブ言葉 介護従事者の倫理	ジョブメドレーアカデミー	
			20	サービス研究会	看取りケアについて	生活サービス室
	7	18	サービス研究会	手洗いについて（手洗いチェッカー使用）	医務室	
			1～8/31	オンライン動画研修	不適切なケアの早期発見 感染予防（衛生管理） 感染予防（手洗い）	ジョブメドレーアカデミー
	8	15	施設勉強会	高齢者虐待防止	施設長	
			サービス研究会	食中毒について	栄養室	
	9	19	サービス研究会	ソーシャルワークと権利擁護	デイサービス	
			1～10/31	オンライン動画研修	パターンリズムの存在を自覚する ターミナルを支える基礎概念 終末期経過のポイント	ジョブメドレーアカデミー
	10	17	サービス研究会	防災計画について	杜松支援センター	
	11	1～12/31	オンライン動画研修	ヒヤリハット事例を想定しておくことの大切さ 報告の重要性 なぜ今BCPが必要なのか	ジョブメドレーアカデミー	
			19	施設勉強会	感染症について（吐物の処理方法）	医務室
			21	サービス研究会	身体拘束廃止	生活サービス室
	12	19	サービス研究会	感染症の基礎知識	医務室	
7	1	1～3/31	オンライン動画研修	認知症とは 介護職としての関わり方を考える 仙骨座りと坐骨座りの違いとは？	ジョブメドレーアカデミー	
		16	サービス研究会	急性腰痛症をその対策	訓練室	
	2	20	サービス研究会	認知症の人とともに生きる地域づくり	デイサービス	
	3	13	サービス研究会	虐待について	施設長	

施設内研修

(荏原)

年	月	日	研 修 会 名	内 容	担当・講師
6	4	1～ 5/31	オンライン動画 研修	拒否のある利用者に対しての虐待事案 認知症患者に対しての虐待事案 なぜプライバシー保護について考える 必要があるのか	ジョブメドレー アカデミー
		1～ 6/30	オンライン動画 研修	リーダーシップとマネジメントの違い リーダーシップはこれで身につける リーダーが行き先を明確に伝える	ジョブメドレー アカデミー
		25	サービス研究会	生産性向上のための取り組み	施設長
		26	感染症対策研修	高齢者施設での基本的な感染対策	旗の台病院（協 力医療機関）看 護師
5	23	サービス研究会	食中毒について	栄養室	
6	6/1～ 6/30	オンライン動画 研修	介護の仕事になぜマナーが必要か ネガティブ言葉からポジティブ言葉 介護従事者の倫理	ジョブメドレー アカデミー	
		27	サービス研究会	高齢者のスキンケア	医務室
7	1～ 8/31	25	サービス研究会	腰痛予防について	訓練室
		オンライン動画 研修	不適切なケアの早期発見 感染予防（衛生管理） 感染予防（手洗い）	ジョブメドレー アカデミー	
8	22	サービス研究会	看取りケア研修	生活サービス室	
9	1～ 10/31	26	サービス研究会	品川介護福祉専門学校授業概要	在宅サービス センター
		オンライン動画 研修	パターンリズムの存在を自覚する ターミナルを支える基礎概念 終末期経過のポイント	ジョブメドレー アカデミー	
10	24	サービス研究会	地区ケア会議（地域ケア会議）	荏原在宅介護 支援センター	
11	11/1～ 12/31	オンライン動画 研修	ヒヤリハット事例を想定しておくこと の大切さ 報告の重要性 なぜ今BCPが必要なのか	ジョブメドレー アカデミー	
		20	海外人材交流研 修	品川区法人で雇用されている海外人 材同士の横のつながりをつくる	ケアホーム西五 反田
		28	サービス研究会	ライフプランアドバイザー研修報告	事務室
7	1	23	サービス研究会	日本版BPSDプログラムDEMBASE②集音器 と軟骨伝導イヤホンのセット「Otocarti MATE」	小山の家 小山在宅介護 支援センター
		1～ 3/31	オンライン動画 研修	認知症とは 介護職としての関わり方を考える 仙骨座りと坐骨座りの違いとは？	ジョブメドレー アカデミー
	2	4	品川介護福祉専 門学校講師派遣 研修（虐待防止 研修）	「本質的支援で虐待を防ぐ」 普段のケアで起こり得る不適切ケアへ の気づきと権利擁護の視点の再確認	東洋大学 高山直樹教授
		27	サービス研究会	災害医療	小山台在宅介護 支援センター
3	27	サービス研究会	お茶の水ケアサービスオンライン動画 研修について	施設サービス課長	

施設内研修

(平塚橋)

年	月	日	研修会名	内 容	担当・講師
6	4	1～ 5/31	オンライン動画 研修	拒否のある利用者に対しての虐待事案 認知症患者に対しての虐待事案 なぜプライバシー保護について考える 必要があるのか	ジョブメドレー アカデミー
		1～ 6/30	オンライン動画 研修	リーダーシップとマネジメントの違い リーダーシップはこれで身につける リーダーが行き先を明確に伝える	ジョブメドレー アカデミー
		18	サービス研究会	令和6年度のサービス研究会計画	施設長
	5	16	サービス研究会	人権・虐待	施設長
	6	1～ 6/30	オンライン動画 研修	介護の仕事になぜマナーが必要か ネガティブ言葉からポジティブ言葉 介護従事者の倫理	ジョブメドレー アカデミー
		20	サービス研究会	食中毒予防	栄養室
	7	18	サービス研究会	看取り	医務訓練室
		1～ 8/31	オンライン動画 研修	不適切なケアの早期発見 感染予防（衛生管理） 感染予防（手洗い）	ジョブメドレー アカデミー
	8	15	サービス研究会	介護支援専門員居住支援特別手当事業について	事務室
	9	21	サービス研究会	ストレスマネジメント	生活サービス室
		1～ 10/31	オンライン動画 研修	パターンリズムの存在を自覚する ターミナルを支える基礎概念 終末期経過のポイント	ジョブメドレー アカデミー
	10	2～15	感染症勉強会	手洗いの正しい方法 手洗いチェッカーを使用した確認	医務室
17		サービス研究会	感染症予防	医務室	
11	21	サービス研究会	褥瘡	生活サービス室	
	1～ 12/1	オンライン動画 研修	ヒヤリハット事例を想定しておくこと の大切さ 報告の重要性 なぜ今BCPが必要なのか	ジョブメドレー アカデミー	
	12	サービス研究会	腰痛予防	医務室	
7	1	16	サービス研究会	身体拘束（虐待防止）	副施設長
		1～ 3/31	オンライン動画 研修	認知症とは 介護職としての関わり方を考える 仙骨座りと坐骨座りの違いとは？	ジョブメドレー アカデミー
	2	20	サービス研究会	事故予防	副施設長
	3	13	サービス研究会	施設サービスにおける生産性向上について	施設長

※上記勉強会資料を各ユニットで回覧、休憩室に資料を設置。

(2) 実習生受入れ

(単位：人)

区 分	延べ人数	福祉系大学 専門学校等		その他	
		人数	延人数	人数	延人数
成 幸	91	4	71	20	20
戸 越 台	183	67	171	8	12
荏 原	146	61	128	9	18
小山の家	51	8	16	7	35
平塚橋	87	4	71	8	16

区 分	主な実習依頼先
成 幸	品川介護福祉専門学校、東京医科大学、東京未来大学福祉保育専門学校
戸越台	品川介護福祉専門学校、日本福祉教育専門学校、品川区社会福祉協議会、淑徳短期大学、東京医療保健大学、女子栄養大学、実践女子大学、昭和大学歯学部、昭和大学医学部附属看護専門学校、東京医科大学、東京都介護支援専門員実務者研修
荏 原	品川区社会福祉協議会、品川介護福祉専門学校、日本福祉教育専門学校、東京医科大学、東京医療保健大学、昭和大学医学部附属看護専門学校
小山の家	昭和大学医学部附属看護専門学校、日本体育大学、法政大学
平塚橋	品川介護福祉専門学校、東京医療保健大学、東京医科大学、東京未来大学福祉保育専門学校

(3) 見学

<団体見学>

8月27日 インドネシア共和国保健省総局代表团 18人 荏原ホーム
8月2日 タイ王国労働省およびタイ王国大使館 19人 平塚橋ホーム

【年間の見学】

(単位：人)

区 分	入所(居)検討 サービス利用前検討	就職検討 職場見学	団体・企業
成 幸	13	24	—
戸越台	16	9	—
荏 原	17	11	18
小山の家	5	—	—
平塚橋	45	4	49

(4) 近隣との交流

新型コロナウイルス感染が5類に移行し1年以上が経過した。これまでに交流のあった小中学校や保育園、近隣町会の地域活動への参加を徐々に開始した。

(地域事業)

9月28日 みんな集まれ「ふくしまつり」に参加

【実施した事業】

(成幸)

令和6年9月7・8日	町会祭禮(神輿、盆踊り)
9月9日	品川区立荏原第六中学校 職場体験
9月13日	こころしながわえぼら保育園に訪問
9月24日	こころしながわえぼら保育園来園(35名)
10月17日	こころしながわえぼら保育園来園(34名)
10月23・24日	玉川聖学院 ボランティア(5名)
令和7年2月18日	中延一丁目・中延二丁目・西中延一丁目・西中延二丁目・東中延一丁目町会合同防災訓練

(戸越台)

令和6年6月1日	戸越台中学校運動会見学
7月4日	戸越台中学校「認知症サポーター養成講座」
7月5日	戸越台中学校との七夕交流会
8月13, 15, 20日	戸越台中学校 夏休みボランティア活動
9月1日	総合防災訓練
9月7日	町会祭禮(神輿見学・交流)
9月26~27日	戸越台中学校 職場体験
10月25日	宮前小学校 職場体験
11月16日	大崎中学校 吹奏楽演奏会
11月28~29日	東海中学校 職場体験
令和7年2月19日	戸越台中学校「認知症サポーターステップアップ講座」

(荏原)

令和6年10月10~11日	荏原第六中学校 職場体験
10月11~13日	荏原平塚学園 職場体験
令和7年2月14日	荏原第六中学校 進路学習「六中寺子屋」

(小山の家)

令和5年9月14~15日	荏原平塚学園 職場体験
10月31日、11月1~2日	荏原第六中学校 職場体験

(平塚橋)

令和6年7月7日	荏原消防団採水口訓練見学
----------	--------------

7月31日	東中延児童センター「eスポーツ交流会」
9月12～13日	荏原平塚学園 職場体験
10月	石井こども保育園園児 作品展示「さるかに合戦」
令和7年2月19～25日	合同作品展
2月26日	東中延児童センター「eスポーツ交流会」
3月	中延保育園園児作品展示「だるまの絵」
3月19日	平塚四丁目町会、中延一丁目町会、西中延一丁目町会、 区営住宅、荏原消防署、ゆうゆうプラザ利用者合同防 災訓練

(5) ボランティア事業報告

【ボランティア活動実績】

(成幸)

- ・配膳、下膳、お話し相手 1人 週1回
- ・配膳、下膳、お話し相手 1人 月2回
- ・ピアノ演奏 1人 月2回
- ・車いす清掃 年間3回

(戸越台)

- ・洗濯たたみ 4人 週1回
- ・洗濯たたみ 1人 週2回
- ・車いす清掃 年間3回

(荏原)

- ・車いす清掃 年間4回

(小山の家)

- ・活動人数 1人
- ・昼食、おやつ、食事の片付けの手伝い
散歩介助 など 週2回

(平塚橋)

- ・車いす清掃 年間5回
- ・ゆうゆうプラザもりあげ隊 10人 随時

有償ボランティア（スケッター）

有償ボランティアマッチングサービスの「スケッター」トライアルを活用した。

(成幸)

- ・活動期間 令和6年11月4日～令和7年2月24日まで
- ・活動内容 居室清掃4人（延4人）、リハビリの手伝い5人（延13人）

別表 ボランティア登録状況（定期）

施設名	活動内容	登録人数	活動回数
成 幸	リハビリ	3	週1～2回
	洗濯たたみ	2	週1～3回
	ホーム喫茶・バイキング（民生委員）	11	計11回
	ピアノとアコーディオン	4	月1回
	話し相手	1	週1回
	クラブ手伝い	1	月2回
	ピアノ演奏	1	週1回
戸 越 台	リハビリ	9	週1～2回
	ドライヤー	1	週1～2回
	夕食手伝い	1	週1回
	生花	1	月1回
	車いす清掃	12	月1回
	シーツ交換	4	月1回
	エレクトーン演奏	1	月1回
	三味線演奏・紙芝居・歌	6	月1回
	ホーム喫茶（民生委員）	12	月1回
	昼食手伝い	3	週1回
	フロア清掃	4	週2回
	洗濯たたみ	6	週1～2回
	ホーム喫茶	5	月1回
荏 原	デイサービスお茶出し	2	週1回
	ショートステイ話し相手	1	週1回
	デイサービスカラオケ補助	1	週1回
	デイサービス下膳	6	週1回
	ピアノ演奏	3	週1～2回
	縫いもの	1	不定期
	紙芝居	1	週2回
	リハビリ手伝い	3	週1回
小山の家	昼食手伝い	3	なし
	おやつ手伝い	2	週2回
	食後の片づけ手伝い	1	週2回
	散歩介助	2	なし
平 塚 橋	ゆうゆうプラザもりあげ隊	10	随時

※ボランティア登録者を掲載（活動実績と異なる）

各施設の実施状況 成幸ホーム：ピアノ演奏 戸越台ホーム：洗濯たたみ、車いす清掃 荏原ホーム、平塚橋ホーム：車いす清掃

(6) 令和6年度行事表

(成 幸)

月	日	行 事	場 所
5	4～7	菖蒲湯	浴室
8	13～16	お盆	館内
9	15	敬老式典	1階
	19～25	お彼岸	館内
12	22	クリスマス会	2・3・4階
	19～25	デイサービス クリスマス週間	デイサービスセンター
	19～21	ゆず湯	浴室
2	2	節分	2・3・4階
3	17～23	お彼岸	館内

(戸越台)

月	日	行 事	場 所
4	29～5/5	菖蒲湯	浴室
7	5	七夕交流会 (戸越台中学校来園)	7階
8	5	すいか割り	5階
		夏まつり	デイサービスセンター
	10	夏まつり (特養)	8階
		総合防災訓練	屋上
9	2	戸越銀座町会神輿	駐車場
	15	敬老式典	8階
12	25	クリスマス会	デイサービスセンター
	23	クリスマス会 (特養)	8階
	18～24	ゆず湯	浴室
1	1, 2, 3	初詣	8階
	～10	新年週間	デイサービスセンター
	16	戸越台中学校作品展に出品	ランチルーム
2	2	節分 (特養)	5・6・7階、デイサービスセンター

(荏原・小山)

月	日	行 事	場 所
5	3～5	菖蒲湯	浴室
7	7	七夕	館内
	28	スイカ割り大会	3階・4階
8	25	アイス会	3階・4階
9	15	敬老お祝いの会	1階ロビー
12	22	クリスマス会	3階・4階
	19～25	クリスマス週間	デイサービスセンター
12	19～21	ゆず湯	浴室
	21	ハンドベルコンサート	1階ロビー
1	1～3	初詣	3階・4階
2	3, 4	節分	3階・4階

(平塚橋)

月	日	行 事	場 所
5	6～8	菖蒲湯	浴室
9	11	敬老式典	1階ゆうゆうプラザ館内
12	21～24	ゆず湯	浴室
3	19	合同防災訓練（非常用通路確認・ホーム利用者状況等）	1階ゆうゆうプラザ館内

社会福祉法人 三 徳 会
令和 6 年度事業報告書

発行者 小濱 哲二

令和 7 年 6 月 15 日発行

〒142-0053 東京都品川区中延1-8-7

TEL. 03 (3787) 3616 (代表)

